

令和8年度

教育委員会施策の概要

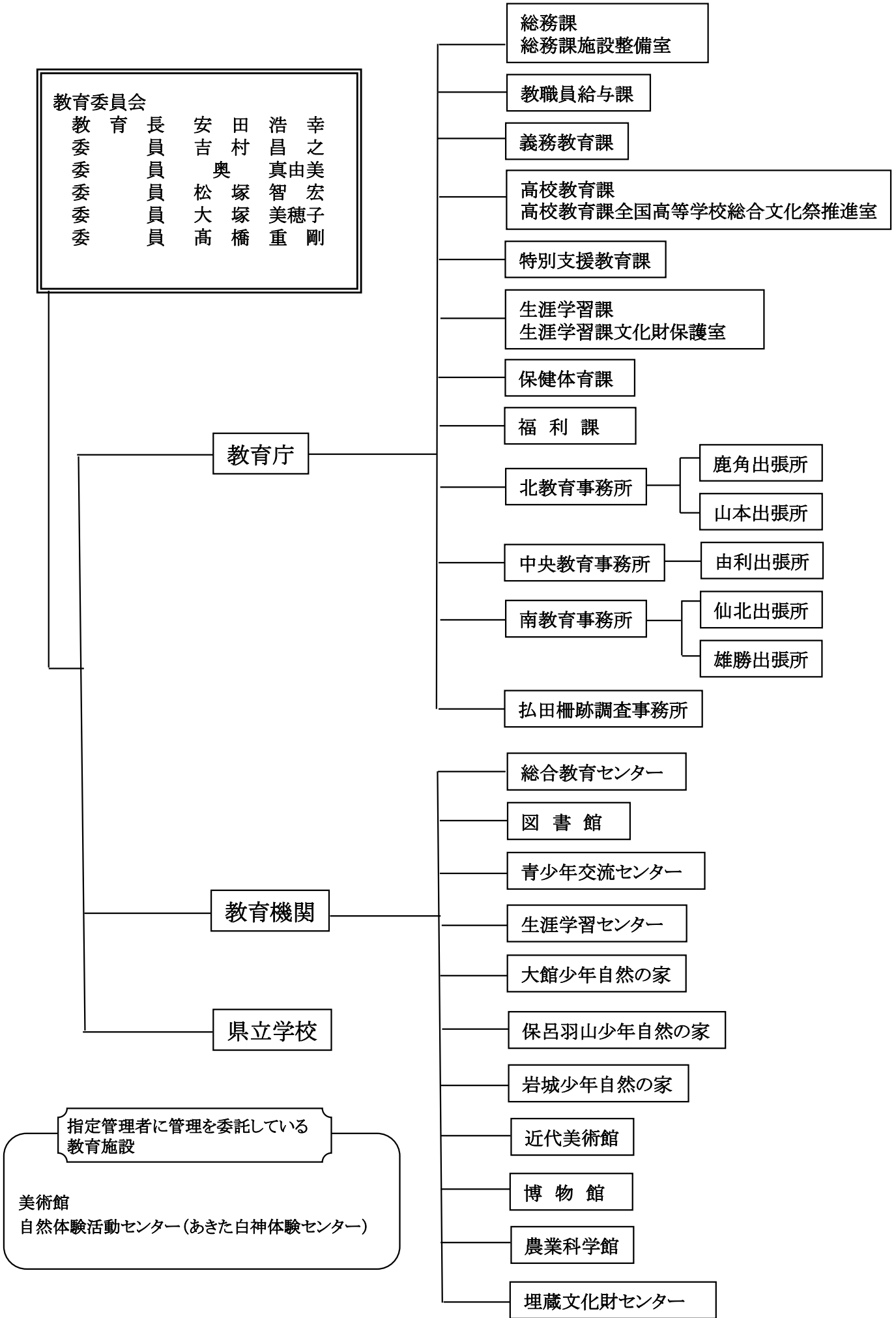
秋田県教育委員会

目 次

1	教育委員会の組織等	1
	○教育委員会組織図	2
	○各課室の事務分掌	3
2	教育委員会の予算と教育データ	7
	○県予算と教育予算の推移	8
	○学校数、園児・児童・生徒数等の推移	10
	○教育関連データ一覧	12
3	教育委員会の重点施策等	13
	○第4期あきたの教育振興に関する基本計画	14
	○第4期あきたの教育振興に関する基本計画 推進指標の進捗状況	16
	○第3期あきたの教育振興に関する基本計画 推進指標の進捗状況	23
	○秋田わか杉 七つの「はぐくみ」	28
	○各課室の重点事業	29
4	各課室の事業概要	81
	○総務課	82
	○施設整備室	83
	○教職員給与課	86
	○義務教育課	87
	○高校教育課	90
	○全国高等学校総合文化祭推進室	93
	○特別支援教育課	94
	○生涯学習課	96
	○文化財保護室	99
	○保健体育課	101
	○福利課	104
5	市町村教育委員会等一覧	105
	○県内の教育委員会	106
	○幼保連携型認定こども園	107
	○幼稚園	111
	○小学校	112
	○中学校	115
	○義務教育学校	117
	○高等学校	118
	○特別支援学校	120

【教育委員会の組織等】

教育委員会組織図 (令和8年4月1日現在)



各課室の事務分掌

課名	担当チーム	分 掌 事 務
総務課 FAX 860-5851	総務・私学 860-5111 企画 860-5112 人事・法令 860-5115	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育委員会の会議等に関する事。 2 庁内事務の総合企画及び調整に関する事。 3 教育庁及び教育委員会の所管に属する学校以外の教育機関（以下「教育庁等」という。）の組織等に関する事。 4 教育庁等の職員の定数に関する事。 5 教育庁等の職員の任免、分限、懲戒その他の人事に関する事。 6 教育庁等の職員の勤務時間その他の勤務条件（給与及び退職手当を除く。）に関する事。 7 教育庁等の職員の研修に関する事。 8 公印の取扱いに関する事。 9 叙位、叙勲及び表彰に関する事。 10 教育委員会規則その他の重要文書の審査に関する事。 11 教育委員会の所管に係る争訟事務の総括に関する事。 12 行政文書の受領、配布、発送、保存及び廃棄に関する事。 13 教育委員会の所掌事務に係る公益法人等及び公益信託に関する事。 14 市町村教育委員会の組織及び運営についての指導及び助言に関する事。 15 教育委員会所管の予算及び決算の総括に関する事。 16 県議会との連絡に関する事。 17 教育に係る広報及び広聴並びにこれらの調整に関する事。 18 行政文書の公開に関する事。 19 個人情報取扱いに関する事。 20 教育行政の相談に関する事。 21 教育に係る調査及び統計並びにこれらの総括に関する事。 22 学校教育法第2条第2項に規定する私立学校（私立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校に限る。）に関する事。 23 育英事業に関する事。 24 秋田県総合教育センターに関する事。 25 秋田県私立学校審議会に関する事。 26 前各号に掲げるもののほか、各課及び各室の所掌に属さない事務に関する事。
施設整備室 FAX 860-5852	施設・管財 860-5116 助成 860-5118	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育委員会所管の公有財産の管理に関する事。 2 教育委員会の所管に係る施設の整備に関する事。 3 市町村立学校の施設の整備についての指導及び助成に関する事。
教職員給与課 FAX 860-5155	調整・旅費・システム 860-5122 給与第一 860-5124 給与第二 860-5120	<ol style="list-style-type: none"> 1 職員（市町村立小中学校（市町村立義務教育学校を含む。以下同じ。）の県費負担教職員を含む。以下同じ。）の給与及び退職手当に関する事。 2 職員の勤務条件（給与及び退職手当に限る。）に関する事。 3 市町村立小中学校の県費負担教職員の児童手当の認定及び支給に関する事。 4 市町村立小中学校の県費負担教職員の集中処理に係る報酬及び旅費の支出に関する事。 5 市町村立小中学校の県費負担教職員の源泉徴収に係る所得税及び住民税の徴収並びに納入に関する事。 6 前各号（第2号を除く。）に係る支出命令（教育庁等の職員及び県立学校の教職員の給与並びに退職手当を除く。）の審査に関する事。 7 職員の公務災害補償に関する事。 8 給与支払・小中学校旅費支払システム等の管理及び調整に関する事。

課 名	担当チーム	分 掌 事 務
義務教育課 FAX 860-5136	調整企画・ 教員免許 860-5141 860-5142 管理 860-5145 指導 860-5148 学力向上・教 育情報化推進 860-5144 (子ども支援課 職員併任) 幼児教育推進 チーム 860-5127 幼児教育指導 チーム 860-5126	<ol style="list-style-type: none"> 1 市町村立小中学校（市町村立義務教育学校を含む。以下同じ。）の管理運営についての指導及び助言に関する事。 2 市町村立小中学校の学級編制並びに県費負担教職員及び県立中学校の教職員の定数に関する事。 3 市町村立小中学校の県費負担教職員の任免、分限、懲戒その他の人事に関する事。 4 市町村立小中学校の県費負担教職員の勤務時間その他の勤務条件（給与及び退職手当を除く。）に関する事。 5 市町村立小中学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導並びに県立中学校の教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導についての指導及び助言に関する事（他の所管に属するものを除く。）。 6 義務教育の施策に係る企画、立案等に関する事。 7 市町村立小中学校の就学事務及び就学奨励並びに県立中学校の就学奨励に関する事。 8 義務教育及び就学前教育に係る教育研究団体に関する事。 9 市町村立小中学校及び県立中学校の教職員の研修（養護教諭、栄養教諭及び学校栄養職員を除く。）に関する事。 10 市町村立小中学校の設備の整備についての指導及び助成に関する事。 11 市町村立小中学校の教科書その他の教材に関する事。 12 教科用図書は無償給付及び給与に関する事。 13 市町村立小中学校の県費負担教職員に係る職員団体に関する事。 14 教育職員の免許に関する事。 15 教育事務所に関する事。 16 公立幼稚園の管理運営についての指導及び助言等に関する事（中央教育事務所の所管区域に係るものに限る。）。 17 公立幼稚園の組織編制、教育課程、学習指導その他幼稚園教育の専門的事項についての指導及び助言に関する事。 18 公立幼稚園の教職員及び幼児教育の指導者等の研修に関する事。 19 幼児教育と小学校教育の接続に関する事。 20 秋田県教科用図書選定審議会に関する事。 21 秋田県教育職員免許状再授与審査会に関する事。
高校教育課 FAX 860-5808	調整・企画 860-5161 管理 860-5164 指導 860-5165 英語教育推進 860-5168 高校改革推進 860-5163	<ol style="list-style-type: none"> 1 県立中学校及び県立高等学校の設置、廃止及び管理運営に関する事。 2 市町村立高等学校の設置及び廃止の認可並びに管理運営についての指導及び助言に関する事。 3 県立高等学校の教職員の定数に関する事。 4 県立中学校及び県立高等学校の教職員の任免、分限、懲戒その他の人事に関する事。 5 県立中学校及び県立高等学校の教職員の勤務時間その他の勤務条件（給与及び退職手当を除く。）に関する事。 6 県立中学校及び公立高等学校の通学区域に関する事。 7 県立中学校及び県立高等学校の入学者の選抜に関する事。 8 県立中学校の組織編制並びに県立高等学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導に関する事。 9 市町村立高等学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導についての指導及び助言に関する事。 10 高等学校教育の施策に係る企画、立案等に関する事。 11 県立中学校の就学事務に関する事。 12 高等学校教育に係る教育研究団体に関する事。 13 県立高等学校の教職員の研修（養護教諭及び学校栄養職員を除く。）に関する事。 14 県立中学校及び県立高等学校の設備の整備に関する事。 15 県立中学校及び県立高等学校の教科書その他の教材に関する事。 16 県立学校の教職員に係る職員団体に関する事。 17 高等学校卒業程度認定試験に関する事。 18 公立の専修学校の設置、廃止等に関する事。

課 名	担当チーム	分 掌 事 務
高校教育課		
全国高等学校総合文化祭推進室	調整・企画 860-1434 事業推進 860-1433	1 全国高等学校総合文化祭に関すること。
特別支援教育課 FAX 860-5136	調整・企画 860-5161 管理 860-5133 指導 860-5135	<ol style="list-style-type: none"> 1 県立特別支援学校の設置、廃止及び管理運営に関すること。 2 県立特別支援学校の教職員の定数に関すること。 3 県立特別支援学校の教職員の任免、分限、懲戒その他の人事に関すること。 4 県立特別支援学校の教職員の勤務時間その他の勤務条件（給与及び退職手当を除く。）に関すること。 5 県立特別支援学校高等部及び幼稚部の入学者の選抜に関すること。 6 県立特別支援学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導に関すること。 7 市町村立小中学校の特別支援学級の設置及び廃止、教育課程、学習指導、生徒指導並びに進路指導についての指導及び助言に関すること。 8 公立小中学校（公立義務教育学校を含む。以下同じ。）及び公立高等学校における特別支援教育についての助言に関すること。 9 県立特別支援学校の就学事務及び就学奨励に関すること。 10 特別支援教育の施策に係る企画、立案等に関すること。 11 特別支援教育に係る教育研究団体に関すること。 12 公立小中学校、公立高等学校及び県立特別支援学校の教職員に対する特別支援教育に係る研修に関すること。 13 県立特別支援学校の設備の整備に関すること。 14 県立特別支援学校及び特別支援学級の教科書その他の教材に関すること。 15 秋田県障害児就学審議会に関すること。
生涯学習課 FAX 860-5816	調整・企画 860-5181 生涯学習・学芸振興 860-5183 社会教育・読書推進 860-5184	<ol style="list-style-type: none"> 1 生涯学習に係る施策の企画、立案及び推進に関すること。 2 視聴覚教育に関すること。 3 社会教育施設の運営の指導に関すること。 4 生涯学習関係団体及び社会教育関係団体に対する指導及び助言に関すること（他の所管に属するものを除く。）。 5 社会教育主事の認定に関すること。 6 ユネスコ活動に関すること。 7 生涯学習推進本部に関すること。 8 教育に係る芸術文化の振興に関すること。 9 秋田県立図書館、秋田県青少年交流センター、秋田県生涯学習センター、秋田県立少年自然の家、秋田県自然体験活動センター、秋田県立美術館、秋田県立近代美術館、秋田県立博物館及び秋田県立農業科学館に関すること。 10 学校における読書活動についての指導及び助言に関すること。 11 秋田県社会教育委員に関すること。 12 秋田県立図書館協議会に関すること。 13 秋田県立博物館協議会に関すること。 14 秋田県立近代美術館協議会に関すること。 15 秋田県生涯学習審議会に関すること。

課 名	担当チーム	分 掌 事 務
生涯学習課		
文化財保護室 FAX 860-5816	文化財保護 860-5192 埋蔵文化財・ 世界文化遺産 860-5193	<ol style="list-style-type: none"> 1 文化財の保護に関する事。 2 銃砲刀剣類の登録に関する事。 3 文化財保護の施策に係る企画、立案等に関する事。 4 文化財保護団体に対する指導及び助言に関する事。 5 払田柵跡調査事務所に関する事。 6 秋田県埋蔵文化財センターに関する事。 7 ユネスコ活動に関する事のうち、文化財の保護に関する事。 8 秋田県銃砲刀剣類登録審査委員に関する事 9 秋田県文化財保護審議会に関する事。
保健体育課 FAX 860-5207	調整・企画 860-5201 学校体育・ 部活動 860-5202 健康教育・ 食育 860-5203 防災教育・ 安全 860-5204	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校における体育及び保健に関する事。 2 学校における食育及び学校給食に関する事。 3 学校における安全教育に関する事。 4 学校、通学路等における児童生徒の安全の確保に関する事。 5 県立学校及び市町村立学校の養護教諭、栄養教諭並びに学校栄養職員の研修に関する事。 6 学校体育、学校保健及び学校給食関係団体に対する指導及び助言に関する事。 7 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関する事。
福 利 課 FAX 860-5800	調整・企画 860-5221 給付 860-5232 互助会管理・ 業務 860-5224	<ol style="list-style-type: none"> 1 職員の福利厚生に関する事。 2 職員の児童手当に関する事。 3 恩給に関する事。 4 教育庁等の職員の安全衛生に関する事。 5 公立学校共済組合に関する事。 6 秋田県教育関係職員互助会に関する事。

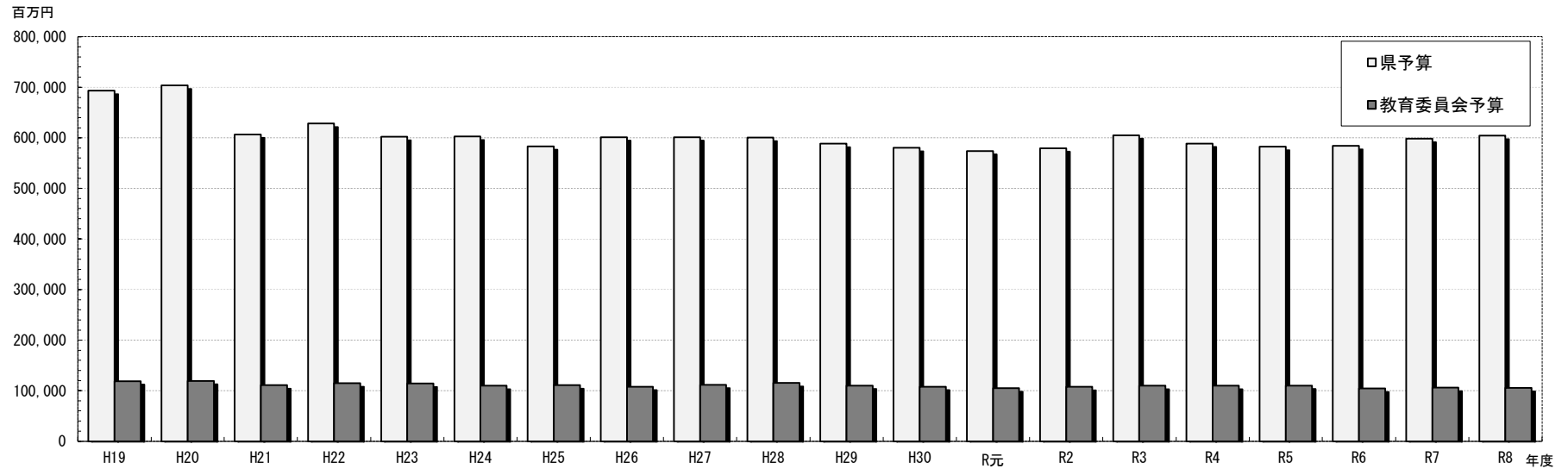
【教育委員会の予算と 教育データ】

1 県予算と教育予算の推移

(単位：千円)

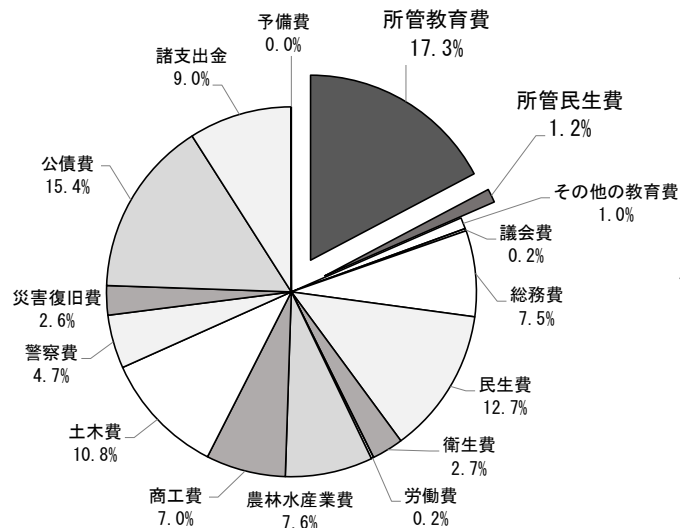
年度	県当初予算	教育費当初予算 (上段 教育費総額) (下段 教育委員会【民生費含】)	教育費の割合	前年度 同 比較増減	前年度 同 比率	平成元年度 対指数
3	539,735,000	129,641,047	24.0	9,445,550	7.9	113.7
4	622,748,000	136,393,589	21.9	6,752,542	5.2	119.6
5	635,117,000	135,784,697	21.4	△ 608,892	△ 0.4	119.1
6	700,930,000	140,058,217	20.0	4,273,520	3.1	122.9
7	666,880,000	137,184,094	20.6	△ 2,874,123	△ 2.1	120.3
8	729,728,000	137,684,618	18.9	500,524	0.4	120.8
9	742,795,746	147,536,468	19.9	9,851,850	7.2	129.4
10	776,549,000	176,890,632	22.8	29,354,164	19.9	155.2
11	753,176,000	133,688,422	17.2	△ 1,203,408	△ 0.9	117.3
12	750,418,000	147,772,898	19.6	△ 29,117,734	△ 16.5	129.6
13	756,419,789	134,917,150	17.9	1,228,728	0.9	118.3
14	739,672,000	142,573,507	19.0	△ 5,199,391	△ 3.5	125.1
15	720,063,000	132,034,584	17.6	△ 2,882,566	△ 2.1	115.8
16	705,087,000	142,421,099	18.8	△ 152,408	△ 0.1	124.9
17	664,318,182	132,004,410	17.5	△ 30,174	△ 0.0	115.8
18	661,714,000	152,889,076	20.7	10,467,977	7.4	134.1
19	693,581,000	137,115,470	18.5	5,111,060	3.9	120.3
20	703,692,341	146,625,876	20.4	△ 6,263,200	△ 4.1	128.6
21	606,843,703	138,105,812	19.2	990,342	0.7	121.1
22	628,113,000	138,149,073	19.6	△ 8,476,803	△ 5.8	121.2
23	602,152,000	130,423,288	18.5	△ 7,682,524	△ 5.6	114.4
24	602,678,000	129,342,196	19.5	△ 8,806,877	△ 6.4	113.5
25	661,714,000	122,847,146	18.5	△ 7,576,142	△ 5.8	107.8
26	693,581,000	124,616,773	18.8	△ 4,725,423	△ 3.7	109.3
27	606,843,703	119,110,179	18.0	△ 3,736,967	△ 3.0	104.5
28	602,152,000	126,614,857	18.3	1,998,084	1.6	111.1
29	602,678,000	119,530,803	17.2	420,624	0.4	104.8
30	574,089,000	116,950,092	16.6	△ 9,664,765	△ 7.6	102.6
R元	574,089,000	111,006,902	15.8	△ 8,523,901	△ 7.1	97.4
1	579,414,000	119,962,142	19.8	3,012,050	2.6	105.2
2	579,414,000	114,765,918	18.9	3,759,016	3.4	100.7
3	605,347,144	119,464,124	19.0	△ 498,018	△ 0.4	104.8
4	588,640,000	114,290,602	18.2	△ 475,316	△ 0.4	100.3
5	582,543,000	113,602,861	18.9	△ 5,861,263	△ 4.9	99.6
6	584,234,000	109,790,562	18.2	△ 4,500,040	△ 3.9	96.3
7	598,604,969	115,671,367	19.2	2,068,506	1.8	101.5
8	604,145,000	111,040,732	18.4	1,250,170	1.1	97.4
9	601,187,000	112,770,481	18.6	△ 2,900,886	△ 2.5	98.9
10	601,430,000	109,019,305	18.0	△ 2,021,427	△ 1.8	95.6
11	600,525,000	115,923,462	19.3	3,152,981	2.8	101.7
12	600,525,000	111,985,787	18.6	2,966,482	2.7	98.2
13	600,525,000	117,182,842	19.5	1,259,380	1.1	102.8
14	600,525,000	115,253,124	19.2	3,267,337	2.9	101.1
15	588,640,000	111,614,653	18.6	△ 5,568,189	△ 4.8	97.9
16	588,640,000	110,140,372	18.3	△ 5,112,752	△ 4.4	96.6
17	588,640,000	108,737,851	18.5	△ 2,876,802	△ 2.6	95.4
18	580,260,000	108,118,409	18.4	△ 2,021,963	△ 1.8	94.8
19	580,260,000	105,602,088	18.2	△ 3,135,763	△ 2.9	92.6
20	574,089,000	105,269,948	18.1	△ 2,848,461	△ 2.6	92.3
21	574,089,000	106,887,424	18.6	1,285,336	1.2	93.8
22	579,414,000	107,482,513	18.7	2,212,565	2.1	94.3
23	579,414,000	108,946,650	18.8	2,059,226	1.9	95.6
24	605,347,144	109,701,437	18.9	2,218,924	2.1	96.2
25	605,347,144	109,356,029	18.1	409,379	0.4	95.9
26	588,640,000	109,676,286	18.1	△ 25,151	△ 0.0	96.2
27	588,640,000	112,185,129	19.1	2,829,100	2.6	98.4
28	582,543,000	110,392,984	18.8	716,698	0.7	96.8
29	582,543,000	103,979,493	17.8	△ 8,205,636	△ 7.3	91.2
30	584,234,000	104,279,980	17.9	△ 6,113,004	△ 5.5	91.5
R元	584,234,000	105,639,307	18.1	1,659,814	1.6	92.7
1	584,234,000	106,081,794	18.2	1,801,814	1.7	93.1
2	598,604,969	104,751,615	17.5	△ 887,692	△ 0.9	91.9
3	604,145,000	105,352,738	17.6	△ 729,056	△ 0.7	92.4
4	604,145,000	110,396,747	18.3	5,645,132	4.5	96.8
5	604,145,000	111,455,376	18.4	6,102,638	5.1	97.8

(1) 県予算と教育予算の推移



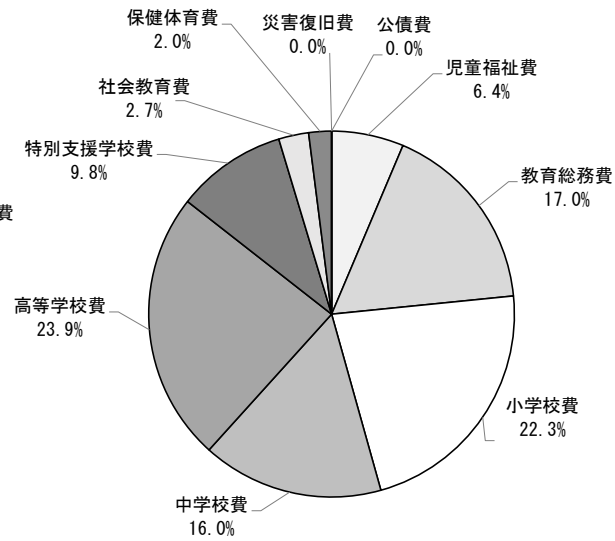
(2) 県予算と教育予算の割合

県予算総額 6,042億円

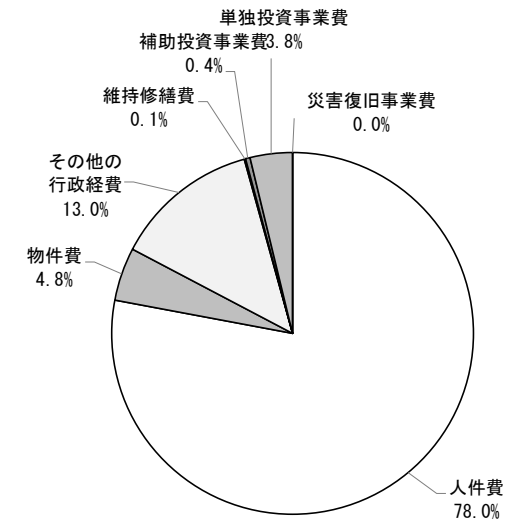


(3) 教育予算の目的別割合

教育委員会予算総額 1,115億円



(4) 教育予算の性質別割合



2 学校数、園児・児童・生徒数等の推移

(1) 学校数の推移

(校)

	幼稚園 (国・公・私立)	幼保連携型 認定こども園 (公・私立)	小学校 (公立)	義務教育学校 (公立)	中学校 (公立)	高等学校 (公立全日制)	高等学校 (定時制・通信制)	高等学校 (私立)	特別支援学校 (県立)
H24	93		236		123	53	7	5	13
H25	93		227		121	52	7	5	13
H26	90		223		121	51	7	5	13
H27	47	44	212		117	51	7	5	13
H28	41	49	201		115	49	7	5	14
H29	41	57	201		115	49	7	5	14
H30	40	65	198	1	113	48	7	5	14
R元	39	68	194	1	112	48	8	5	14
R2	36	77	190	1	110	48	8	5	14
R3	33	80	181	1	109	46	7	5	14
R4	32	85	176	1	108	46	7	5	14
R5	32	87	173	3	102	46	7	5	14
R6	32	88	172	3	101	44	7	5	14
R7	32	88	166	3	101	44	7	5	14

※ 学校数(本校・分校を含む)

(2) 園児・児童・生徒数の推移

(人)

	幼稚園 (国・公・私立)	幼保連携型 認定こども園 (公・私立)	小学校 (公立)	義務教育学校 (公立)	中学校 (公立)	高等学校 (公立全日制)	高等学校 (定時制・通信制)	高等学校 (私立)	特別支援学校 (県立)
H24	7,790		48,866		27,596	24,993	1,437	2,915	1,210
H25	7,375		47,676		26,681	24,220	1,356	2,695	1,237
H26	7,153		46,417		25,990	23,575	1,264	2,669	1,253
H27	3,481	6,695	45,329		25,053	23,091	1,194	2,572	1,249
H28	3,065	7,300	44,360		24,272	22,370	1,171	2,516	1,251
H29	2,936	8,076	43,243		23,457	21,724	1,121	2,469	1,225
H30	2,696	9,024	42,115	285	22,593	20,899	1,095	2,443	1,219
R元	2,516	9,026	40,824	246	22,198	20,164	1,143	2,295	1,252
R2	2,258	9,487	39,637	245	21,750	19,432	1,088	2,212	1,236
R3	2,065	9,237	38,443	231	21,511	18,777	1,120	2,117	1,247
R4	1,848	9,423	37,300	216	21,008	18,298	1,180	2,171	1,248
R5	1,718	9,164	35,922	407	20,343	17,650	1,132	2,177	1,252
R6	1,559	8,850	34,553	382	19,746	17,213	1,296	2,236	1,268
R7	1,448	8,559	33,214	356	19,061	16,591	1,386	2,168	1,240

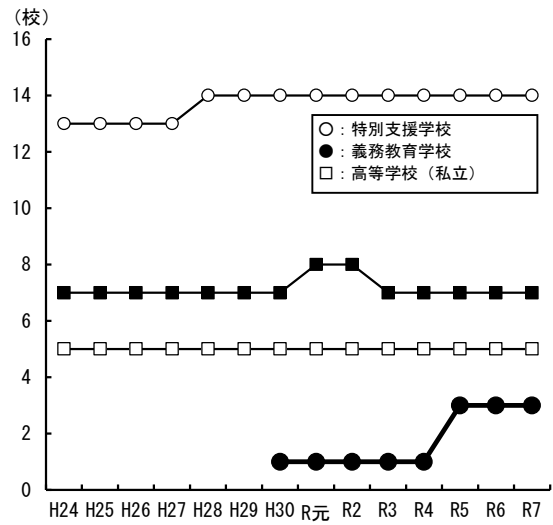
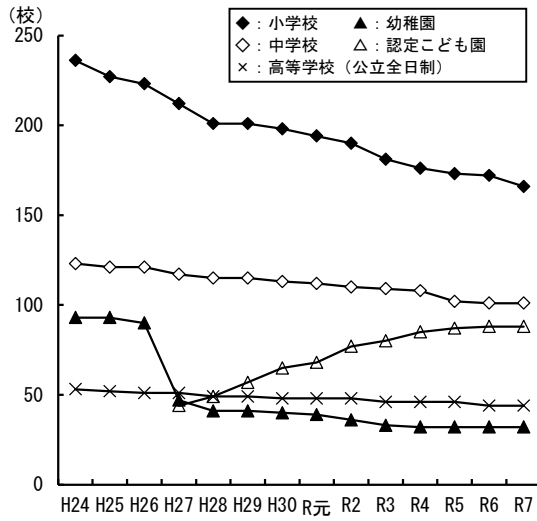
(3) 教員数の推移

(人)

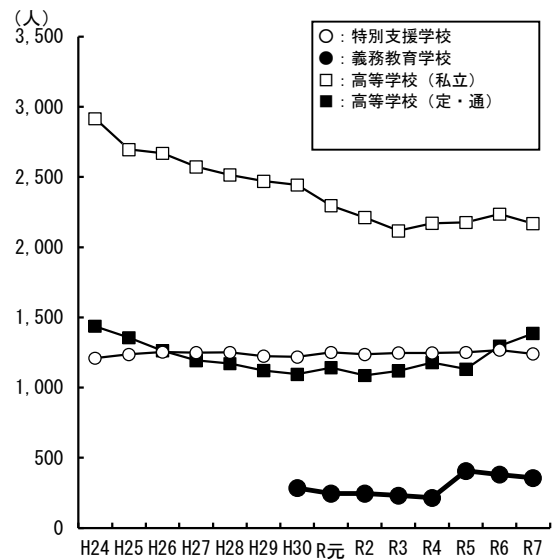
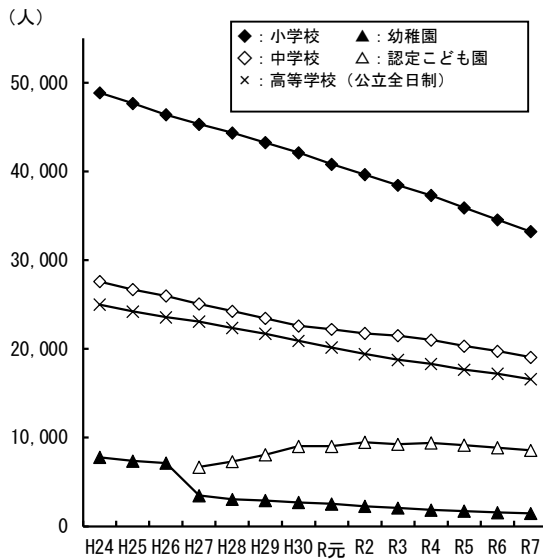
	幼稚園 (国・公・私立)	幼保連携型 認定こども園 (公・私立)	小学校 (公立)	義務教育学校 (公立)	中学校 (公立)	高等学校 (公立全日制)	高等学校 (定時制・通信制)	高等学校 (私立)	特別支援学校 (県立)
H24	703		3,694		2,338	2,095	129	182	875
H25	681		3,623		2,291	2,049	130	190	877
H26	663		3,544		2,301	1,989	129	186	891
H27	343	950	3,439		2,294	1,955	131	184	892
H28	343	1,058	3,356		2,265	1,904	133	185	914
H29	351	1,243	3,337		2,248	1,869	136	182	911
H30	342	1,502	3,254	28	2,228	1,821	132	176	913
R元	344	1,578	3,212	26	2,204	1,801	135	170	910
R2	331	1,726	3,193	27	2,185	1,769	131	167	908
R3	326	1,794	3,072	30	2,143	1,742	134	166	898
R4	301	1,838	3,012	29	2,132	1,725	130	167	888
R5	293	1,837	2,932	81	2,049	1,694	131	164	865
R6	293	1,840	2,874	84	2,010	1,650	134	161	857
R7	305	1,860	2,775	78	1,927	1,622	137	153	865

※ 教員数(校長、教頭、教諭、養護教諭、栄養教諭、講師)

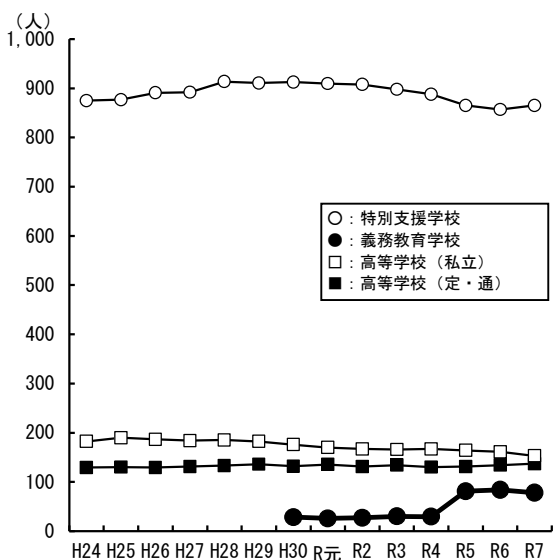
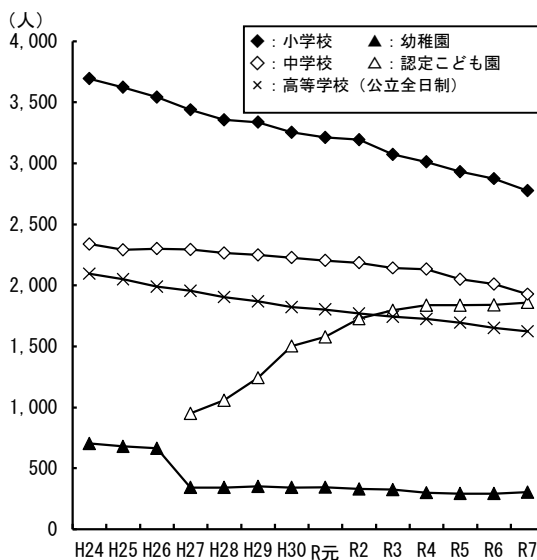
学校数の推移



園児・児童・生徒数の推移



教員数の推移



3 教育関連データ一覧

データ名	秋田県	全国
一人あたりの教育費(R5会計年度)		
幼稚園	2,712千円 (全国2位)	1,513千円
小学校	1,364千円 (全国1位)	1,032千円
中学校	1,460千円 (全国7位)	1,155千円
高等学校(全日制)	1,811千円 (全国4位)	1,265千円
特別支援学校	8,854千円 (全国11位)	7,251千円

(資料：地方教育費調査報告書)

データ名	H27	R7
1学級あたりの児童生徒数		
小学校	20.6人	18.2人
中学校	23.0人	21.3人

(資料：学校統計一覧(総務課))

データ名	年代	R6	R7
校長・教頭・教諭 の年齢構成 (3.31現在)	20代	10.6%	11.3%
	30代	13.3%	14.5%
	40代	16.8%	16.1%
	50代～	59.3%	58.1%

(資料：総務課調べ)

データ名	秋田県	全国
不登校児童生徒出現率 (国公立小・中学校)(R6) 1,000人当たりの不登校児童生徒数	36.4人 (全国16位)	38.6人
不登校生徒出現率 (国公立高校)(R6) 1,000人当たりの不登校生徒数	22.3人 (全国23位)	23.3人
中途退学率 (国公立高校)(R6)	1.4% (全国26位)	1.4%
暴力発生率 (国公立小・中・高校)(R6) 1,000人当たりの発生件数	8.2件 (全国21位)	10.4件

(資料：問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(文部科学省))

データ名	秋田県	全国
全国学力・学習状況調査結果(R7) 〈小学校6年生は国語、算数の2項目計、 中学校3年生は、国語、数学の2項目計〉		
小学6年生	131.0 pt	124.8 pt
中学3年生	106.0 pt	102.6 pt

(資料：義務教育課調べ)

データ名	R6	R7
海外留学生、海外研修生等 派遣・受入等高等学校数	11校	8校

(資料：高校教育課調べ)

データ名	R6	R7
高校生インターンシップ 参加生徒数	3,453人	3,118人

(資料：高校教育課調べ)

データ名	R6	R7
大学・短大進学率 (公・私立全日制課程卒業生)	50.3%	49.7%
就職率 (公・私立全日制課程卒業生)	26.7%	27.1%
県内就職率 (公・私立全日制課程卒業生)	71.0%	72.9%

(資料：進路状況調査(高校教育課))

データ名	秋田県	全国
就職決定率(R7年3月卒)	99.5% (全国8位)	98.0%

(資料：高等学校卒業生の就職状況に関する調査(文部科学省))

データ名	R5	R6
就学援助者数(受給率)	7,297人 (12.9%)	6,831人 (12.5%)

(資料：文部科学省公表数値(例年12月))

データ名	秋田県	全国
特別支援学校教諭の当該障害 種別免許状保有率(R7.5.1調査)	95.2% (R7.5.1)	87.2% (R5.5.1)

(資料：特別支援教育課・文部科学省調べ)

データ名	R6	R7
特別支援学校高等部卒業生の 就職を希望する生徒の就職率	95.9% (R7年3月卒)	98.8% (R8年3月卒)

(資料：特別支援教育課調べ)

データ名	R6	R7
特別支援学校と小・中・高等 学校との交流及び共同学習 実施回数	147回	146回

(資料：特別支援教育課調べ)

データ名	R6	R7
新体力テストにおける小・ 中・高等学校の偏差値の平均	50.5	50.4

(資料：保健体育課調べ)

データ名		秋田県	全国	秋田県	全国
年齢別身長・体重の 平均値		身長		体重	
男	11歳	148.0cm (全国1位)	146.1cm	42.1kg (全国2位)	39.6kg
	14歳	167.0cm (全国2位)	166.1cm	55.8kg (全国8位)	55.0kg
	17歳	171.9cm (全国1位)	170.6cm	65.2kg (全国1位)	62.2kg
女	11歳	148.6cm (全国2位)	147.4cm	40.9kg (全国5位)	39.8kg
	14歳	157.2cm (全国2位)	156.4cm	51.2kg (全国3位)	49.7kg
	17歳	159.0cm (全国1位)	157.9cm	54.1kg (全国1位)	52.5kg

(資料：R7年度学校保健統計調査(調査統計課))

【教育委員会の重点施策等】

「秋田県総合計画 ～秋田再興への第一歩～」及び

「秋田県総合計画 ～秋田再興への第一歩～ 政策6『教育・人づくり』
(令和8(2026)～令和11(2029年度))

「第4期あきたの教育振興に関する基本計画」
(令和7(2025)～令和11(2029)年度)

政策のねらい

”こどもまんなか”を基本に、こどもの利益を第一に考え、秋田で育つ全てのこどもが、のびのびと自分らしく成長できるよう、自己肯定感と主体性を育みます。また、誰もが学べる機会を確保するとともに、新時代で力強く生き抜くための教育を充実させていきます。

施策・施策の方向性

■施策1 全てのこどもの健やかな心身と自ら学ぶ意欲を育てる

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- ②多様な背景を持つ児童生徒への支援と教育機会の確保
- ③自他を尊重する心を育む教育の推進
- ④学びの芽生えを育む就学前教育・保育の推進
- ⑤一人一人の成長と発達を支える体育活動の充実と健康教育の推進

基本方針2

基本方針3

基本方針4

■施策2 新時代をたくましく生き抜く力を育てる

- ①家庭・地域・企業等と連携したキャリア教育の推進
- ②デジタル技術や地域資源を活用した専門教育の推進
- ③グローバル化に対応した外国語教育の推進と多文化共生社会の構築
- ④教科等横断的な学習の推進

基本方針1

■施策3 「こどもまんなか社会」を支える環境を整備する

- ①持続可能で質の高い学びを実現する教育体制の整備
- ②インクルーシブ教育システムの推進による特別支援教育の充実
- ③地域社会全体で子どもを育む機運の醸成

基本方針3

基本方針5

■施策4 地域社会の発展と産業振興に資する高等教育機関を活性化する*

- ①多様な資源を活用した特色ある教育・研究・社会貢献活動の充実
- ②次代の社会を担う学生の確保と人材育成の促進

■施策5 誰もが生涯を通じて学び活躍できる環境を構築する

- ①多様な学びの場づくりと学びを通じた地域づくりの推進
- ②文化芸術に親しむ機会の拡充と文化遺産の保存・活用

基本方針6

※施策4はあきた未来創造部高等教育支援室所管

目指す姿	最重要課題	基本方針
------	-------	------

地域に根ざしたキャリア教育の充実

ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり

”「問い」を発する子ども”の育成

基本方針1

社会の持続的な発展を牽引する力の育成

基本方針2

確かな学力の育

基本方針3

誰一人取り残すことなく全ての子どもたちの可能性を引き出す教育の推進

基本方針4

豊かな心と健やかな体の育成

基本方針5

子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の構築

基本方針6

誰もが生涯にわたり学び続けられる環境の構築

「秋田県総合計画 ～秋田再興への第一歩～」とは

●本計画は、本県のポテンシャルを最大限に引き出し、「秋田の再興」に向けた新たな第一歩を踏み出すとともに、持続可能な秋田づくりを進めていくために策定する県政運営の指針となる最上位計画に位置づけられている。

基本理念（寛容・挑戦・安心）のもと、2040年の姿を見据えながら、「新時代に咲き誇る秋田」の実現に向けて、行政分野毎に体系化された八つの政策を推進し、本県が抱える大きな課題である人口減上問題への対応に重点的に取り組む。

●教育に関しては、国際交流（施策2③）と高等教育（施策4）を含めて行政分野毎に体系化された八つの政策のうちの一つ（政策6）に位置づけられている。

教育政策の全般的方針を定めるとともに、施策及び施策の方向性を提示しており、「第4期あきたの教育振興に関する基本計画」はこの全般的方針の下の個別計画として位置づけられる。

「第4期あきたの教育振興に関する基本計画」の施策体系

※「目指す姿」の実現に向け、6つの「基本方針」と18の「施策の柱」を設定し、具体的な施策等に取り組みます。

施策の柱	施策	横断的に取り組む重点施策
(1)家庭・地域・企業等と連携したキャリア教育の推進	①ふるさとを学びのフィールドとした学習活動の推進、②社会的・職業的自立を目指した教育活動の充実、③きめ細かな就職支援と職場定着の推進	持続可能な社会の創り手となる人材の育成に向けた教育の推進
(2)社会の変化とニーズに応じた専門教育の推進	①地域資源を活用した最先端の学びの推進、②高等教育機関との連携の推進 ③最先端のデジタル教育の推進	
(3)グローバル化に対応した外国語教育と国際交流の推進	①児童生徒の英語コミュニケーション能力の向上、②教員の指導力と英語力の向上、③異文化体験活動の促進	
(4)探究・STEAM教育等の教科等横断的な学習の推進	①「総合的な学習の時間」等における探究的な学習活動の充実、②数学的・科学的に探究する力を育む理数教育の充実	
(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進	①新たな時代に対応した「秋田の探究型授業」の推進、②学力向上を目指した検証改善サイクルの推進	多様性と包摂性のある社会の実現に向けた教育の推進
(2)個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	①少人数学習や習熟度別学習等によるきめ細かな指導の充実、②ICTを活用した教育の推進	
(3)学びに向かう力を育む就学前教育・保育の推進	①就学前教育・保育の質の向上、②就学前教育・保育と小学校教育の円滑な接続	
(1)インクルーシブ教育システムの推進による特別支援教育の充実	①園・小・中・高校等における特別支援教育の推進、②特別支援学校における教育の充実、③教職員の特別支援教育に関する専門性の向上、④切れ目ない支援に向けた関係機関との連携強化と特別支援教育への理解促進	生涯にわたって学び続ける力を育む教育の推進
(2)不登校児童生徒への支援の推進	①不登校における課題の未然防止と早期支援の充実、②不登校児童生徒の学びの保障	
(3)多様なニーズに対応した教育機会の確保	①高校中退者等に対する就学機会の提供、②性の多様性を尊重した教育の推進、③外国人児童生徒等への支援の充実	
(1)自他を尊重する心を育む教育の推進	①人権教育の推進、②道徳教育の推進、③いじめの未然防止と早期発見・早期対応の推進、④体験活動・交流活動の充実	教育DXの推進
(2)主体的に社会の形成に参画する態度を育む教育の推進	①主権者や消費者の育成に係る指導の充実、②持続可能な社会の創り手を育成する環境教育の推進	
(3)学校における体育活動の充実と健康教育の推進	①学校体育・運動部活動の充実、②保健教育の推進と学校給食・食育の充実	
(1)学習の質を高めるための教育環境の整備	①教職員の資質能力の向上を図るための研修の充実、②活力に満ちた魅力ある学校の整備、③私立学校教育の振興、④高校生、大学進学者等に対する経済的支援の充実	
(2)教職員の指導体制の充実と学校における働き方改革の推進	①優れた教職員の確保と適正な配置、②教職員の働き方改革の推進、③教職員の健康管理の推進	
(3)学校・家庭・地域の連携・協働の推進	①地域社会全体で子どもの成長を支える体制の構築、②学校安全の取組の推進、③家庭教育支援の充実	
(1)多様な学びの場づくりと学びを通じた地域づくりの推進	①生涯学習の機会の充実、②地域コミュニティの活性化に向けた社会教育の推進、③読書活動の推進	
(2)良質な文化芸術に親しむ機会の充実と文化遺産の保存・活用	①文化芸術体験機会の充実、②全ての人に開かれた美術館・博物館づくりの推進、③文化遺産の保存・活用の推進	

第4期あきたの教育振興に関する基本計画（R7～R11） 推進指標の進捗状況

R8.3.1現在

○ 推進指標の達成状況

判定基準	判定		R7	R8	R9	R10	R11	備考
達成率が100%以上	A	件数 割合	11 36.7%					
達成率が90%以上100%未満	B	件数 割合	17 56.7%					
達成率が80%以上90%未満	C	件数 割合	2 6.7%					
達成率が80%未満	D	件数 割合						
小計		件数 割合	30 100.0%					
進捗状況確認時点（右上日付）で、実績値が未判明の指標	N/A	件数 割合						
合計		件数	30					

○ 推進指標進捗状況一覧について

基本方向		推進指標		単位	基準値	R7	R8	R9	R10	R11	備考
①	②	④	③	%	目標値						
		⑤			実績値						
		⑥			達成率		⑦				
					評価		⑧				
<p>①② 施策の基本方針</p> <p>③ 指標名</p> <p>④ ふるさと秋田元気創造プランとの関係性 ★：プラン成果指標 空欄：教育振興基本計画独自指標</p> <p>⑤ 指標整理番号 便宜上の整理番号</p> <p>⑥ 担当課 総：総務課、幼：幼保推進課、義：義務教育課、高：高校教育課、 特：特別支援教育課、生：生涯学習課、文：文化財保護室、保：保健体育課 なお、施設整備室・教職員給与課・全国高等学校総合文化祭推進室・福利課が担当する指標はない。</p> <p>⑦ 達成率 「実績値／目標値」により目標達成率を算出する。 低減目標については、「1－（実績値－目標値）／目標値」により進捗率を算出する。 （「実績値＝目標値」の場合の達成率は100%、「実績値0」の場合の達成率は200%。）</p> <p>⑧ 判定 達成率に応じてAからDまでの4段階で判定する。</p>											

○ 推進指標進捗状況一覧

基本方針	推進指標・達成度	単位		現状値	R7	R8	R9	R10	R11	備考
1 社会の持続的な発展を牽引する力の育成	★ 1 義 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（小6、中3）	%	目標値	R6	82.0	83.0	84.0	84.5	85.0	
			実績値	81.0	81.7					
			達成率		99.6%					
			判定		B					
	2 義 自校のキャリア教育のねらいを地域や保護者に知らせている小・中学校の割合	%	目標値	R6	85.0	85.5	86.0	86.5	87.0	
			実績値	84.6						
			達成率							
			判定							
	3 義 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合（小6、中3）	%	目標値	R6	89.1	89.4	89.7	90.0	90.0	
			実績値	88.8	88.3					
			達成率		99.1%					
			判定		B					
	4 高 持続可能な地域づくりを意識した地域との連携した教育活動を実施している学校数（県立高校）	校	目標値	R5	21	22	23	24	25	
実績値			20							
達成率										
判定										
★ 5 高 高校生のインターンシップ参加率（公立）	%	目標値	R5	62.0	63.0	64.0	65.0	66.0		
		実績値	61.3							
		達成率								
		判定								
6 高 専門性を生かしたボランティア、イベント等参加生徒数（専門高校等生徒延べ数）（年度）	人	目標値	R5	420	440	460	480	500		
		実績値	401							
		達成率								
		判定								
★ 7 高 高校生の県内就職率（公私立、全日制・定時制）	%	目標値	R5	72.0	73.0	74.0	75.0	76.0		
		実績値	71.3							
		達成率								
		判定								
★ 8 高 英検3級相当以上の英語力を有する中学校3年生の割合	%	目標値	R5	50.0	52.5	55.0	57.5	60.0		
		実績値	46.9							
		達成率								
		判定								
9 高 英検準2級相当以上の英語力を有する高校3年生の割合	%	目標値	R5	54.0	56.0	58.0	60.0	62.0		
		実績値	52.8							
		達成率								
		判定								
10 高 パフォーマンステスト「話すこと」「書くこと」の両方を実施している中・高校の割合	%	目標値	R5	65.0	67.0	69.0	71.0	73.0		
		実績値	60.8							
		達成率								
		判定								
★ 11 高 英語ディベート大会等への参加生徒数	人	目標値	R5	153	156	159	162	165		
		実績値	151							
		達成率								
		判定								
12 義 総合的な学習の時間において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる児童生徒の割合（小6、中3）	%	目標値	R6	90.0	90.5	91.0	91.5	92.0		
		実績値	89.4	88.1						
		達成率		97.9%						
		判定		B						
13 高 博士号教員の要請派遣回数	回	目標値	R5	64	68	72	76	80		
		実績値	59							
		達成率								
		判定								

基本方針	推進指標・達成度	単位	現状値	R7	R8	R9	R10	R11	備考			
2	確かな学力の育成	1 義	秋田県学習状況調査における設定通過率を超えた設問数の割合（基礎学力向上のための指数）	目標値	R5	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0		
			実績値	75.8	71.6							
			達成率		95.5%							
				判定		B						
	★	2 義	学んだことを振り返って次の学習につなげることができる児童生徒の割合（小6、中3）	目標値	R6	86.5	86.5	86.5	86.5	86.5	86.5	
			実績値	86.5	83.8							
			達成率		96.9%							
				判定		B						
		3 義	授業の目標を意識して学習に取り組んでいると思う児童生徒の割合（小5、中2）	目標値	R5	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
			実績値	88.8	84.7							
			達成率		94.1%							
			判定		B							
	4 義	学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う児童生徒の割合（小5、中2）	目標値	R5	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0		
		実績値	92.0	89.7								
		達成率		97.5%								
			判定		B							
	5 義	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思っている児童生徒の割合（小5、中2）	目標値	R5	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0		
		実績値	88.3	85.8								
		達成率		96.4%								
			判定		B							
	6 義	勉強が好きだと思える児童生徒の割合（小5、中2）	目標値	R5	60.3	60.6	60.9	61.2	61.5			
		実績値	58.7	57.0								
		達成率		94.4%								
			判定		B							
★	7 高	大学志望達成率（公私立、全日制）	目標値	R5	89.2	89.4	89.6	89.8	90.0			
		実績値	89.1									
		達成率										
			判定									
	8 義	教職員と児童生徒がやりとりする場面において、児童生徒1人1台端末等のICT機器を使用している小・中学校の割合（週1回以上）	目標値	R6	76.0	78.0	80.0	82.0	84.0			
		実績値	74.0	74.1								
		達成率		97.4%								
			判定		B							
★	9 生	低年齢化に対応したインターネット環境整備に関する講座を実施した市町村数（累積）	目標値	R5	19	21	23	24	25			
		実績値	16									
		達成率										
		市町村	判定									
★	10 幼	就学前教育・保育アドバイザーを配置している市町村数	目標値	R6	11	12	13	14	14			
		実績値	10	10.0								
		達成率		90.9%								
		市町村	判定		B							
★	11 幼	幼保小の協働による架け橋期カリキュラムの策定市町村数	目標値	R6	5	15	25	25	25			
		実績値	2	14.0								
		達成率		280.0%								
		市町村	判定		A							

基本方針	推進指標・達成度	単位	現状値	R7	R8	R9	R10	R11	備考		
3	誰一人取り残すことなく全ての子どもたちの可能性を引き出す教育の実現	★ 1 特	特別支援学校小・中学部生徒との居住地校交流を実施した小・中学校の割合	目標値	R5	52.5	53.0	53.5	54.0	54.5	
			実績値	52.5							
			達成率 判定								
		2 特	居住地校交流を行った特別支援学校の小・中学部児童生徒数の割合	目標値	R5	35.0	35.5	36.0	36.5	37.0	
			実績値	34.0							
			達成率 判定								
		3 特	交流及び共同学習の充実に向けた障害理解授業を実施した小・中学校の割合	目標値	R5	48.0	51.0	54.0	57.0	60.0	
			実績値	42.8							
			達成率 判定								
		4 特	特別支援学校高等部卒業生の就職者の割合	目標値	R5	38.5	39.0	39.5	40.0	40.5	
実績値	37.8										
達成率 判定											
★ 5 特	特別支援教育に関する研修を受講した高校教員の割合	目標値	R5	87.0	89.0	91.0	93.0	95.0			
	実績値	86.3									
	達成率 判定										
6 特	特別支援教育に関する校内研修を実施した小・中・高校の割合	目標値	R3	76.0	79.0	82.0	85.0	88.0			
	実績値	75.9									
	達成率 判定										
7 義	不登校児童生徒のうち、学校内外の機関等で相談・指導を受けた児童生徒の割合(小・中学校)	目標値	R5	63.0	66.0	69.0	72.0	75.0			
	実績値	59.3	56.2								
	達成率 判定		89.2% C								
8 義	不登校児童生徒に対してICTを活用した学習活動等の支援を月1回以上行った小・中学校の割合	目標値	R6	32.5	37.5	42.5	47.5	52.5			
	実績値	27.5	29.3								
	達成率 判定		90.0% B								
9 高	スペース・イオ入所者の高校進学率(年度)	目標値	R5	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0			
	実績値	98.0									
	達成率 判定										
10 高	学び直しを教育課程上に位置付けている公立学校数	目標値	R5	15	15	15	15	15			
	実績値	15									
	達成率 判定										

基本方針		推進指標・達成度	単位	現状値	R7	R8	R9	R10	R11	備考	
4	★ 豊かな心と健やかな体の育成	1 ★ 自分にはよいところがあると思っ ている児童生徒の割合（小6、中3）	%	目標値	R6	88.0	88.5	89.0	89.5	90.0	
				実績値	86.7	89.5					
		達成率		101.7%							
		判定		A							
	義	2 認知したいじめの解消率（国公立、小・中・高・特別支援）	%	目標値	R5	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0	
				実績値	90.9	88.0					
		達成率		96.7%							
		判定		B							
	高	3 高校生の中途退学率（公私立）	%	目標値	R5	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6	低減目標
				実績値	1.1						
	達成率										
	判定										
生	4 少年自然の家の一般利用者数	人	目標値	R5	2,600	2,700	2,800	2,900	3,000		
			実績値	2,500							
	達成率										
	判定										
生	5 少年自然の家等の利用者満足度調査における肯定的評価の割合	%	目標値	—	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0		
			実績値	—							
	達成率										
	判定										
義	6 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合（小6、中3）	%	目標値	R6	89.1	89.4	89.7	90.0	90.0	基1-3再掲	
			実績値	88.8	88.3						
	達成率		99.1%								
	判定		B								
保	7 ★ 運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合（小5、中2）	%	目標値	R6	66.0	66.0	66.0	67.5	67.5		
			実績値	63.4	63.3						
	達成率		95.9%								
	判定		B								
特	8 すっきり目が覚めた児童の割合（小5・6）	%	目標値	R5	28.0	29.0	30.0	31.0	32.0		
			実績値	27.3	28.8						
	達成率		102.9%								
	判定		A								
保	9 朝食の摂取率（小5・6）	%	目標値	R5	87.0	89.0	90.0	91.0	92.0		
			実績値	86.0	85.6						
	達成率		98.4%								
	判定		B								

基本方針	推進指標・達成度	単位	現状値	R7	R8	R9	R10	R11	備考		
5	子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の構築	1 義	学校の勉強がよく分かると思う児童生徒の割合（小5、中2）	目標値	R5	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	
			実績値	87.6	84.9						
			達成率		95.3%						
		2 総	総合教育センターの研修に自立的に取り組むことができたと思う教職員の割合	目標値	—	72.5	75.0	77.5	80.0	82.5	
				実績値	—	64.0					
				達成率		88.3%					
		★ 3 義	授業にICTを活用して指導することができる教員の割合（全校種）	目標値	R5	77.0	79.0	81.0	83.0	85.0	
				実績値	75.0						
				達成率							
		4 総	月当たり時間外在校等時間が45時間以内の教員の割合	目標値	R5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
実績値	68.4										
達成率											
5 総	年間時間外在校等時間が360時間以内の教員の割合	目標値	R5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
		実績値	37.1								
		達成率									
6 生	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まったと思う教職員の割合	目標値	R6	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0			
		実績値	93.0	98.0							
		達成率		105.4%							
7 生	学校運営協議会制度を導入している学校（コミュニティ・スクール）の割合	目標値	R6	76.3	80.3	84.3	85.3	86.3			
		実績値	72.3	76.7							
		達成率		100.5%							
★ 8 生	学校運営協議会の構成員として、地域学校協働活動推進員・地域コーディネーター等が参画している小・中学校の割合	目標値	R6	69.0	70.0	71.0	72.0	73.0			
		実績値	67.8	70.4							
		達成率		102.0%							
9 保	地域と連携して防災訓練等を実施する学校の割合（公立・幼・小・中・高・特別支援）	目標値	R6	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0			
		実績値	60.9								
		達成率									
10 保	子どもの安全確保を図るため、家庭や地域の関係機関・団体との間で連携を図っている学校の割合（公立・幼・小・中・高・特別支援）	目標値	R6	98.0	99.0	100.0	100.0	100.0			
		実績値	90.4								
		達成率									

基本方針	推進指標・達成度	単位	現状値	R7	R8	R9	R10	R11	備考			
6	誰もが生涯にわたる学び続けられる環境の構築	1 生	地域の現状やニーズを踏まえた課題の解決に向け、関係者による推進体制を構築し、取り組んでいる自治体数（累積）	市町村	目標値	R5	13	16	19	22	25	
			実績値	10	17.0							
			達成率		130.8%							
			判定		A							
		★ 2 生	障害者を対象とした講座や障害者の参加に配慮した講座を実施した市町村数（累積）	市町村	目標値	R5	25	25	25	25	25	
			実績値	23	25.0							
			達成率		100.0%							
			判定		A							
★ 3 生	県立・市町村立図書館等の個人貸出冊数	千冊	目標値	R5	2,548	2,561	2,574	2,587	2,600	※単位は千冊		
	実績値	2,522										
	達成率											
	判定											
4 生	県立図書館のテーマ別図書セットの利用施設の割合	%	目標値	R5	48.5	51.5	54.5	57.6	60.6			
	実績値	40.0										
	達成率											
	判定											
5 生	「秋田県読書フェスタ」における読書イベントの実都市町村数	市町村	目標値	R5	20	22	23	24	25			
	実績値	18	21.0									
	達成率		105.0%									
	判定		A									
★ 6 生	県立美術館・近代美術館・県立博物館・農業科学館の利用者数	人	目標値	R5	266,000	274,000	281,000	288,000	294,000			
	実績値	262,755										
	達成率											
	判定											
7 生	県立美術館・近代美術館・県立博物館・農業科学館における特別展に対する満足度	%	目標値	R5	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0			
	実績値	96.6	94.1									
	達成率		104.6%									
	判定		A									
★ 8 文	国・県指定等文化財の件数	件	目標値	R5	824	827	830	833	836			
	実績値	804	826									
	達成率		100.2%									
	判定		A									

第3期あきたの教育振興に関する基本計画（R2～R6） 推進指標の進捗状況

R8.3.1現在

○ 推進指標の達成状況

判定基準	判定		R2	R3	R4	R5	R6	備考
達成率が100%以上	A	件数	8	10	16	14	14	
		割合	32.0%	30.3%	36.4%	32.6%	35.0%	
達成率が90%以上100%未満	B	件数	9	6	17	14	11	
		割合	36.0%	18.2%	38.6%	32.6%	27.5%	
達成率が80%以上90%未満	C	件数	2	10	4	6	8	
		割合	8.0%	30.3%	9.1%	14.0%	20.0%	
達成率が80%未満	D	件数	6	7	7	9	7	
		割合	24.0%	21.2%	15.9%	20.9%	17.5%	
小計		件数	25	33	44	43	40	
		割合	75.8%	100.0%	97.8%	95.6%	88.9%	
進捗状況確認時点（右上日付）で、実績値が未判明の指標	N/A	件数	8		1	2	5	
		割合	24.2%		2.2%	4.4%	11.1%	
合計		件数	33	33	45	45	45	

○ 推進指標進捗状況一覧について

基本方向		推進指標		単位	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	備考
①	②	④	③	%	目標値						
		⑤			実績値						
		⑥			達成率	⑧					
		⑦			評価	⑨					
<p>①② 施策の基本方向</p> <p>③ 指標名</p> <p>④ ふるさと秋田元気創造プランとの関係性 ★：プラン成果指標 空欄：教育振興基本計画独自指標</p> <p>⑤ 指標整理番号 便宜上の整理番号（教育庁所管以外のプラン指標は「-」とし塗りつぶした）</p> <p>⑥ 指標整理番号枝番 次の指標は、一つの指標に二つの目標値があることから、枝番を付しそれぞれを判定する。 指標1-4 自校のキャリア教育のねらいを地域や保護者に知らせている学校の割合（小学校・中学校） 指標2-5 多様な図書資料等を活用した授業を、学期に数回程度以上行う学校の割合（小学校・中学校）</p> <p>⑦ 担当課 幼：幼保推進課、義：義務教育課、高：高校教育課、特：特別支援教育課、 生：生涯学習課、文：文化財保護室、保：保健体育課、-：教育庁以外の課 なお、総務課・施設整備室・教職員給与課・全国高等学校総合文化祭推進室・福利課が担当する指標はない。</p> <p>⑧ 達成率 「実績値／目標値」により目標達成率を算出する。 低減目標については、「1-（実績値-目標値）／目標値」により進捗率を算出する。 （「実績値=目標値」の場合の達成率は100%、「実績値0」の場合の達成率は200%。）</p> <p>⑨ 判定 達成率に応じてAからDまでの4段階で判定する。</p>											

○ 推進指標進捗状況一覧

基本方向	推進指標・達成度	単位	現状値	R2	R3	R4	R5	R6	備考		
1	自らの未来を主体的に切り拓き、秋田を支える気概に満ちた人材を育てます	★ 1 高	高校生 の 県内就職率（公私立、全日制・定時制）	目標値	R2	72.0	74.0	75.5	77.0	78.5	速報値 72.5% ※2
			実績値	72.5	72.5	75.4	73.8	71.3	—		
			達成率	—	100.7%	101.9%	97.7%	92.6%	—		
			判定	—	A	A	B	B	N/A		
		★ 2 義	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（小6・中3）	目標値	R1	89.0	90.0	85.0	86.0	87.0	※1
			実績値	86.2	—	82.6	81.4	81.4	81.0		
			達成率	—	—	91.8%	95.8%	94.7%	93.1%		
			判定	—	N/A	B	B	B	B		
		★ 3 高	高校生のインターンシップ参加率（公立）	目標値	R1	65.0	66.0	64.5	65.0	65.5	※1 ※2
			実績値	64.6	—	33.6	48.2	61.3	58.5		
			達成率	—	—	50.9%	74.7%	94.3%	89.3%		
			判定	—	N/A	D	D	B	C		
	① 義	自校のキャリア教育のねらいを地域や保護者に知らせている学校の割合（小・中）【小学校】	目標値	H30	82.5	85.0	87.5	90.0	92.5		
			実績値	80.0	80.3	77.8	79.3	80.5	74.1		
			達成率	—	97.3%	91.5%	90.6%	89.4%	80.1%		
	② 義	自校のキャリア教育のねらいを地域や保護者に知らせている学校の割合（小・中）【中学校】	目標値	H30	91.3	92.3	93.3	94.3	95.3		
			実績値	90.3	91.8	92.7	90.5	93.2	93.3		
			達成率	—	100.5%	100.4%	97.0%	98.8%	97.9%		
	5 特	特別支援学校高等部卒業生の就職を希望する生徒の就職率	目標値	H30	98.7	98.7	100.0	100.0	100.0		
実績値			98.7	93.7	96.4	98.3	98.6	98.6			
達成率			—	94.9%	97.7%	98.3%	98.6%	98.6%			
6 高	地域との連携を強化する事業を実施する学校数（県立高校）	目標値	H30	28	28	29	29	30			
		実績値	28	26	24	20	21	23			
		達成率	—	92.9%	85.7%	69.0%	72.4%	76.7%			
7 高	専門性を生かしたボランティア、イベント等参加生徒数（専門高校等生徒延べ数）	目標値	H30	700	725	750	775	800			
		実績値	652	308	68	451	401	512			
		達成率	—	44.0%	9.4%	60.1%	51.7%	64.0%			
2	子ども一人一人に応じた教育の充実と確かな学力の定着を図ります	★ 1 義	学んだことを振り返って次の学習につなげることでできる児童生徒の割合（小6、中3）	目標値	R2	—	—	87.0	88.0	89.0	※3
			実績値	—	—	—	85.8	82.9	86.5		
			達成率	—	—	—	98.6%	94.2%	97.2%		
			判定	—	—	—	B	B	B		
		★ 2 高	大学志望達成率（公私立、全日制・定時制）	目標値	R2	—	—	87.0	88.0	89.0	※3
			実績値	88.3	—	—	90.4	89.8	91.4		
			達成率	—	—	—	103.9%	102.0%	102.7%		
			判定	—	—	—	A	A	A		
		★ 3 特	特別支援教育に関する研修を受講した高校教員の割合	目標値	R2	92.0	100.0	75.0	78.0	81.0	※2
			実績値	72.5	72.5	80.6	81.5	86.3	87.2		
			達成率	—	78.8%	80.6%	108.7%	110.6%	107.7%		
			判定	—	D	C	A	A	A		
	★ 4 幼	就学前教育・保育アドバイザーを配置している市町村数	目標値	R2	—	—	7	8	9	※3	
		実績値	6	—	—	8	8	10			
		達成率	—	—	—	114.3%	100.0%	111.1%			
判定		—	—	—	A	A	A				
① 義	学校図書館等で多様な図書資料等を活用した授業を、学期に数回程度又はそれ以上の頻度で計画的に行う学校の割合（小・中）【小学校】	目標値	H30	90.3	90.3	90.3	90.3	90.3			
		実績値	90.3	89.3	92.6	89.1	86.2	87.0			
		達成率	—	98.9%	102.5%	98.7%	95.5%	96.3%			

基本方向	推進指標・達成度	単位	現状値	R2	R3	R4	R5	R6	備考		
2	5 ② 義	学校図書館等で多様な図書資料等を活用した授業を、学期に数回程度又はそれ以上の頻度で計画的に行う学校の割合（小・中）【中学校】	目標値	H30	62.9	63.9	64.9	65.9	66.9		
			実績値	61.9	58.3	56.9	54.4	52.9	51.0		
			達成率		92.7%	89.0%	83.8%	80.3%	76.2%		
			判定		B	C	C	C	D		
	6 特	特別支援教育に関する校内研修を実施した学校等の割合	目標値	H30	80.5	81.5	82.5	83.5	84.5		文科省調査がR3で終了
			実績値	79.5	84.6	82.7	—	—	—		
達成率		105.1%	101.5%	—	—	—					
判定		A	A	N/A	N/A	N/A					
3	★ 1 高	英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合	目標値	R1	57.0	62.0	54.0	56.0	58.0	※1 ※2	
			実績値	39.1	—	53.1	44.4	46.9	42.0		
			達成率		—	85.6%	82.2%	83.8%	72.4%		
			判定		N/A	C	C	C	D		
	★ 2 高	英語ディベート交流会等への参加生徒数	目標値	R2			105	110	115	※3	
			実績値	61			136	151	154		
			達成率				129.5%	137.3%	133.9%		
			判定				A	A	A		
	★ — —	国際理解講座への参加者数	目標値	R2			500	525	550	※3	
			実績値	586			614	598	1,149		
			達成率				122.8%	113.9%	208.9%		
			判定				A	A	A		
3 高	英検準2級相当以上の英語力を有する高校3年生の割合	目標値	H30	60.0	62.0	64.0	66.0	68.0	※1		
		実績値	53.3	—	53.7	55.8	52.8	52.4			
		達成率		—	86.6%	87.2%	80.0%	77.1%			
		判定		N/A	C	C	C	D			
4 高	小学校教員数に対する、小学校外国語活動教員研修等を受講済みの教員の比率（累積）	目標値	H30	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0			
		実績値	23.6	26.9	28.5	29.3	35.4	34.0			
		達成率		99.6%	98.3%	94.5%	107.3%	97.1%			
		判定		B	B	B	A	B			
5 高	高校教育課が行う中・高英語担当教員を対象とした授業力向上のための研修受講者数（累積）	目標値	H30	350	450	550	650	700			
		実績値	147	301	333	391	519	614			
		達成率		86.0%	74.0%	71.1%	79.8%	87.7%			
		判定		C	D	D	D	C			
6 高	中・高英語担当教員のうち授業の半分以上を英語で行っている者の割合	目標値	H30	72.0	74.0	76.0	78.0	80.0	※1		
		実績値	68.1	—	61.6	76.5	55.5	65.8			
		達成率		—	83.2%	100.7%	71.2%	82.3%			
		判定		N/A	C	A	D	C			
4	★ 1 義	自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合（小6、中3）	目標値	R1	84.8	85.4	86.0	87.0	88.0	※1	
			実績値	86.0	—	83.5	84.7	86.0	86.7		
			達成率		—	97.8%	98.5%	98.9%	98.5%		
			判定		N/A	B	B	B	B		
	★ 2 生	低年齢化に対応したインターネット環境整備に関する講座を実施した市町村数（累積）	目標値	R2			13	17	21	※3	
			実績値	7			12	16	18		
			達成率				92.3%	94.1%	85.7%		
			判定				B	B	C		
	★ 3 特	特別支援学校小中学生との居住地校交流を実施した小・中学校の割合	目標値	R2			42.0	44.0	46.0	※3	
			実績値	38.7			45.2	53.1	56.2		
			達成率				107.6%	120.7%	122.2%		
			判定				A	A	A		
★ 4 保	運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合（小5、中2）	目標値	R1	69.0	70.0	65.5	66.0	66.5	※1 ※2		
		実績値	65.9	—	61.6	63.0	62.9	63.4			
		達成率		—	88.0%	96.2%	95.3%	95.3%			
		判定		N/A	C	B	B	B			

基本方向	推進指標・達成度		単位	現状値	R2	R3	R4	R5	R6	備考			
4	豊かな人間性と健やかな体を育みます	5	認知したいじめの解消率（国公立・小・中・高・特別支援）	%	目標値	H30	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0		
					実績値	93.2	93.0	91.4	88.7	90.9	88.8		
					達成率		97.9%	96.2%	93.4%	95.7%	93.5%		
					判定		B	B	B	B	B		
	高	6	高校生の中途退学率（国公立）	%	目標値	H30	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	低減目標	
					実績値	0.9	0.8	0.9	1.0	1.1	—		
					達成率		111.1%	87.5%	75.0%	42.9%	—		
					判定		A	C	D	D	N/A		
	生	7	全県の幼児・児童・生徒数に対するセカンドスクールの利用人数の割合	%	目標値	H30	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
					実績値	101.0	57.3	65.9	64.2	71.4	72.2		
					達成率		57.3%	65.9%	64.2%	71.4%	72.2%		
					判定		D	D	D	D	D		
特	8	居住地校交流を行っている特別支援学校小・中学部児童生徒数の割合	%	目標値	H30	25.0	25.0	25.0	26.0	27.0	※2		
				実績値	26.7	26.6	25.0	28.8	34.0	37.0			
				達成率		106.4%	100.0%	115.2%	130.8%	137.0%			
				判定		A	A	A	A	A			
5	子どもの成長を支える魅力的で良質な学びの場をつくりま	★	1	%	授業にICTを活用して指導することができる教員の割合（全校種）	目標値	R2	/	/	62.0	66.0	70.0	※3
						実績値	63.2			72.7	75.0	75.7	
						達成率				117.3%	113.6%	108.1%	
						判定				A	A	A	
	生	★	2	%	学校運営協議会に地域コーディネーター等が参画している小・中学校の割合（公立）	目標値	R2	/	/	64.0	68.0	72.0	※3
						実績値	51.8			62.9	67.1	67.8	
						達成率				98.3%	98.7%	94.2%	
						判定				B	B	B	
	高	3	%	スペース・イオ入所者の高校進学率	目標値	H30	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0		
					実績値	91.2	92.7	96.3	98.0	98.1	98.1		
					達成率		96.6%	100.3%	102.1%	102.2%	102.2%		
					判定		B	A	A	A	N/A		
	高	4	校	学び直しを教育課程上に位置付けている学校数（公立高校）	目標値	H30	12	12	12	12	12		
					実績値	12	10	10	11	11	11		
達成率						83.3%	83.3%	91.7%	91.7%	91.7%			
判定						C	C	B	B	B			
生	5	%	保護者や地域の人との協働による活動が学校の教育水準の向上に効果があると思う学校の割合（小6、中3）	目標値	R1	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	※1		
				実績値	93.8	—	95.7	95.5	—	—			
				達成率		—	100.7%	100.5%	—	—			
				判定		N/A	A	A	N/A	N/A			
生	6	%	学校運営協議会制度を導入している学校（コミュニティ・スクール）の割合	目標値	R1	43.9	48.9	53.9	58.9	63.9			
				実績値	38.9	48.8	53.4	61.0	68.8	72.3			
				達成率		111.2%	109.2%	113.2%	116.8%	113.1%			
				判定		A	A	A	A	A			
保	7	%	子どもの安全確保を図るため、家庭や地域の関係機関・団体を交えた会議等を開催する学校の割合（公立、幼・小・中・高・特別支援）	目標値	H30	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0			
				実績値	91.1	95.4	93.6	95.8	92.3	90.4			
				達成率		106.0%	104.0%	106.4%	102.6%	100.4%			
				判定		A	A	A	A	A			
6	★	1	人	県立美術館・近代美術館・県立博物館・農業科学館への入館者数	目標値	R2	/	/	280,000	370,000	375,000	※2	
					実績値	169,596			265,290	262,755	448,843		
					達成率				94.7%	71.0%	119.7%		
					判定				B	D	A		
	生	★	2	市町村	障害者を対象とした講座や障害者の参加に配慮した講座を実施した市町村数（累積）	目標値	R2	/	/	19	21	23	※3
						実績値	15			21	23	25	
						達成率				110.5%	109.5%	108.7%	
						判定				A	A	A	

基本方向	推進指標・達成度	単位	現状値	R2	R3	R4	R5	R6	備考	
6 地域を元気にする住民参加の学びの場と芸術・文化に親しむ機会をつくりまします	★ 3 生	県立・市町村立図書館等の個人貸出冊数	目標値	R2			2,780	2,820	2,860	※3 ※単位は千冊
			実績値	2,567			2,568	2,522	2,472	
			達成率				92.4%	89.4%	86.4%	
			判定				B	C	C	
	★ 4 文	国・県指定等文化財の件数	目標値	R2	773	776	785	788	791	※2
			実績値	785	785	787	795	804	825	
			達成率		101.6%	101.4%	101.3%	102.0%	104.3%	
			判定		A	A	A	A	A	
	5 生	県人口に対するあきた県庁出前講座の受講者割合	目標値	H30	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	
			実績値	3.5	2.3	2.7	3.0	3.5	3.9	
			達成率		63.9%	75.0%	83.3%	97.2%	108.3%	
			判定		D	D	C	B	A	
	6 生	1か月に1冊も本を読まない(不読者)高校生の割合	目標値	H30	38.5	38.3	38.0	37.8	37.5	低減目標
			実績値	39.0	38.6	43.4	41.3	41.9	43.0	
			達成率		99.7%	86.7%	91.3%	89.2%	85.3%	
			判定		B	C	B	C	C	
	7 生	県立図書館のテーマ別図書セットの利用施設の割合	目標値	H30	56.3	59.0	61.1	63.2	66.0	
			実績値	51.4	40.0	41.5	38.3	40.0	37.7	
			達成率		71.0%	70.3%	62.7%	63.3%	57.1%	
			判定		D	D	D	D	D	
	8 生	「秋田県読書フェスタ」における県主催読書イベントへの県民の参加者数	目標値	H30	1,440	1,480	1,520	1,560	1,600	
			実績値	1,363	574	1,118	1,581	1,002	1,410	
			達成率		39.9%	75.5%	104.0%	64.2%	88.1%	
			判定		D	D	A	D	C	

○ 推進指標進捗状況整理コメント

◎ 計画期間全体に関する事項

- ① 備考欄※1：新型コロナ対策として指標の根拠となる調査が中止されたため、R2指標の判定が「N/A」となる指標。
- ② 備考欄※2：新型コロナ対策として取組が中止または縮小され、R2以降の目標値の前提条件が崩れたため、R4に目標値の見直しを行った指標。
- ③ 備考欄※3：令和4年度からの「新秋田元気創造プラン」との整合性を図るため、令和4年度から新たに追加した指標。

◎ 令和6年3月1日時点の状況

○ 令和4年度実績

- ・ 31件の指標で実績値が判明しており、A判定の割合は38.7%となっている。
- ・ 指標3-6（中・高英語担当教員のうち授業の半分以上を英語で行っている者の割合）や指標6-8（「秋田県読書フェスタ」における県主催読書イベントへの県民の参加者数）において、達成率が前年度に比べて大幅に上昇した。



秋田わか杉 七つの「はぐくみ」

- 一 早寝 早起 朝ごはん
生活リズムは全ての基本
- 二 元気なあいさつ 明るい返事
規則 約束 守るわか杉
- 三 読んで 話して 書いて 高める
「問い」を発する思考力
- 四 問題解決 子どもが主体
授業の続きは家庭で学習
- 五 職場体験 インターンシップ
地域で育む子どものキャリア
- 六 学校や地域の話題で語り合い
将来の夢 家族でえがく
- 七 ふるさを支える自覚と志
みんなでつくる未来の秋田

※本県の未来を担う子どもたちを「わか杉」と呼んでいます。

令和 8 年 4 月 秋田県教育委員会

“秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”の作成の経緯、基本的な考え方

県教育委員会では、平成27年度に“秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”を作成いたしました。

全国学力・学習状況調査（文部科学省）の結果から、本県の学力やその基盤となる様々な要因については、全国からはもちろんのこと、海外からも注目されることとなりました。

県教育委員会が5か年計画で進める「第4期あきたの教育振興に関する基本計画」を策定し、「教育立県あきた」の実現を目指す中、児童生徒質問紙調査等から見える児童生徒を主体とした授業づくり、家庭学習の習慣、家庭や地域の教育力等、本県の財産とも言えるオール秋田でつくるすばらしい教育環境を“秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”として発信し、引き続き「ふるさを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり」を目指したいと考えております。

R 8 A-キャリアプロジェクト

義務教育課

予算額 872千円

事業概要・ねらい

県内全ての学校からの参加者による協議会の開催、子どもたちが主体的に地域の課題等を解決するモデルの構築、子どもたちへの県内企業等の情報提供により、オール秋田で取り組む「地域に根ざしたキャリア教育」の一層の充実を図る。

- ◇地域の担い手としての力を育成
- ◇自己有用感の醸成
- ◇“「問い」を発する子ども”の力を育成
- ◇県内企業等への理解を促進

キャリア教育実践研究協議会

趣旨

県内全ての小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校等を対象とし、先進的な実践発表や協議、広域的な情報交換等を行うことにより、県内各校における地域や家庭、企業等との連携及び校種間連携による「地域に根ざしたキャリア教育」の一層の充実を図り、本県児童生徒のキャリア発達に資する。

参加対象

県内の各小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校において、キャリア教育推進の役割を担っている教員等

※令和3年度から、各学校の参加は3年に1回、1名の参加を基本とする。

実施内容

各校種におけるキャリア教育の実践発表

グループ別協議

有識者による講話 等

広域職場体験システム 【A-キャリアシステム】



人口減少社会における地域力の創造

職場体験活動を広域で実施できるシステムを構築することにより、児童生徒が希望する職種の職場体験を可能とするとともに、県内企業に対する児童生徒の興味・関心を高め、将来の県内就職に係る雇用を促進

オール秋田で取り組むキャリア教育の推進

高い志と公共の精神をもつ人材の育成に、学校、保護者、地域・企業が協働して取り組んでいく気運を醸成



児童生徒にとって

企業等にとって

児童生徒と県内企業・事業所を結ぶウェブサイト

令和8年度 学力向上推進事業

義務教育課

[背景]

- 1 児童生徒の確かな学力の定着
- 2 ベテラン教員の授業力の継承
- 3 教育におけるICTの効果的な活用

[事業のねらい]

- 1 エビデンスに基づく学習状況の検証・改善
- 2 学校訪問指導等による教員の指導力向上
- 3 ICTを効果的に活用した実践事例の創出と共有

学習状況調査事業

- 学力・学習意欲等に関する調査
- 学習状況の把握・検証
- 学習指導の改善・充実
- 教育施策の検証・改善

ICTを活用した授業力向上事業

- 秋田の探究型授業の継承・発展
- モデル校の共同研究体制等に関わる支援
- モデル校の研究成果の検証・情報発信

あきたの教育力充実事業

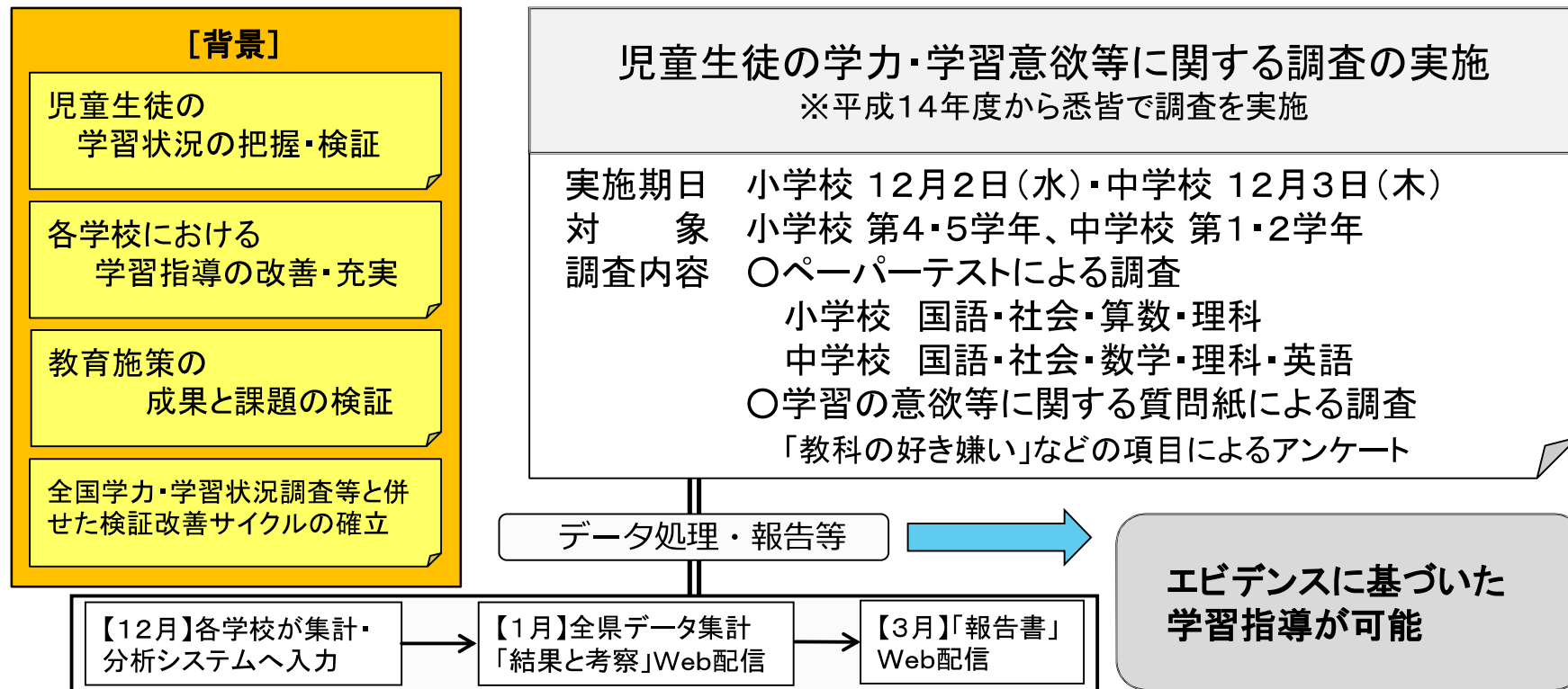
- 指導主事による学校訪問指導（教科指導の充実）
 - ・国語、算数・数学、理科、社会、外国語等の指導
 - ・高校数学の指導
- 学力向上支援Web 学習ポータルサイトの運用
 - ・単元評価問題等の配信
 - ・学習動画等の配信
- 理数才能育成プロジェクト
 - ・科学の甲子園ジュニア
- 検証改善委員会
- オンライン・ミーティング
- 情報活用能力に関する指導力向上研修

効果

○児童生徒の学力向上

○教員の指導力向上

学習状況調査事業



本調査の実施による効果 → 児童生徒の学力維持・向上

- ・客観的に捉えた学習状況に基づく改善方策の立案・実施
- ・児童生徒一人一人のつまづきを踏まえた補充的な指導等、個に応じたきめ細かな指導の推進
- ・全国学力・学習状況調査及び高校入試と連動した、学力向上・授業改善に向けた各学校における検証改善サイクル（PDCAサイクル）の構築

令和8年度 学力向上推進事業 あきたの教育力充実事業

義務教育課

[背景]

- ベテラン教員の授業力の継承
- 教員のICT活用指導力の向上
- 児童生徒が日常的に活用できる学習環境づくり

市町村教育委員会、大学との連携

[効果]

- 若手・中堅教員の指導力向上
- ICT活用を組み合わせた「秋田の探究型授業」の継承・発展
- 全ての児童生徒の学力保証

①指導主事による学校訪問指導

趣旨：学習指導状況及び課題の把握と共有、指導方法等の改善と充実

概要：(1)各教育事務所等と連携した訪問指導

(国語、算数・数学、理科、社会、外国語等)

(2)学力向上に関する学校・教育委員会等訪問指導

対象：小・中学校、高等学校（数学）

(3)「秋田の探究型授業」の充実にに向けた伴走型の支援

・授業の構想、実践

・ICTの効果的な活用



②学力向上支援Web

趣旨：学習状況の把握、集計・分析と指導の改善、指導に関する情報の配信

概要：単元評価問題の配信、学習状況調査集計分析システムの活用、授業改善に係る資料の提供 等

学習ポータルサイト「わか杉学びネット」

趣旨：日常の学習活動及び臨時休業時に児童生徒及び教員等が活用できる学習教材（学習シート・動画等）の配信

概要：学年別教材一覧（小1～中3）、授業で活用する補助教材一覧、ICTを活用した授業改善 等

③理数才能育成プロジェクト

趣旨：理数好きの裾野の拡大と才能の育成、理数を学ぶ有用性の実感と探究心の醸成

内容：科学の甲子園ジュニア秋田県大会

全国大会に向けた事前研修会

対象：中学校1・2年生

④検証改善委員会

趣旨：学習状況調査及びICT事業等に係る施策への助言

概要：(1)学習状況調査の結果分析

(2)ICTを活用した授業力向上事業への指導・助言

(3)学校改善支援プランの配信 等

⑤オンライン・ミーティング

趣旨：本県における授業改善の取組等の推進と普及

概要：(1)ICT活用と授業力向上を両輪として進める授業改善に向けた協議

(2)有識者による提言

⑥情報活用能力に関する指導力向上研修

趣旨：情報活用能力向上に関する知見の周知、本県教職員の授業改善の推進

概要：(1)情報活用能力に関する最新知見を習得

(2)コーチングスキルの習得

対象：県内全小・中学校教員（秋田市を除く）

令和8年度 学力向上推進事業 ICTを活用した授業力向上事業

義務教育課

「秋田の探究型授業」の両輪



ねらい より質の高い「秋田の探究型授業」の継承・発展

- 今日的な教育課題に即した「秋田の探究型授業」のアップデート
- 授業力向上とICT活用を両輪とした授業改善の取組への伴走支援
- ベテラン教員の授業力と若手教員のICT活用スキルの融合
- 全県各学校への成果の普及によるICT活用指導力の更なる向上

R8モデル校
(三種町立三種中学校)

「秋田の探究型授業」の充実を図るための共同研究・校内研修

ICTの効果的な活用に関する授業実践

共同研究・校内研修の記録・蓄積・発信

伴走支援

※モデル校の取組及び支援の内容は、採択校の研究計画に沿って柔軟に変更する。

授業提示

県による伴走型の支援

- 事業期間: 令和8年度1年間
- 年間10回程度の学校訪問
- モデル校の研究成果の検証及び情報発信
- 「授業力のキーワード」を基にした教員の授業力向上を目指す取組のサポート

授業づくりのプロセスまで踏み込んだ助言

ICTの活用に関する指導・助言等

共同研究・校内研修体制の構築支援



成果の全県への普及
教員の指導力の向上

授業研究協議会

オンライン・ミーティング
令和9年1月8日(金)

効果

質の高い学習指導の充実
児童生徒の確かな学力の育成

R8 あきたの教育力充実事業（理数才能育成プロジェクト） 科学の甲子園ジュニア秋田県大会

義務教育課

課題

- ◆理数を学ぶ意義の実感が希薄
- ◆中学段階で理数系への進路志望を促す必要性
- ◆科学好きの中学生が切磋琢磨し、評価される場が不足

全国大会の概要

期 日：12月11日（金）～13日（日）
開催地：兵庫県姫路市


- 都道府県対抗（中学1、2年生6人から編成されたチーム）で、理科・数学等の複数分野における筆記・実技競技を行い、チームの総合点を競う。
- 筆記競技は、実生活・実社会との関連、融合領域に配慮した内容。実技競技は、ものづくりの能力、コミュニケーション能力などを用いて課題解決能力を競う。

全国大会に向けた取組～代表チーム選考、研修～

趣旨 科学の楽しさや面白さを知り、科学を学ぶことの意義を実感できるようにする。
科学好きの裾野を広げ、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成する。


秋田県大会（予選・決勝）

- 期日：7月（予選）、8月（決勝）
- 対象：県内の中学校1、2年生
同一校の3名で1チーム編成
- 競技：筆記競技・実技競技
- 県代表として成績上位2チーム（6名）を選出



全国大会事前研修会

- 期日：10月～11月の間の4回程度
- 対象：県代表チーム2チーム
- 内容：筆記・実技競技に係る
講義・演習・実験
- 講師：大学教員



効果

- ・理数に対する知的好奇心の醸成
- ・未知の課題の解決に取り組む能力の向上

全国大会における県代表の受賞実績

- H25第1回大会（秋大附属中・秋田市立土崎中）：実技競技敢闘賞
- H27第3回大会（秋大附属中・大仙市立大曲中）：実技競技②の部4位、総合15位
- H29第5回大会（秋大附属中・秋田南高等部）：総合17位
- R1第7回大会（秋大附属中・由利本荘市立大内中）：実技競技②の部4位、総合11位

R8 あきたの教育力充実事業 検証改善委員会

義務教育課

趣旨

「ICTを活用した授業力向上事業」の検証と、各種学力調査の分析を通じ、授業改善への提言をまとめ、本県学校教育の学力向上に資する。

検証改善委員会

- 全国学力・学習状況調査の教科調査及び質問調査の結果分析
- ICTを活用した授業力向上事業における実施計画に対する指導・助言、全体委員会の実施、全国学力・学習状況調査の結果分析及びICTを活用した授業力向上事業の実践事例の配信、県学習状況調査に対する助言 等

検証改善委員会の組織構成と主な役割

- 大学関係有識者
 - ICTの活用による「秋田の探究型授業」の充実に向けた助言
 - ICTを活用した授業力向上事業の成果等を、教員の養成段階におけるICT活用指導力の育成に活用

- ICTを活用した授業力向上事業モデル校の校長等
 - ICTを活用した「秋田の探究型授業」の実践に関する資料提示



- 関係市町村教育委員会担当者
 - モデル校の調査研究への支援
 - 研修会等による域内への成果の発信と普及

- 義務教育課、教育事務所・出張所、総合教育センター指導主事等
 - 全国学力・学習状況調査の結果分析
 - 事業の成果を、学校訪問指導及び講座内容の充実に活用

R8 あきたの教育力充実事業 オンライン・ミーティング

義務教育課

趣旨

本県におけるICT活用と授業力向上を両輪として進める授業改善に向けた取組等を県内外に情報発信することを通して、「秋田の探究型授業」の充実とその普及を図る。

実施日

令和9年1月8日（金）

令和8年度オンライン・ミーティングの概要（予定）

- 概要(1) ICT活用と授業力向上を両輪として進める授業改善の実践紹介
(2) 有識者による、今後の「秋田の探究型授業」の充実に向けた提言

ICTを活用した
「秋田の探究型授業」
のオンデマンド配信



参加希望者は、「わか杉学びネット」内の参加申込フォームから申し込み、オンラインによる参加を基本とする。

ICTを活用した授業
力向上事業のモデル校
による実践紹介



伴走支援を通して蓄積してきたモデル校の取組の成果を、義務教育課員がスライド等にまとめて紹介する。

パネル・ディスカッション及び有識者
による座談会



パネリストは、モデル校の代表者を中心に、座談会は秋田大学の教員を中心とした検証改善委員等で構成する。

R8 あきたの教育力充実事業 情報活用能力に関する指導力向上研修

義務教育課

趣旨

生成AI時代の情報活用能力向上に関する知見を各学校に広めて「秋田の探究型授業」に生かすことで、本県教員の授業改善の推進に資する。

ICT活用リーダー研修【令和5年～7年】

- ◎「秋田の探究型授業」に生かすためにICT機器を活用するという理念の確実な定着と、全県で進む授業改善
- ◎ICT機器を授業で活用する頻度の着実な上昇傾向



- ▲校内研修に見られる伝達型中心の講習
- ▲「教員間、世代間のスキルの差」を払拭する困難さ



情報活用能力に関する指導力向上研修【令和8年～】

「秋田の探究型授業」において、デジタル学習基盤を効果的に活用して指導する能力を高めるための研修

現状

- ・全国学力・学習状況調査の質問調査では、授業でICT機器を週3回以上使う子どもの割合は小・中とも全国平均を下回っている。
【小学校 県 70.0（全国比 -1.7） 中学校 県 75.3（全国比 -1.2）】
- ・「授業にICTを活用して指導する能力」について肯定的な回答をした教員の割合が全国平均を下回っている。
【小学校 県 79.5（全国比 -5.7） 中学校 県 78.5（全国比 -1.1）】

概要

所属校において年間を通じた相談相手や伴走者となるデジタル学習メンターの養成

デジタル学習メンターによるコーチングの実施と授業改善の推進

情報活用能力に関する最新知見の習得
コーチングスキルの習得

情報活用能力に関する最新知見とコーチングスキルの習得

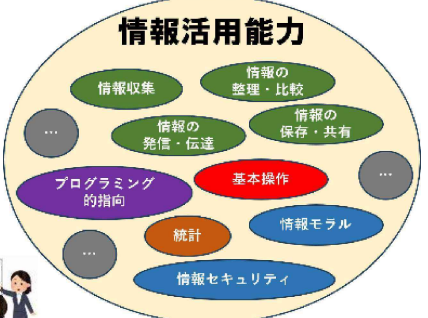
期日：令和8年5月13日（水）
形態：GoogleMeetによるオンライン研修
参加者：（秋田市を除く）県内全小・中学校から各1名
支援：文部科学省 情報教育振興室
ナラティブコミュニケーション教育研究所（佐藤敬子所長）

これならやれるやってみよう

206名（各校から1名）の参加者
実践的な演習による心理的安全性と実践意欲の向上

様々な教員の特性に応じた日常的な伴走型の支援

- 小学校 125校
- 中学校 78校（県立中を含む）
- 義務教育学校 3校



1人1台端末が普及した環境における「秋田の探究型授業」の充実・発展

R 8 生徒指導総合支援事業

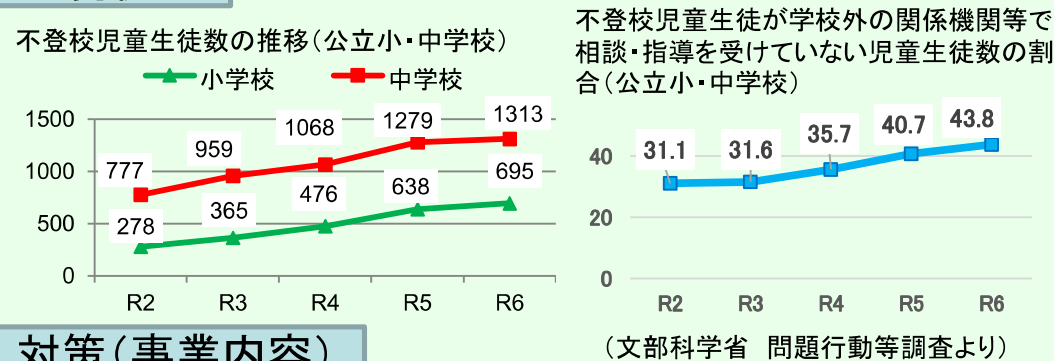
義務教育課

予算額 118,732千円

事業概要

児童生徒を取り巻く環境が複雑化・多様化している中、教育相談体制及び学びの保障に向けた支援を充実させることで、問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題の未然防止や早期発見、早期支援を図ります。

現状



対策(事業内容)

スクールカウンセラー(SC)・広域カウンセラー(AC)の配置

小・中学校での教育相談体制の充実を図るとともに、課題未然防止教育に関する教育プログラムを実施、分校を除く公立97中学校に配置、緊急支援時の心のケア

スクールソーシャルワーカー(SSW)の配置

3教育事務所・3教育事務所出張所・総合教育センター・秋田明德館高校に社会福祉士等の有資格者と教職経験者を配置(計16名)、主に福祉の面から家庭と関係機関をつなぐ

電話による相談

相談者の多様なニーズへの対応、「すこやか電話」による気軽に相談できる場の提供

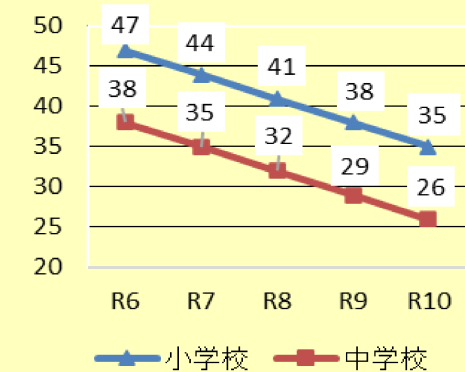
校内教育支援センター(SSR)支援員の配置

不登校児童生徒等に対する学校内の居場所を確保し、学習支援及びSC・SSWと連携した相談支援を推進するための支援員を配置(令和7年度は11市町に19名)

目指す姿

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる相談体制の充実により、関係機関による学びの支援等につながっていく。

不登校児童生徒の中で関係機関等との連携がない児童生徒の割合(県独自調査)



未然防止

心のケア・サポート

解決

学校支援スタッフ配置事業

※「児童生徒の学びを支える支援スタッフ配置事業」は生徒指導総合支援事業へ移管

予算額
167,140千円

義務教育課
R8.1.30

学校サポーター150名程度を各市町村立小・中学校及び義務教育学校に配置
対象：児童生徒数150人以上、または、時間外在校等時間の削減に苦慮している学校

現状

- 依然として長時間勤務の教師が多い
R6 平均時間外在校等時間 年間360時間以上
小学校 31.8時間 小学校 48.4%
中学校 45.9時間 中学校 71.2%
- 多様化・複雑化する課題への対応が山積
- 「学校と教師の業務の3分類」の取組状況に差がある



目指す姿

教員が、教員でなければできない業務に専念し、働きやすさと働きがいを実感できるようになること



対策（事業内容）

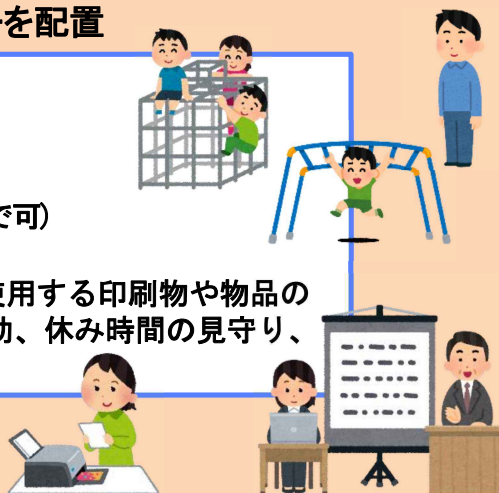
教員の負担軽減を図り、教員が児童生徒への指導や教材研究等により注力できるよう、学校サポーターを配置

【勤務形態】

- 実施主体 県（負担割合：国1/3、県2/3）
 - ・ 1日6時間以内、週4日以内
 - ・ 週16時間以内勤務
- ※複数校の兼務を「可」とする（16時間まで可）

【勤務内容】

掲示物の作成や教室環境の整備、授業で使用する印刷物や物品の準備、調査物の集計、行事・式典の準備補助、休み時間の見守り、来客・電話対応等



【市町村教育委員会に求められる事業実施要件】

- ①事業対象となる学校種の全学校において客観的な在校等時間の把握を適切に行うこと
- ②教育職員の在校等時間の上限等に関する方針を、各地方公共団体の規則等に反映させること
- ③各教育委員会のホームページ等において、設置する学校における働き方改革に係る取組状況を公表すること

R8 文化部活動地域展開・地域連携推進事業

義務教育課

予算額 9,218千円

趣旨

中学校における文化部活動の地域展開・地域連携を進めていくための事業を展開するとともに、地域の実情に応じた持続可能で多様な文化芸術環境の整備に努める。

また、文化部に所属する生徒が、将来にわたり文化芸術に継続して親しむことができるようにするために、文化部活動に対する支援や指導者の確保を行うなど一層の活カアップを図る。

I 文化部活動地域展開・地域クラブ活動推進事業

国の補助事業を活用し、市町村の地域文化芸術活動の推進体制等の下で、地域文化クラブ活動の活動費等や経済的困窮世帯の生徒への参加費等の支援、推進体制の整備等について支援を行い、県内の文化部活動の地域展開の取組を推進する。

※補助割合：国1/3、県1/3、市町村1/3

令和8年度の取組(予定)

- 県内の3市の取組を支援 大館市、大仙市、湯沢市
 - ①地域文化クラブ活動の活動費等の支援
 - ②経済的困窮世帯の生徒への参加費等の支援
 - ③推進体制の整備等

II 文化部活動指導員配置支援事業

国の補助事業を活用し、学校において、適切な活動時間や休養日の設定など、部活動の適正化を進めるため、教員に代わり部活動の指導を行う部活動指導員の配置について支援を行う。

※補助割合：国1/3、県1/3、市町村1/3

令和8年度の取組(予定)

- 県内の12市町、27人の指導員の配置を支援

文化部活動に対する支援や指導者の確保

中学校文化部活動の地域展開・地域連携の推進

I キャリア教育充実事業

高校生が将来に向けて志を高く掲げ、学習意欲を高められるよう支援するとともに、体験的な活動等を通して、社会的・職業的自立に必要な資質・能力の育成を図る。

①地域人材を活用した「キャリア設計e-ミーティング」(354千円)

高校1年生が将来に向けて志を高く掲げ、学習意欲を高めることができるよう、地域人材を活用したパネルディスカッションや各種ガイダンス等を実施し、社会で求められる資質・能力の育成を図る。

【Meet1】大学教員、社会人、大学生、高校生によるパネルディスカッション

【Meet2】学問別ガイダンス

- ・**ベーシック**: 大学で学ぶことができる学問について、その特色や魅力を中心としたガイダンスを行い、多様な見方や感性を養う。5講座。
- ・**SDGs+A(秋田)**: SDGsの17の目標及び秋田の課題について考察するガイダンスを行い、社会が直面する課題に対して主体的に行動する態度を養う。18講座。

	参加校数	参加生徒数	協力大学及び講師数等
令和4年度	22校	937名	県内5大学 17名
令和5年度	12校	1,214名	県内5大学 17名
令和6年度	11校	1,187名	県内5大学 17名
令和7年度	14校	1,726名	県内5大学 23名

②消費者教育推進事業(560千円)

消費者被害に関して様々な事案に直接携わっている弁護士等が、契約に関する基本的な考え方や契約に伴う責任について講演等を行い、責任を持って行動できる能力を身に付けさせる講座を実施し、消費者問題に対する意識を高める。

【令和5年度実施校: 高校25校、特別支援学校7校】

【令和6年度実施校: 高校23校、特別支援学校7校】

【令和7年度実施校: 高校29校、特別支援学校8校】



③地域連携充実事業(3,453千円)

学校と地域社会との結び付きを強化する取組を通して、地域の課題等を見だし、生涯にわたって地域と関わりをもつ意欲のある人材を育成する。

特別活動や総合的な探究の時間等における地域連携の取組と、最新の専門知識を持つ地域人材(医師、臨床心理士、介護福祉士、大学教員、他)を学校に招いた直接指導の機会の創出を通して、生徒の学習を深化させ、望ましい職業観・勤労観の醸成に資する。

【地域協働活動】

令和7年度 地域連携の取組例

- ・ふるさとの伝統継承
「能代七夕 天空の不夜城 科技高ふるさとづくりプロジェクト」(能代科学技術)
- ・地域と関わりを持つ意欲ある人材の育成
「地域の指導者による『藍絞り染め』の講習」(大館桂桜)
- ・農業をキャリアとする意欲の向上
「地元企業連携に係る地域資源活用体験実習」(西目)
- ・地域資源の活用
「地域資源を活用した家庭科の授業」(羽後)



【社会人講師活用】

令和7年度 社会人講師の活用例

- ・資格取得
能代科学技術[医師、理学療法士、介護支援専門員]
五城目[元高校工業教員]
金足農業[全技連婦人服マイスター]
角館[着付け講師、料理研究者、日本画家]
- ・専門分野
大館桂桜[秋田看護福祉大教員]、男鹿海洋[ダイビングインストラクター]
秋田工業[武藤工業鋳物代表取締役]、西仙北[介護福祉士]、
大曲工業[高度熟練技能士、秋田大学名誉教授、花火師]
六郷[社会福祉士、ケアマネージャー]、横手清陵学院[金属加工技能]
増田[手話通訳員、伝統工芸士]、雄勝校[介護福祉士、看護師]

Ⅱ ふるさと人材育成事業 令和8年度予算額73,964千円

高校生の社会的・職業的自立に必要な資質・能力を身に付けさせるとともに、地域の一員として、地域のよさや課題を主体的に捉え、将来にわたって、地域や社会に貢献できる人材の育成を図る。

職場定着就職支援員配置事業(73,641千円)

就職希望者の多い県立高校等に職場定着就職支援員を配置し、求人開拓や県内就職を希望する生徒・保護者への情報提供・進路相談等を行い、県内就職の促進を図るとともに、関係各機関等との連携により、就職後の職場定着につながる各種事業を推進する。

県内就職率と職場定着率の向上

ハローワーク及び地域振興局等との連携を一層強化する。県内企業等の情報を学校に提供するとともに、産業労働部と連携した「ふるさと企業紹介」の実施による地元企業の理解促進を図る。また、離職状況を調査し、今後の指導に活かす。

ミスマッチ・離職の防止

ミスマッチ防止のため、秋田労働局等と連携し、高校1・2年生を対象とした「就職準備セミナー」を実施。また、就職内定者に対して「コミュニケーションセミナー」を実施するとともに、離職調査を集約・分析し、各校に情報提供することで離職防止を図る。

	H28.3月卒	H29.3月卒	H30.3月卒	H31.3月卒	R2.3月卒	R3.3月卒	R4.3月卒	R5.3月卒	R6.3月卒	R7.3月卒
県内就職率	64.6	65.2	66.9	65.0	67.7	72.5	75.4	73.8	71.3	73.2
1年後離職率	9.2	8.3	8.1	6.2	6.6	7.0	6.6	6.8	5.2	-

高校教育課調査より

インターンシップ推進事業(323千円)

県内各事業所を中心に就業体験を行うことにより、働くことの意義や職業についての理解を深めさせ、主体的に職業選択ができる能力を育成するとともに、早期離職の防止につなげる。

令和6年度 実施状況

- ① 実施校 51校(県立全日37校<分校1校、地域校1校含む>、定時6校、公立全日2校、私立全日4校、特別支援1校、専修学校高等課程1校)
- ② 参加生徒 3,453名(県立・公立、男1,883名、女1,570名)参加率58.5%
- ③ 実施事業所 1,499事業所(のべ事業所数)



Ⅲ キャリア創造支援事業

令和8年度予算額4,213千円

秋田県の豊かな資源や産業のもつ力を活用した専門高校等における実践的・体験的かつ探究的な学びを通じ、生徒が自らの興味や才能を深く追求し未来を創造する力を育むことで、ふるさと秋田の次代を担う産業人材を育成する。

① 産業教育フェア・ものづくりコンテスト(3,856千円)

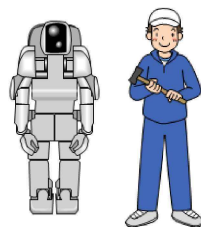
○ 生徒が主体的に取り組む実践的・体験的かつ探究的な学びの充実

専門高校におけるものづくり教育の成果発表の機会を通して、専門高校での学びの必要性や社会に果たす役割を実感し、地域の担い手としての自覚や協働性を育むことを目的として、産業教育フェア及びものづくりコンテスト等の各種競技会を開催する。

参加校 職業系学科・総合学科を設置する県内の高等学校(22校)及び家庭クラブに参加する高等学校

- (1) 体験・研究発表会
- (2) ロボット競技大会
- (3) 種苗交換会への協賛参加
- (4) 地域の産業祭参加

鹿角市・大館市・北秋田市・能代市・由利本荘市・にかほ市・大仙市・横手市・横手市増田・湯沢市



- ※産業教育フェア及びものづくりコンテスト等におけるこれまでの成果
- ・生徒が主体的に地域課題の解決等に取り組む活動が見られる。
 - ・専門高校生の交流とともに、学校間・学科間連携の推進が図られている。
 - ・地域のニーズを感じ取るとともに、より多くの県民に専門高校での学びをPRする機会になっている。
 - ・ドローンに関する大会など新しい取組がみられる。

② 科学系人材育成プログラム(357千円)

○ 専門人材や専門機関との連携による創造的な学びを通じたキャリア形成

生徒の知的好奇心を喚起し、科学的な思考力・表現力等を高めることを目的に各種研修会等を実施し、理数教育の充実を図る。

【課題研究を主としたプログラム】

- スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校事業
【秋田中央、横手】
- ・大学や研究機関との連携(秋田大学、秋田県立大学、国際教養大学、理化学研究所等)
- ・SSH指定校合同発表会(拠点センターアルヴェ)

- 理数科設置校
【大館鳳鳴、能代、秋田、由利、横手、湯沢】
- ・「理数探究」を2単位実施
- ・理数科合同発表会(総合教育センター)
- ・大学教員等による特別講演
- 博士号教員による特別講義
- ・博士号教員配置校
大館鳳鳴、秋田北鷹、秋田、秋田中央、大曲農業、横手、横手清陵学院
- ・高校生向け出前授業:34プラン

【各種コンテスト等に向けたプログラム】

- 科学の甲子園全国大会秋田県予選会
- 科学の甲子園全国大会出場校特別講座
- 数学オリンピックセミナー

最新のICT教材やIT専門人材を活用した教育を推進し、これからのデジタル社会で活躍するために必要となる論理的思考力、提案力、課題解決能力等の資質・能力を身に付けた人材を育成する。

<普通高校における人材育成>

プロジェクト2

普通高校におけるデジタル人材の育成(8,501千円)

◆デジタル探究コースにおける探究的な学習活動の充実

プログラミングやAI等のデジタル技術を活用した探究活動の推進

3Dプリンタやドローン等のデジタル機器や専門人材の活用

◆最先端のデジタル技術を活用した学習活動の推進

生徒による成果発表会、交流会等を実施し学習活動の実践・検証を推進

◆デジタル・インターンシップの充実

県内外のIT関連企業等の協力による就労体験の実施(参集・オンライン)

<全ての県立高校における人材育成>

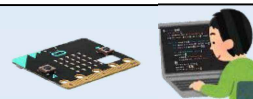
プロジェクト1

県立高校におけるプログラミング実習教材を活用した人材育成(23,514千円)

◆生徒の情報活用能力の向上

プログラミングやデータサイエンスを体験しながら学習する「情報Ⅰ」オンライン教材を全ての県立高校の生徒へ配付

「マイクロビット」及び拡張機器と1人1台端末によるプログラミング実習



「秋田県高校生マイクロビットコンテスト」の開催による学習成果を共有

「秋田県高等学校プログラミングテスト(1級~3級)」を実施し、プログラミングを中心とした情報Ⅰの学習状況を把握

◆教員の情報活用指導力の向上

Google for Educationパートナー自治体プログラムへの参画

生成AI活用や情報デザインに係る教員研修の実施

「情報Ⅰ」オンライン教材の実践的な活用方法に関する教員研修、プログラミング研修、データサイエンス研修の実施

<専門高校における人材育成>

プロジェクト3

専門高校における成長産業・デジタル人材の育成(2,639千円)

◆専門人材・地域資源を活用した最先端技術の学びの推進

各専門分野における最先端のデジタル技術に関する講義・実習

【専門人材を活用した特別講義】

県内大学、県技術センター、企業等

【県内企業における技術研修】

【指導力向上教員研修会】

高度加工技術、最先端農業技術など



◆実習環境等のデジタルネットワーク化、学科・学校間連携の推進

実習施設等における1人1台端末の活用の充実



専門分野の強みを生かした協働的な学びの推進

【農業】スマート農業、リモートセンシングシステム

【工業】IoT、ロボット制御

【水産】スマート水産業

【商業】デジタル×ビジネス


【福祉】介護サービスのデジタル化



デジタル教育 未来へRUNプロジェクト事業

期間:5年間(R4~R8)

令和8年度予算額 34,654千円

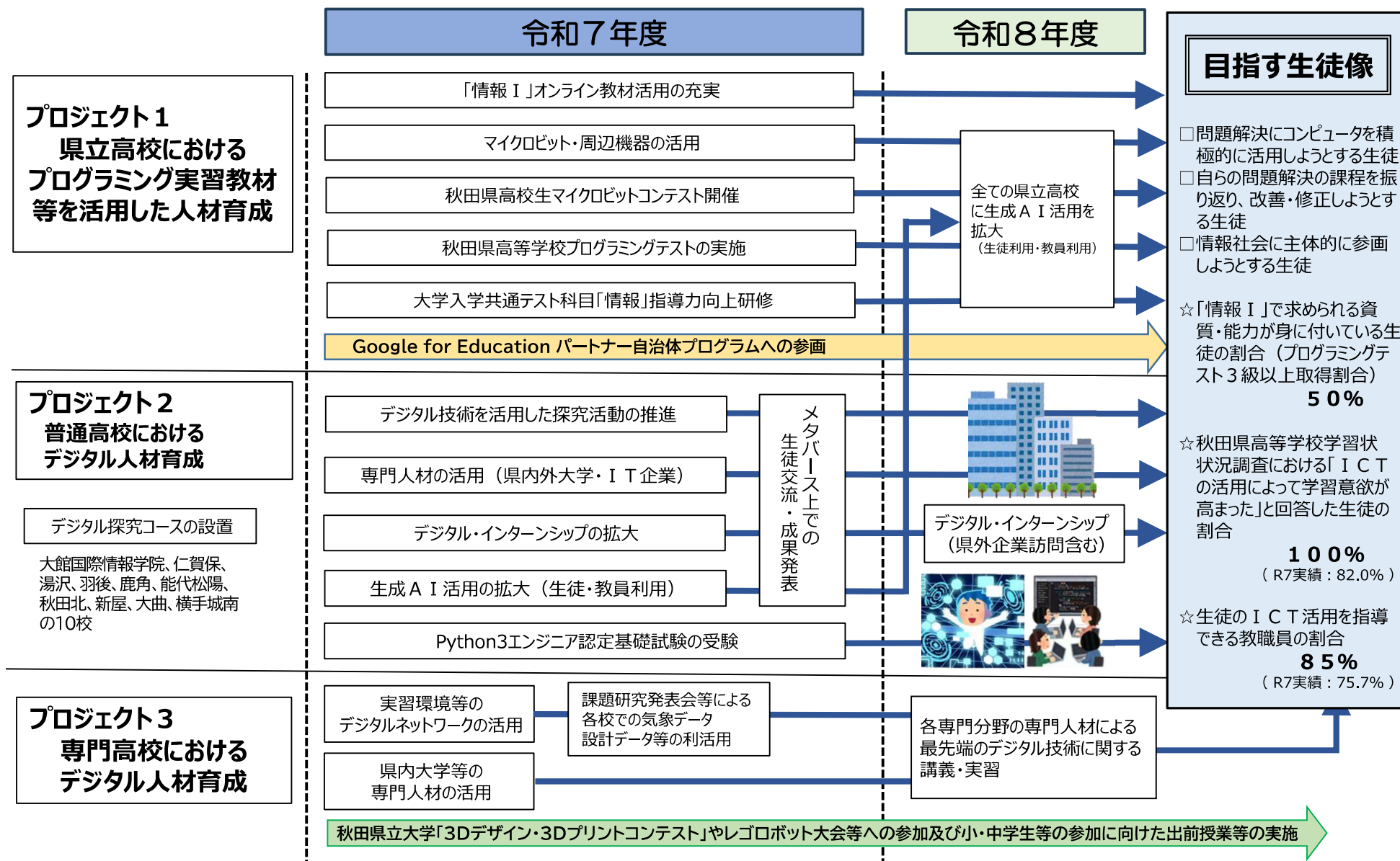
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	成果と課題
	Googleパートナー自治体プログラムへの参画			
プロジェクト1 県立高校における 実習教材等を活用したプログラミング教育の実施	「情報I」オンライン教材	「情報I」オンライン教材	「情報I」オンライン教材	プロジェクト1 ・オンライン教材の活用が定着し、プログラミングの体験的な学習が生徒の学習意欲向上や問題解決能力の育成に結び付いている。 ・共通テスト「情報」の指導に不安を抱いている教員は、まだ多い。 ・マイクロビット等の活用が広まってきているものの、学校間の取組に差が見られる。
	全校にマイクロビット配付	秋田県高校生マイクロビットコンテスト開催	秋田県高等学校プログラミングテスト開催	
	I T分野の著名人講話	全校にマイクロビット周辺機器配付	教科「情報」指導力向上セミナー（教員研修）	
プロジェクト2 普通高校における デジタル人材育成	デジタル探究コースの設置 大館国際情報学院、仁賀保、湯沢、羽後、以上4校	デジタル探究コースの設置 鹿角、能代松陽、秋田北、新屋、大曲、横手城南、以上6校	デジタル探究コースにおけるデジタル技術を活用した探究活動の推進	プロジェクト2 ・県内外の大学やI T関連企業の専門人材を活用した学習活動が積極的に行われている。 ・Python3エンジニア認定基礎試験の合格に向け、外部人材を活用した講座の実施などの取組が進んでいる。 ・全校でデジタル・インターンシップを実施し、参集型・オンライン型ともにデジタル技術を活用した就労体験等がキャリア設計や学習意欲の向上に結び付いている。 ・デジタル探究コース設置校同士が交流することで、各校の取組を更に充実したものにすることが必要。
	設置校にP C・デジタル機器を整備	設置校にP C・デジタル機器を整備	メタバース上での生徒交流・成果発表	
		生成A I活用実証 	生成A I活用の拡大	
		Python3エンジニア認定基礎試験の受験	Google Japan本社訪問 代表生徒2名×10校	
		専門人材の活用（県内外大学・I T企業）		
		デジタル・インターンシップの実施（R4設置4校）	デジタル・インターンシップの実施（10校）	
プロジェクト3 専門高校における デジタル人材育成	実習環境等のデジタルネットワーク化	実習環境等のデジタルネットワークの活用	実習環境等のデジタルネットワークの活用	プロジェクト3 ・実習施設等のネットワーク環境を生かし、デジタル機器を活用した学習活動が行われている。 ・県内大学等の外部人材を活用し、産業のデジタル化に向けた専門教育の充実が図られている。 ・デジタルデータの利活用を促進する必要がある。
		県内大学等の専門人材の活用	県内大学等の専門人材の活用	
			各校での気象データ設計データ等の利活用の推進	
	秋田県立大学「3Dデザイン・3Dプリントコンテスト」等への参加			



デジタル教育 未来へRUNプロジェクト事業

期間：5年間(R4～R8)

令和8年度予算額 34,654千円



AKITA DXハイスクール・ラボラトリー事業

令和8年度要求額 90,000千円

現 状

○ 全県立高校におけるプログラミング教育を中心とした、各科におけるデジタル人材育成に向けた取組を推進 (R4～:「デジタル教育 未来へRUNプロジェクト事業」)

○ 高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール. 文部科学省)により、採択校16校においてデジタル等成長分野を支える人材育成のためのハード・ソフト両面の整備を推進(R5～:AKITA DXハイスクール・ラボラトリー事業)

課 題

○ 理数科においては、大学や研究機関、企業等との連携による発展的な探究活動の取組に課題が見られる。

○ 専門学科においては、企業等が求める人材育成に向けたDX化に対応した課題研究などの取組に課題が見られる。

○ 中高一貫教育校においては、6年間を見通した発展的な探究活動の取組に課題が見られる。

○ プログラミングや生成AI等のデジタル技術及び3Dプリンタやドローン等のデジタル機器を活用した探究活動の充実に向け取り組んでいるものの、取組の推進や学習成果を共有する機会が不足している。

事業の目的

○ 理数科の「理数探究」において、高度な実験・研究環境を充実させ、ICTを活用した高大連携や学校間連携の取組を推進

○ 専門学科において、各学科等連携した「ものづくりネットワーク」の構築及び企業等と連携した課題研究等の充実

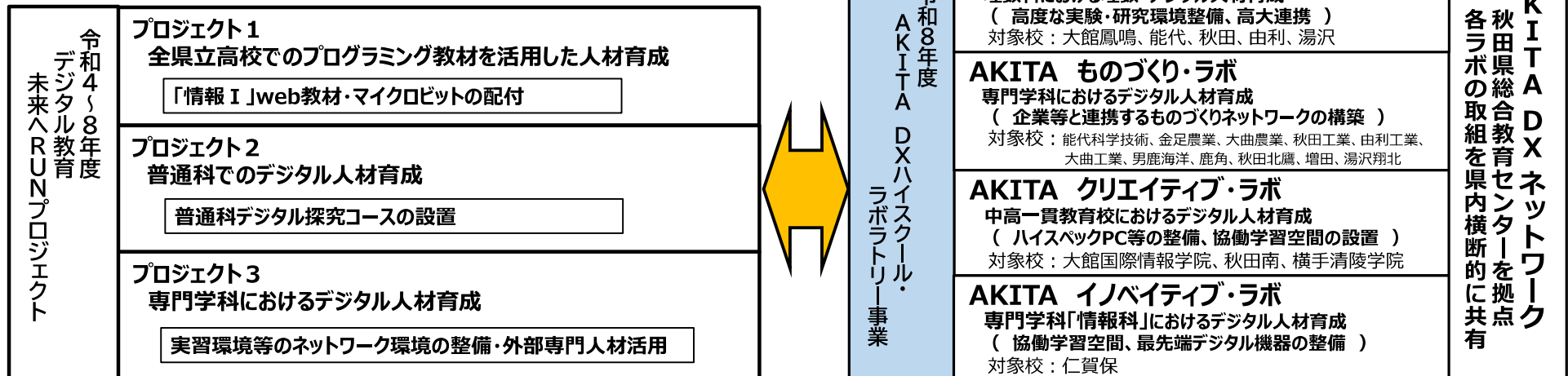
○ 中高一貫教育校において、協働学習空間を整備し、中学校とのつながりを意識した発展的な探究活動の取組の充実

○ 専門学科「情報科」において、新たな価値を創造しデジタル等成長分野への道を切り開く人材を育成

事業の概要

＜本県が目指すデジタル人材＞
 これからのデジタル社会で活躍するために必要となる論理的思考力、提案力、課題解決能力等の資質・能力を身に付けた人材

＜事業効果＞
 ○ 理数・デジタル等の成長分野の学部へ進学する生徒の増加
 ○ 企業等のDX化や成長産業を支える人材の増加



AKITA DXハイスクール・ラボラトリー事業

令和8年度要求額 90,000千円

理数科における高大連携や学校間連携を重視した探究活動の充実



AKITA STEAM・ラボ

令和8年度要求額 15,000千円

現状と課題

- 学習指導要領の改訂に伴い、理数科の科目「**理数探究**」において、より専門性の高い指導が求められており、**実験・研究環境の充実及び大学や研究機関との連携**のより一層の充実を図る必要がある。
- **プログラミングやデータサイエンス**などの数学や情報で身に付けた知識・技能を「理数探究」の学習に生かしたり、文系・理系といった枠にとらわれず課題を俯瞰的に捉え、解決したりする取組に課題が見られる。
- **理数科合同研修会**などで学校間の交流や成果を発表する機会はあるものの、じっくりと意見を交換したり大学教員等から長期的に指導を受けたりする機会は十分でない。

事業内容：【対象】理数科設置校5校（継続申請：大館鳳鳴、能代、秋田、由利、湯沢）

- より専門性の高い研究を推進するために、**高度な実験・研究環境の整備と博士号教員及び大学教員等の外部人材による支援**の充実を図る。
- **高大連携や生徒同士の交流**等を推進するために、各校に「**STEAM・ステーション**」を設置し、プログラミングや論文検索など、校内の探究活動の拠点としての活用など**ICTを活用した探究活動**を推進する。

高度な実験・研究環境の充実
STEAM・ステーションの設置

高大連携・外部人材による専門性の高い研究

STEAM・ラボで実現する新たな学び

STEAM・Staを拠点としたコミュニケーション

目指す生徒の姿

- これからの**デジタル社会**で活躍できる生徒
- 理数・デジタル分野の**高い専門性**を身に付け、理数・デジタル等の**成長分野の学部へ進学**する生徒



STEAM・ラボの設置

○ 実験・研究環境の整備

蛍光顕微鏡や遺伝子実験装置（PCR）などの**高度な実験装置**を整備し、**博士号教員や大学教員等の外部人材**を活用しながら、**高い専門性を生かした理数教育**を推進する。

○ STEAM・ステーションの設置

図書館などのオープンスペースに、**ハイスペックPC、プレゼン用カメラ・マイク**等を備えた**STEAM・ステーション**を設置する。**オンラインでの発表**や探究コンテンツの活用、学校間の生徒交流のほか、**高度なプログラミングや論文検索**など、ICTの利点を最大限に生かした理数探究の拠点として位置付ける。



STEAM・ラボによる新たな学び

○ 高度な実験装置による理数科の専門性を生かした高度な学びの推進

（例）・理数科設置校の理数探究では、**遺伝子実験装置（PCR）**を活用した**DNAの増幅、検出**を行い、**県内大学や企業等の外部人材**を活用し、**データの分析や課題を解決する学び**を推進する。

○ STEAM・ステーションを拠点とした発展的な探究活動の推進

- ・理科、数学、データサイエンス等の分野に興味・関心のある生徒が、学校の枠を越えたグループをつくり、大学教員等の指導を受けながら課題に挑戦する**STEAM・ネットワーク**を構築する。
- ・理数科合同研修会、サイエンスカンファレンスをオンラインで実施。STEAM部門を新設し、成果を発表したり優れた研究を科学コンテストや学会誌に投稿したりするなど、自分の考えを伝える能力を身に付けるための学びを推進する。

AKITA DXネットワーク
秋田県総合教育センターを拠点としラボラトリーを越え学習成果を共有

理数科設置校以外の生徒が参加できるネットワークを構築し、生徒同士で理数分野の学力を高め合う学びを推進

理数科連絡協議会や高等学校教育研究会で成果を共有するなど、教員の指導力向上に向けた取組を推進

AKITA DXハイスクール・ラボラトリー事業

令和8年度要求額 90,000千円

専門学科におけるデジタルを活用したものづくり教育の充実

AKITA ものづくり・ラボ

令和8年度要求額 61,000千円



現状と課題

- 農業科と工業科を有する高校においては、「スマート専門高校事業」(R2年度)により、3DCADや3Dプリンタなどのデジタル化に対応した実習装置が整備されているものの、地域企業等が求める人材の育成に向けて、デジタル化に対応した実習装置等をより効果的に活用した課題研究などの取組に課題が見られる。
- 県内唯一の水産科を有する男鹿海洋高校においては、海洋DXによる探究活動を通じ、魚種転換等の環境変化に即応できる水産リーダーの育成が期待されている。

事業内容：【対象】職業教育を主とする学科を設置する高校11校（能代科学技術*は、農業科と工業科を設置する学校として指定する。）

継続申請（農業科：能代科学技術、金足農業、大曲農業、工業科：能代科学技術*、秋田工業、由利工業、大曲工業、水産科：男鹿海洋）

新規申請（農業科：秋田北鷹、増田、工業科：鹿角、湯沢翔北）

- 採択校に専門学科や地域をデジタルでつなぐ「ものづくり・ラボ」を構築し、デジタル化に対応したものづくり教育における探究的な学びに係る研究を行う。

ものづくり・ラボの構築と活用

ものづくり教育のDX化

育成を目指す人材

- 企業等のDX化や成長産業を支える人材
- 新たな価値を創出するものづくり人材

ものづくり・ラボの構築

○ 農業科と工業科のモデル校

- ・ 高品質なWi-Fiスポット、最新鋭プロジェクター、高性能ノートPC、スマートグラスを実習室に整備し、既存のデジタル化に対応した実習装置等をより効果的に活用した課題研究などに取り組む。
- ・ 農業科に非破壊糖度計を、工業科に三次元測定機を整備し、技術・技能の向上に向けたものづくり教育に取り組む。

○ 水産科モデル校(男鹿海洋)

- ・ 経験や勘に頼る漁業技術をデータで可視化するため、海洋データの高度な分析に対応したICT基盤を整備し、科学的な探究活動などに取り組む。

ものづくり・ラボによる新たな学び

農業科 ★新しい価値の創出に向けたものづくり教育の推進

- (例) ・センシングシステムに蓄積された栽培記録や非破壊糖度計で測定した糖度を関連付けながら、データに基づき生産した付加価値の高い減農薬果物を用いたジャムなどの商品開発を行い、新しい価値の創出に向けたものづくり教育の推進を図る。
- ・生徒が装着したスマートグラスのカメラが捉える視界映像を遠隔地にいる先進農家とつなぎ、遠隔支援による技術指導を行う。

工業科 ★学科間や企業等との連携によるものづくり教育の推進。取組の発表機会を創出し、学びの成果を工業系高校全体で共有。

- (例) ・3DCADのデータや制御プログラムを学科間で共有し、学科間連携による課題ロボット製作に取り組むことで協働的な学びの推進を図る。
- ・工業製品を三次元測定機でスキャンしてデジタルデータ化し、スキャンデータを用いて3Dプリンタで造形するなどのリバーエンジニアリング実習を行うとともに、専門家による特許に関する特別講義を実施することで、新しい価値の創出に向けたものづくり教育の推進を図る。
- ・生徒が装着したスマートグラスのカメラが捉える視界映像を遠隔地にいる企業エンジニアとつなぎ、遠隔支援による技術指導を行う。

水産科(男鹿海洋) ★データで海を読み解く、次世代ものづくり教育の推進

- (例) ・実習船「真山丸」の海底スキャナーで得た地形データを活用し、潮流の変化が海産物の養殖や漁獲量に及ぼす影響を分析する。
- ・企業と連携した定置網モニタリングシステムの運用やデータ分析を通じ、先端技術による効率的な漁業経営手法の習得を図る。
- ・中学生の体験入学等において、各種シミュレーターを活用し、専門高校での学びや成長産業に関する理解促進を図る。

各モデル校は、高等学校教育研究会各専門部会などで成果等の発表を行い、各校でのデジタルものづくり教育の推進につなげる。

AKITA DXネットワーク
秋田県総合教育センターを拠点としラボラトリーを越え学習成果を共有

AKITA DXハイスクール・ラボラトリー事業

令和8年度要求額 90,000千円

中高一貫教育校におけるデジタルを活用したより発展的な探究活動の推進

AKITA クリエイティブ・ラボ

令和8年度要求額 9,000千円



現状と課題

- 中高一貫教育校では、探究的な学習活動の合同成果発表会等を実施し、各校での探究活動の充実が図られている。
- 6年間の一貫した教育課程や学習環境の下で学ぶことのできる中高一貫教育校において、**デジタルを活用した中高の探究活動**の接続強化と、**高大連携による発展的な探究活動**を推進し、**生徒一人一人の可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学び**を実現していく必要がある。

事業内容：【対象】中高一貫教育校3校（継続申請：大館国際情報学院、秋田南、横手清陵学院）

- 6年間を通じた協働的で体験的・創造的な**探究活動を推進**するために、中高一貫教育校3校に、デジタルを活用した学習環境「**クリエイティブ・ラボ**」を設置する。

「クリエイティブ・ラボ」の設置と活用

目指す生徒の姿

- デジタル社会で活躍する生徒
- 自ら「問い」を発し、他者との関わりを通して主体的に問題を解決していく生徒

クリエイティブ・ラボの設置

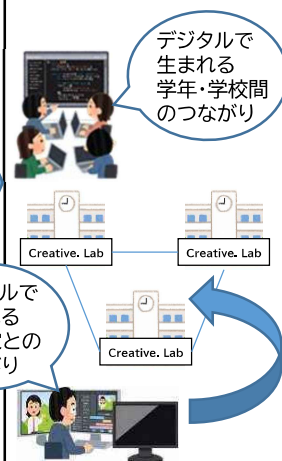
- 「クリエイティブ・ラボ」は、空き教室等を活用し、最新鋭のプロジェクターやグループワーク用のテーブル、ハイスペックPCなどを整備した、**生徒がわくわくしながら協働的・体験的・創造的な学びを推進するための学習環境**である。



ハイスペックPC、最新鋭プロジェクター、大型スクリーン、3Dプリンタ、個人・グループワーク用可動式テーブル、オンラインミーティング用カメラ、マイクなどを整備

デジタルで生まれる
専門家との
つながり

クリエイティブ・ラボによる新たな学び



- **場所や時間、学年や学校間の枠を超えた他者とのコミュニケーションを充実させた探究的な学びの推進**
 - ・ ハイスペックPCと3Dプリンタを活用したものづくり、設計データの共有、3DCGを用いたデジタル作品の制作、インターネットを介した共同制作
 - ・ 最新鋭プロジェクターや大型スクリーンを活用した中高合同探究活動合同発表会の実施
 - ・ 合同発表会の小学校等への発信、メタバース空間での発表会の実施 など
- **大学等の専門人材による学習支援や、Webコンテンツ等の活用などによる、より発展的な探究活動を推進**
 - ・ 大学教授による探究活動やレポート等への指導
 - ・ 大学等の研究施設の活用
 - ・ 大学生等の研究発表会への参加、共同研究 など

AKITA DXネットワーク
秋田県総合教育センターを拠点としラボラトリーを
越え学習成果を共有



AKITA DXハイスクール・ラボラトリー事業

令和8年度要求額 90,000千円

新たな価値を創造しデジタル等成長分野への道を切り開く人材を育成



AKITA イノベティブ・ラボ

令和8年度要求額 5,000千円

現状と課題

- 全県立高校におけるプログラミング教育を中心とした、デジタル人材育成に向けた取組を推進(R4～:「デジタル教育 未来へRUNプロジェクト事業」)
- プログラミングや生成AI等のデジタル技術及び3Dプリンタやドローン等のデジタル機器を取り入れた探究活動にも取り組み、探究的・実践的な学びを充実させていく必要がある。

事業内容：【対象】専門学科「情報科」設置校1校（仁賀保）

- 県内唯一の専門学科情報科において「イノベティブ・ラボ」を設置し、大学教員やエンジニア等の外部人材を活用しながら、IoT、生成AI等を探究的に学習する。
- 生成AI等のデジタル技術を活用した探究活動を充実させ、問題解決能力や創造性を身に付けたデジタル社会で活躍する人材を育成する。

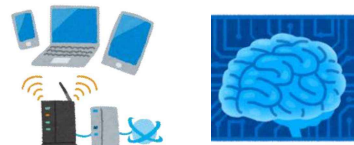
「イノベティブ・ラボ」の設置と活用

目指す生徒の姿

- 創造性豊かで探究心旺盛な生徒
- 高度な技術を駆使し、社会とのつながりの中で問題を解決していく生徒
- 革新的なアイデアを生み出し、新たな価値を提供できる生徒

イノベティブ・ラボの設置

- 「イノベティブ・ラボ」は、各校情報教育の拠点として活用し、最新鋭プロジェクターやグループワーク用のテーブル、高性能Webカメラ、3Dプリンタなどを整備した、体験的・創造的に探究活動に取り組むための未来型学習空間である。

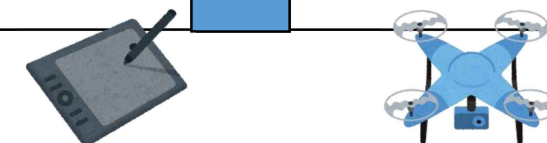


ハイスペックPC、最新鋭プロジェクター、大型スクリーン、3Dプリンタ、個人・グループワーク用可動式テーブル、オンラインミーティング用カメラ、マイクなどを整備

AKITA DXネットワーク
秋田県総合教育センターを拠点としラボラトリーを越え学習成果を共有

イノベティブ・ラボによる探究的な学び

- 大学やIT関連企業等、外部人材の活用した人材育成
 - ・ 大学等と連携しながらデータ収集、整理、分析を行い、可視化することで、隠れたパターンや傾向を発見するなど、データサイエンスを探究的に学習する。
 - ・ IT関連企業等の外部人材を活用し、数理・データサイエンス・AI等に関する講義を通してデジタル技術の理解を深め、デジタル技術がもたらす社会変革等について発表する。
 - ・ デジタル機材を活用した学びから得たスキルを活用し、地域との結び付きを高め、地域課題を解決する取組を推進する。



将来的には、デジタル社会で活躍できる人事や、新たな価値を創造できる人材、VUCA時代に対応できる人材育成を目指す。

AKITA DXハイスクール・ラボラトリー事業

デジタルを活用した情報活用指導力の育成とラボラトリーを越えた学習成果の共有



AKITA DXネットワーク

事業内容

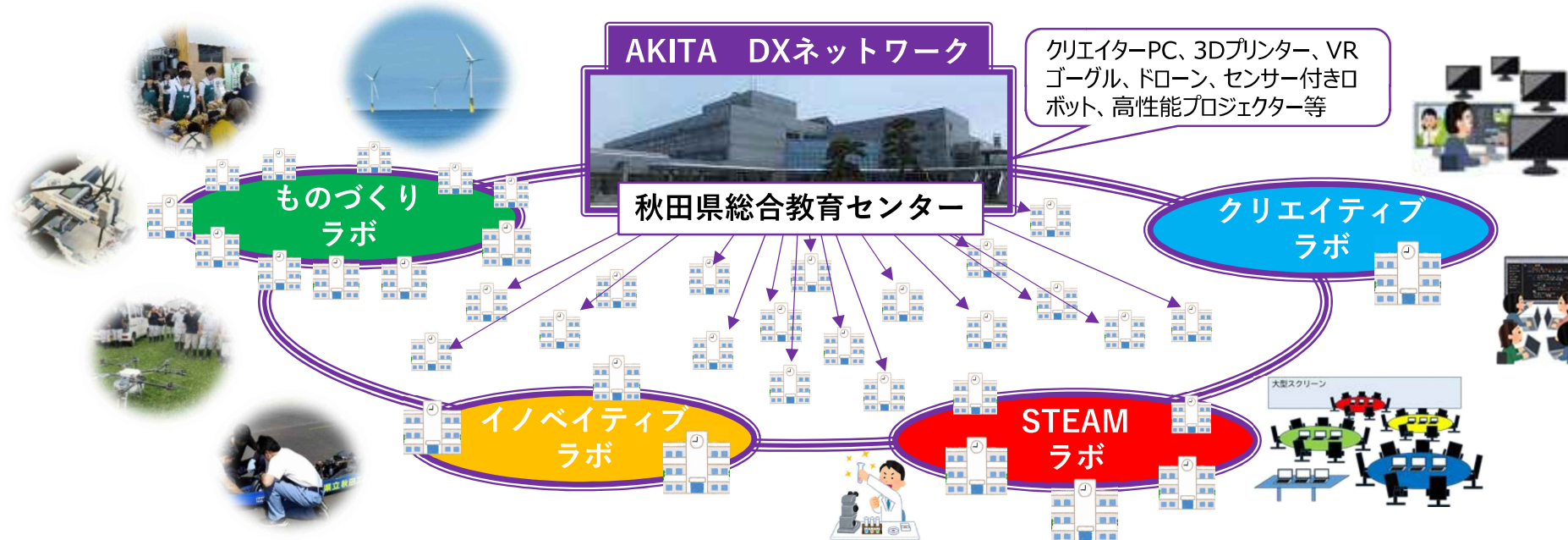
○県内全域にわたる配信拠点を整備し、域内横断的な学習空間を構築することにより、県内全域における探究活動を推進する。

DXネットワークの構築

- 県内各DXラボラトリーと総合教育センターをネットワークで結び、全県の学校へ各ラボラトリーの活動を配信するなど、学校・学科の垣根を越えた連携を推進する。
- 総合教育センターに「DXネットワーク・ラボ」を設置し、配信関係機材の充実及び所内ネットワーク環境の整備により、県内全域への配信の拠点とする。

DXネットワークにおける探究的な学び

- 各ラボラトリーの活動及び成果等を配信し、共有を図る。
- 各校種の理科の研修講座において、デジタル顕微鏡や天体用CMOSカメラを用いた講義・演習を実施したり、記録データを各学校が授業で活用したりできるようにする。



AKITAグローバル人材育成事業 R8

【高校教育課】

予算額 145,350千円

異文化を理解し自らの考えを英語で発信できる、グローバル社会で活躍できる人材の育成

事業概要

「発信力強化プロジェクト」「グローバルコミュニケーションプロジェクト」「指導力向上プロジェクト」の3つのプロジェクトによる小・中・高一貫した英語教育の推進により、異文化に対する理解の促進及び児童生徒の英語による発信力の強化を通して、複雑化するグローバル社会で活躍できる人材の育成を図る。

<発信力強化プロジェクト>

自分の考えや気持ちを英語で発信できる児童生徒を育成します。

- 1 オンライングローバルラーニングプロジェクト
- 2 TEAM AKITA英語ディベート推進プロジェクト
- 3 外部試験の実施（中2～高3まで英検IBA）
- 4 外国語指導助手（ALT）の配置

<グローバルコミュニケーションプロジェクト>

校外での活動を通して、異文化理解と英語コミュニケーション能力を強化します。

- 1 イングリッシュキャンプ
- 2 ファンライティング
- 3 高校生留学支援事業<短期派遣>

<指導力向上プロジェクト>

高度化する英語教育に対応できるよう、大学等と連携し教員の指導力と英語力の向上を図ります。

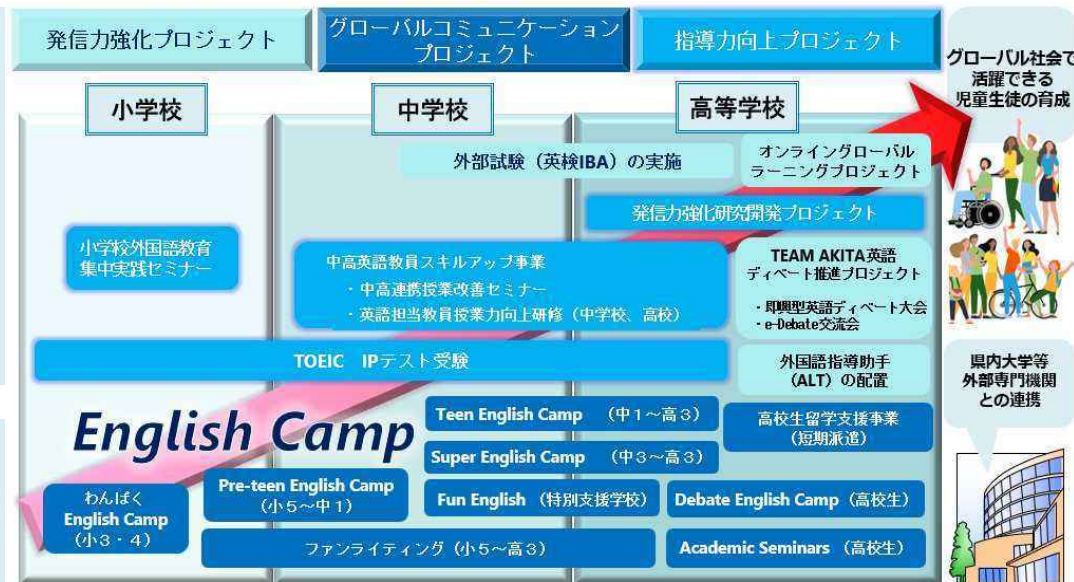
- 1 発信力強化研究開発プロジェクト
- 2 小学校外国語教育集中実践セミナー
- 3 中高英語教員スキルアップ事業
- 4 TOEIC IPテスト受験

主な成果

- ・ 生徒の英語力（英語教育実施状況調査 令和6年12月実施）
高3：英検準2級相当以上 52.4%（全国15位）
- ・ ALTの活用の充実（イングリッシュキャンプ及び教員研修）
- ・ 高校生英語ディベート推進事業参加者：737名（延べ）
※秋田北高、角館高、聖霊高がR7北海道東北四国交流大会に出場
※秋田南高、大館鳳鳴高がR5東北四国交流大会へ出場
※本荘高がR4、R5全国大会出場
※角館高がR2世界大会出場、R3全国大会出場
- ・ イングリッシュキャンプ参加者：6489名（延べ）
- ・ ファンライティング参加者：1801名（延べ）
- ・ オンライン交流（ディベート交流・発表交流・国際交流）

主な課題

- ・ 英語による発信力を強化する取組の推進
- ・ 校種間連携を通じた指導法の共有
- ・ 英語担当教員の指導力と英語力の向上



高校生学校生活支援事業

令和8年度予算額34,789千円

高校生一人一人が生き生きと学校生活を送ることができるよう、支援体制の充実を図る。

高等学校スクールカウンセラー配置事業(9,196千円)

いじめや暴力行為、家出、自傷行為等の問題行動及び不登校等の未然防止や早期発見、早期解決のため、スクールカウンセラーを全県立高等学校(県立中学校を含む)に配置し、相談体制の充実及び生徒の心のケアを図る。



○問題行動及び不登校の実態(文部科学省:問題行動等調査)

	年度	R4	R5	R6
いじめの認知件数		206	209	282
暴力行為発生件数		22	32	30
不登校生徒数		331	522	448

- ・県立高等学校48校に、スクールカウンセラー24名を配置
- ・総配当時数1,465時間



※緊急支援のためのカウンセラーの派遣(義務教育課)
生徒の死亡事故など突発的に発生した事案に対して、緊急にカウンセラーを派遣し、生徒及び教職員等の心のケアを図るための支援を行う。
事案ごとに、3日間、複数名の緊急支援カウンセラーを派遣する。

※対象は、秋田県公立高等学校(全日制・定時制・通信制)。
ただし、不登校生徒数は通信制を含まない。



高校生学校生活サポート事業(25,593千円)

県立高校に在籍する発達障害などの特別な支援を必要とする生徒が、より豊かな高校生活を送るため、学校生活や学習上の困難に対する支援を行う学習支援サポーターを配置する。

<配置の基準>対象生徒数等に基づき県教委が配置校を総合的に判断。
R7配置校…鹿角、大館国際情報学院、能代(定)、大曲農業太田分校、横手清陵学院、湯沢翔北雄勝校
<成果>きめ細かな支援の充実。職員の特別支援教育に対する意識の向上。就労支援に向けた取組の推進。

<さらに充実させるために>
校内支援体制のさらなる強化と配置校以外への実践事例の共有。外部機関とのさらなる連携。
・職員の共通理解と協力体制の充実
・校内外研修会の充実
・中学校等との情報共有の充実
・就労支援等の充実

◇学習支援サポーターの配置
R8配置校…鹿角、大館国際情報学院、能代(定)、大曲農業太田分校、横手清陵学院、湯沢翔北雄勝校
(計6名)

◇特別支援教育専門監との連携
・校内研修会等による共通理解の推進
・特別支援教育コーディネーター等関係職員へのアドバイス
・ケースに応じた高等学校特別支援チームの活用(特別支援教育課事業)

◇教育専門監(特別支援)による巡回訪問 ◇指導主事による訪問指導 ◇関係者による連絡協議会の開催

(新)県立高等学校地域留学伴走事業

令和8年度当初予算要求額 1,799千円

現状・背景

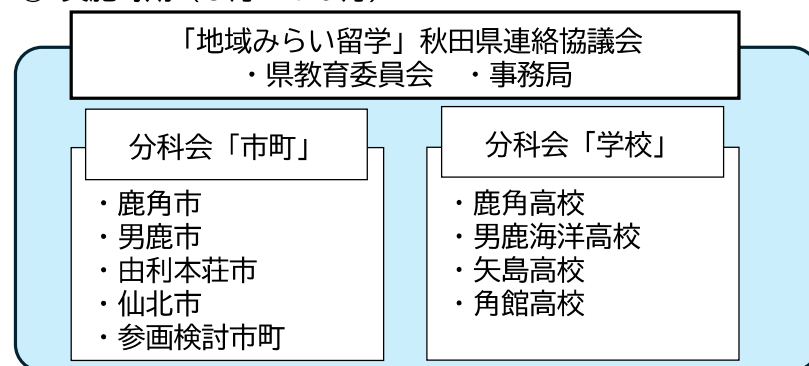
これまで、県が男鹿海洋高校をモデル校として「地域みらい留学」に参画し、地域と連携した特色ある学校づくりを進めてきた。令和8年度からは、鹿角高校、男鹿海洋高校、矢島高校、角館高校を対象に各市が参画するため、これら4校及び4市の取組を、県として把握し、連携させていく必要がある。またこれに加え、今後参画を予定している市町に対し、「地域みらい留学」の充実を図るノウハウを展開していく必要がある。

事業の目的

「地域みらい留学」に参画している市町、学校間の連携強化、全国の好事例に基づいた特色化・魅力化に向けた取組等の共有を図る。また参画主体である各市町と連携することで、本県の高等学校が、全国から生徒が集まる魅力ある学校となることを目指す。

事業の概要**(1) 「地域みらい留学」秋田県連絡協議会での全国や県内の好事例に基づく情報共有 (36千円)**

- ① 「地域みらい留学」に参画している市町、学校、県教育委員会、参画を予定している市町、(一財)地域・教育魅力化プラットフォーム(以下、事務局)と連携を図り、広報活動等に活用する。
- ② 実施時期(5月・10月)

**(2) 全国からの生徒募集を目指した広報活動 (1,763千円)**

- ① 合同説明会職員旅費 (東京 2回、各1名、2泊3日)
- ② 合同説明会生徒旅費 (東京 2回、各2名、2泊3日)
- ③ Zoomライセンス料 (オンライン説明会・個別相談等)

(1) 「地域みらい留学」秋田県連絡協議会での全国や県内の好事例に基づく情報共有

- ・地域と学校の連携の在り方
- ・受入体制(住居環境・生活サポート)
- ・広報活動(合同説明会・オンライン説明会)
- ・活動の評価と改善方法

(2) 全国からの生徒募集を目指した広報活動

- ・地域と学校の連携方法
- ・受入体制の構築
- ・効果的な広報活動
- ・活動の評価と改善方法

スクールロイヤー活用事業

令和8年度予算額1,996千円

現状・背景

- いじめや不登校、保護者への対応など、学校が対応すべき課題が多様化かつ複雑化しており、教職員の業務負担が増大している。
- また、保護者や地域からの過剰な苦情や不当な要求など、学校だけでは解決が難しい事案も増加しており、様々な専門家との連携の必要が増している。特に、保護者トラブル等において、専門的知見をもつ弁護士に相談できる体制が整備されておらず、問題の深刻化や長期化を防ぐための支援体制は不十分。
- 給特法の改正により、学校の働き方改革を加速化する観点から、教育委員会において、学校が弁護士等の専門家を活用できる環境の整備が求められている。

事業の目的

- 保護者や地域からの過剰な苦情や不当な要求やその他のトラブルから教職員を守るとともに、法的根拠に基づく対応力を高めることで、心理的な負担の軽減を図り、教職員が本来業務である教育活動の充実に注力できるようにする。
- いじめや不登校等の事案の適切かつ速やかな解決を可能にし、児童生徒が安心して学べる学校づくりを強力に推進する。

事業の概要

県教育委員会にスクールロイヤーを複数配置し、県立学校及び市町村教育委員会に対し、専門的な知見から課題解決の支援を行うとともに、教職員向けの研修を行い、教職員の法的対応力の向上を図る。

<専門的な知見からの助言>

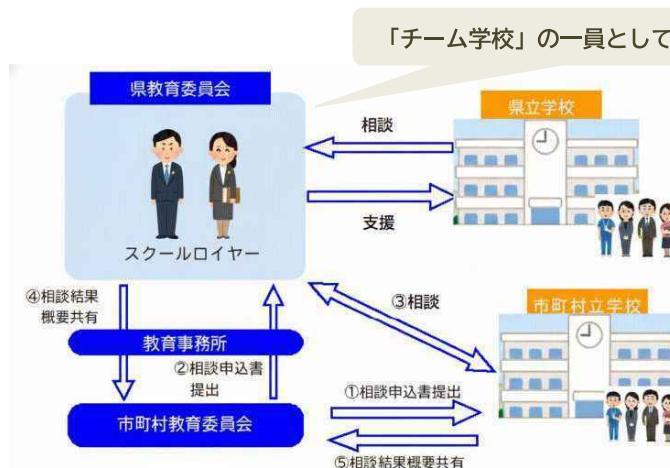
- 法的な知見に基づく専門的助言
- 学校で発生する様々な問題に関連する文書作成への助言・サポート

<教職員向け研修の実施>

- 法的リスクマネジメント研修
- スクールロイヤー活用研修

<学校内規程等の整備支援>

- 校則の見直し、いじめ防止基本方針などの策定・改定支援



<スクールロイヤーの配置>

- 4名に委託
(県北・県南地区担当各1名
中央地区担当2名)

<対象>

- 県立学校
- 市町村教育委員会
(秋田市、潟上市を除く)

全国高等学校総合文化祭あきた大会開催事業

予算額 452,142千円

事業概要

令和8年度秋田県で開催される第50回全国高等学校総合文化祭（以下「本大会」という。）の円滑な実施に向けて、大会開催準備や大会広報活動等を行うとともに、大会運営に携わる生徒及び関係職員の意欲を喚起しながら大会運営体制の強化を図り、各都道府県代表の高校生達による芸術文化活動を発表する全国大会として「全国高等学校総合文化祭」を開催し、創造活動の向上を図るとともに相互の交流を含めることにより、芸術文化の振興に資する。（文化庁「全国高等学校総合文化祭」事業）

事業内容

1. 実行委員会事務局の運営

28,520千円

- ・ 実行委員会、生徒実行委員会（年7回）、企画運営委員会、業務別部会等の諸会議を開催し、大会実施内容や運営方法等の企画検討を実施。
- ・ 部門担当教員の授業代替非常勤講師又は非常勤職員（事務補助員）の配置（22校）等。

2. 本大会開催

322,848千円

- ・ 総合開会式及びパレードの運営。
総合開会式：演出・進行、美術・仮設（展示エリア、ドリンクコーナー等）、音響・照明・映像、受付、警備、記録等
パレード：演出・進行、仮設（救護所、給水所等）、音響、警備、記録等（オリジナル竿燈を製作し、パレードオープニングアクトで披露）
- ・ 部門大会（22部門）の運営（大会看板製作、看護師配置、情報機器類の整備）、展示作品（美術・工芸部門、書道部門、写真部門）の搬出入・保管・展示の実施。
- ・ 総合案内所の設置、大会ガイドブックを制作し、県外来県者等に対する「おもてなし」の実施。
- ・ 「お成り」の実施。（宮内庁、県秘書課、県警本部等関係機関との調整、事前調査、パレードコースへのロイヤルボックス設置等）
- ・ 県外来県者等の宿、会場までの利便性、快適性、安全性の確保のためシャトルバスを運行。
- ・ 宿泊等サポートセンターの設置、企業等協賛の実施。

3. 部門大会開催

42,413千円

- ・ 部門大会開催運営への補助。
- ・ 部門大会（22部門）の運営に必要な物品購入等。

4. 大会PR活動

48,922千円

- ・ 大会開催の気運を高めるため、PRイベントの実施、各イベントへの参加及び公式ホームページやSNSを活用した本大会のPR。
- ・ 広報グッズの製作。（大会ポスター、大会チラシ、大会プログラム、大会のぼり旗、ボールペン等）

5. 国際交流の実施

9,439千円

- ・ 招へい国高校生と秋田県生徒との文化交流。[招へい国]オーストラリア連邦、タイ王国、大韓民国（各国高校生15名程度来県）
- ・ 総合開会式への出演、国際交流イベント（歓迎レセプション、県内高校生と交流会等）の実施。

これまでの主な取組（R3～R7）

- （R3）文化庁から秋田県開催の内定通知
- （R4）生徒準備委員会の設立、大会開催・基本方針策定等
- （R5）1000日前イベントの実施、大会テーマ、マスコットキャラクター等決定
- （R6）秋田県開催決定、実行委員会・生徒実行委員会の設立、広報活動（500日前イベント等）
- （R7）プレ大会の開催、大韓民国を招へいし国際交流コンサート等の実施、200日前イベント等

活動目標（令和8年度）

- ・ 第3回実行委員会（5月）、生徒実行委員会（7回）の開催
- ・ 「あきた総文2026」本大会の実施
- ・ お成り対応
- ・ 国際交流の実施（招へい国 3か国）
- ・ 県実行委員会引継会の開催
- ・ 大会記録集の作成

成果目標

- ・ 高校生の発表機会、鑑賞機会の確保
- 【全国高等学校総合文化祭大会参加生徒数（人）】

令和5年度 （鹿児島）	令和6年度 （岐阜）	令和7年度 （香川）	令和8年度 （秋田）
16,327	17,195	16,567	20,000

第50回全国高等学校総合文化祭(あきた総文2026)

目的・沿革

全国高等学校総合文化祭は、昭和52年から開催されている全国の高校生による国内最大規模の芸術文化活動の発表の場であり、高校生の創造活動の向上や相互交流を深めることを目的としている。

秋田県での開催は、昭和56年(第5回)以来、2回目の開催となる。なお、インターハイ開催地との調整により、北海道・東北地区の次の開催割当て年度は令和14年度となる。

○開催期間

令和8年7月26日(日)～8月1日(土)の7日間

○主催

文化庁、(公社)全国高等学校文化連盟、秋田県、秋田県教育委員会、県内開催市・同教育委員会、秋田県高等学校文化連盟



○開催内容

開会行事	総合開会式、パレード
部門別事業	舞台発表、展示発表、巡検研修、開閉会式等
	【規定部門(19部門)】 全ての大会で実施する部門 演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠剣詩舞、郷土芸能、マーチングバンド・バトントワリング、 美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、弁論、小倉百人一首かるた、新聞、文芸、自然科学
	【協賛部門】 開催県で内容を検討し、実施する部門 茶華道、情報、特別支援学校
国際交流事業	開催地高校生と海外高校生との文化交流

※皇族の御臨席(総合開会式及びパレード)、部門の御覧等を予定

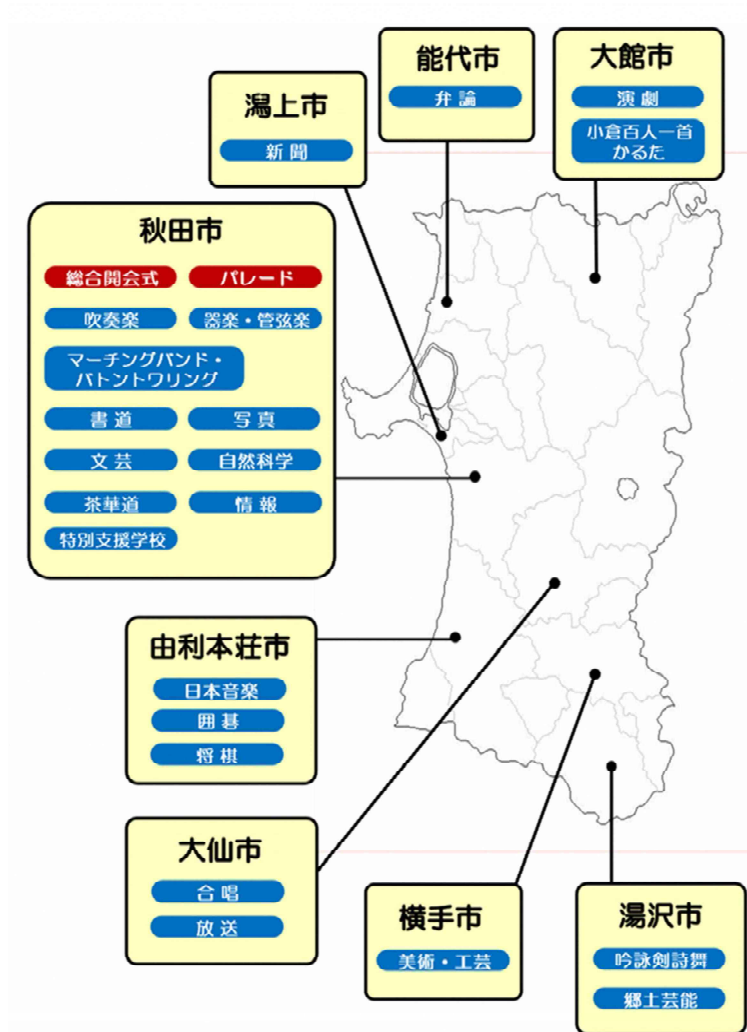


○近年の開催状況

開催年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回	43	44	45	46	47	48	49
開催地	佐賀県	高知県	和歌山県	東京都	鹿児島県	岐阜県	香川県
参加生徒数	18,021	WEB開催	14,583	17,720	16,327	17,195	16,567
観覧者数	91,010		25,254	40,500	91,616	53,815	52,221

あきた総文2026開催主会場及び実施日程

開会行事・開催部門		開催地	会場	令和8年							
				7月						8月	
				26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	31 金	1 土	
開会 行事	総合開会式	秋田市	あきた芸術劇場ミルハス	●							
	パレード	秋田市	広小路	●							
規定 部門	1 演劇	大館市	ほくしか鹿鳴ホール					●	●	●	
	2 合唱	大仙市	大仙市大曲市民会館								●
	3 吹奏楽	秋田市	あきた芸術劇場ミルハス							●	●
	4 器楽・管弦楽	秋田市	あきた芸術劇場ミルハス			●	●				
	5 日本音楽	由利本荘市	由利本荘市文化交流館 カダール						●	●	
	6 吟詠剣詩舞	湯沢市	湯沢文化会館								●
	7 郷土芸能	湯沢市	湯沢文化会館			●	●	●			
	8 マーチングバンド・パトントワリング	秋田市	県立武道館			●					
	9 美術・工芸	横手市	県立近代美術館 横手市立体育館		●	●	●	●	●		
	10 書道	秋田市	CNAアリーナ★あきた	●	●	●	●	●			
	11 写真	秋田市	県立美術館 にぎわい交流館AU アトリオン	●	●	●	●	●			
	12 放送	大仙市	大仙市大曲市民会館					●	●		
	13 囲碁	由利本荘市	由利本荘総合防災公園 ナイスアリーナ			●	●				
	14 将棋	由利本荘市	由利本荘総合防災公園 ナイスアリーナ							●	●
	15 弁論	能代市	能代市文化会館					●	●	●	
	16 小倉百人一首かるた	大館市	タクミアアリーナ			●	●	●			
	17 新聞	潟上市	潟上市市民センターかたりあん 潟上市市民センター天王館			●	●	●			
	18 文芸	秋田市	アトリオン			●	●	●	●	●	
	19 自然科学	秋田市	県生涯学習センター 県児童会館 秋田県J Aビル さきがけホール					●	●	●	
協賛 部門	20 茶華道	秋田市	秋田市文化創造館			●	●				
	21 情報	秋田市	秋田市文化創造館			●	●				
	22 特別支援学校	秋田市	秋田市文化創造館							●	●



【経常】 みんなで創る特別支援教育推進事業（H19～）

特別支援教育課
令和8年度予算額 1,542千円

趣旨

特別支援学校がこれまで培ってきた障害のある幼児児童生徒の教育に関するノウハウを活用するとともに、関係機関が連携し、早期からの教育相談や、特別支援学級に在籍する児童生徒及び通常の学級に在籍する児童生徒などへの教育的支援や教職員の研修等を行う。

事業内容

①通常の学級 実践研修	○対象：小・中学校等の通常の学級の担任 特別支援教育担当指導主事が学校訪問し、通常の学級の担任と特別支援教育支援員による提示授業に基づく協議を行うことにより、通常の学級の担任の実践的指導力の向上を図る研修	⑤視覚支援学校・ 聴覚支援学校 サテライト教室	視覚支援学校のロービジョン支援センターや聴覚支援学校のきこえとことば支援センターの他、県北・県南地区のサテライト教室における、視覚に障害の幼児児童生徒や難聴幼児児童生徒に対する教育支援及び保護者・教育関係者への相談活動を実施
②通級による指導 実践研修	○対象：小・中学校等の通級による指導担当教員 特別支援教育担当指導主事が学校訪問し、提示授業に基づく協議を地域の通級による指導担当教員を含めて行うことにより、通級による指導担当教員の実践的指導力の向上と地域の特別支援教育の推進を図る研修	⑥各特別支援学校 のセンター的機能	○就学相談、教育相談等への対応、諸検査、教材・教具の貸出しや情報提供 ○個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成の支援、生涯学習支援、青年学級の開催 ○研修会、講習会、障害理解授業等実施、学校見学、体験学習等の受入 等
③特別支援学級 実践研修	○対象：特別支援学級担任 特別支援教育担当指導主事等が学校訪問し、提示授業に基づく協議を行うことにより、特別支援学級担任の実践的指導力の向上を図る研修	⑦交流及び 共同学習の推進	各特別支援学校の交流及び共同学習や居住地校交流の実施状況等を把握するため、調査を実施
④特別支援学校 体験研修	○対象：通常の学級の担任、通級による指導担当教員、特別支援学級担任 特別支援学校での授業参加等の体験的な研修	⑧Web上の情報 提供「障害別支援 ガイド」	小・中学校の特別支援学級、通級指導教室、通常の学級担任等が、障害の理解と対応、校内支援体制の構築に向けて参考となる資料を閲覧できるシステムを構築
		⑨病弱教育サポ ートセンターの運営	病弱教育の拠点として、病気療養中等の幼児児童生徒に対して適切な支援が提供できるよう、全県域にネットワークを構成し、各学校（園）における支援を促進

切れ目ない支援体制充実促進事業

令和8年度

特別支援教育課

予算額 981千円

現 状	基本的な校（園）内支援体制は整った	課 題	小・中の通常の学級における個別の教育支援計画作成率は49%	解 決 の 方 策	通常の学級で特別支援教育支援員による支援を受けている児童生徒に対する、個別の教育支援計画の確実な作成と活用を促す。
	引継ぎ等に係る小・中学校間連携は充実してきた		関係機関との連携の重要性に対する教職員の理解が不十分である		家庭、福祉、教育の連携の重要性について、市町村の教育・障害福祉行政担当者との十分な共通理解を図る。
	特別支援教育担当教員の研修ニーズが高まった		一般県民の特別支援教育への理解推進に課題が残っている		小・中学校等の保護者や地域住民が参加しやすい障害理解関連事業について、情報発信を強化し、活用を促進する。

目的 特別な支援を必要とする子どもに対して、就学前から卒業後に至るまでの切れ目ない支援体制を促進するため、個別の教育支援計画の活用による校（園）内支援体制の機能向上及び関係機関との連携強化、保護者等に対する特別支援教育への理解推進を図る。

1 個別の教育支援計画の活用による校（園）内支援体制の機能向上及び関係機関との連携推進	2 関係機関の連携推進による相談・支援の充実
<p>①新任特別支援教育コーディネーター研修会 対象：初めて特別支援教育コーディネーターに指名された幼保等、小・中等、高校、特別支援学校教職員 内容：特別支援教育コーディネーターに必要な知識や技能、態度等の育成 回数：年2回</p> <p>②特別支援教育コーディネーター連絡協議会(小・中学校等、高等学校) 対象：特別支援教育コーディネーターに指名されている小・中等教員、高校教員(新任を含む) 内容：個別の教育支援計画の活用による関係機関との連携推進 回数：県内3地区で各年1回(小・中等)、年1回(高等学校)</p> <p>③特別支援教育支援員研修会 対象：特別支援教育支援員(経験3年目まで) 内容：学級担任との連携や役割、適切な支援のあり方等の研修 回数：県内3地区で各1回</p>	<p>①小・中・高特別支援チーム連絡協議会 内容：活動の在り方の共通理解、好事例共有(年2回・オンライン)</p> <p>②小・中学校等特別支援チーム 対象：小・中学校、義務教育学校 内容：県内3教育事務所(事務局と医療、福祉等の関係機関による特別支援チームを設置、要請に応じて小・中等を訪問し、校内支援体制の機能向上を図る相談・支援を実施)</p> <p>③高等学校特別支援チーム 対象：高等学校 内容：県内3地区の特別支援学校に事務局と福祉、労働等の関係機関による特別支援チームを設置、要請に応じて高等学校を訪問し、校内支援体制の機能向上を図る相談・支援を実施</p>
3 家庭と教育と福祉の連携強化による学校生活や家庭生活の充実	4 特別支援教育への理解推進
<p>①トライアングル研修会 対象：保護者、学校関係者、放課後等デイサービス事業所関係者等 内容：家庭と教育と福祉の連携促進に向けた市町村の実践の共有及び協議等による研修の充実 回数：年1回(オンライン、オンデマンド型配信併用)</p>	<p>①心のバリアフリー推進モデル地区における障害理解の推進 対象：小学校、特別支援学校、保護者等 内容：モデル地区における交流及び共同学習の取組の充実、発信</p> <p>②障害理解研修会～心のバリアフリーミーティング～ 対象：保護者、学校(園)教職員、地域住民、関係機関職員等 内容：特別支援教育や障害に関する理解啓発</p> <p>③特別支援教育に関する情報発信の充実 内容：県民の特別支援教育や障害に対する理解推進に向けたホームページ等による情報発信、PTA事業等での障害理解授業や障害者スポーツ体験等の実施についての情報提供</p>

背景

- 令和8年度には障害者の法定雇用率が2.7%に上がることを踏まえ、企業による特別支援学校生の雇用に対する関心が高まり、一般就労の機会拡大や求人数の増加が期待される。
- テクノロジーの進展と価値観の変化により、社会的に多様な働き方へと転換が進んでいる。特別支援学校生についても、それぞれの障害の状態や特性に合わせて、時間や場所、雇用形態等、多様な働き方を一層進める必要がある。

目的

就労支援コーディネーターと特別支援学校教員による、特別支援学校生の実態や多様なニーズに応じた就労支援と生徒の就労意欲を支える早期からの職業教育の充実に向けた取組、特別支援学校の職業教育に対する理解推進を図る取組を関連させながら行うことにより、就職を希望する生徒数と就職率の増加を図る。

内容

1 就労支援コーディネーターによる個別支援の強化

○就労支援コーディネーターの配置（1名：事業推進拠点校1校）



<主な働き>

①事業推進拠点校（ゆり支援学校）では…

- ・個々の生徒の実態やニーズの把握
- ・生徒・教員への就労に係る情報提供



②企業等では…

- ・職場見学・体験・実習の依頼・交渉
- ・生徒の実態に応じた実習形態や支援方法等に係る提案・調整等
- ・生徒の実態やニーズに応じた業務内容や雇用形態の提案・調整等
- ・多様な働き方に関する企業等からの情報収集と発信



<雇用創出のイメージ>

従来の雇用形態

- ・フルタイム
- ・短時間（6時間）
- ・ジョブコーチ



新たな雇用形態

- ・超短時間
- ・テレワーク
- ・福祉的就労との併用



一般就労可能な生徒の増加

2 生徒の就労意欲を支える早期からの職業教育の充実

- 前事業での開拓企業等を活用した、早期からの職場見学・職場体験等の実施
- 職業教育の充実に係る検討会の実施による職業教育の改善・充実（事業協力校2校の指定）
- 外部講師を活用した職業教育に係る研修会の開催（会場：事業協力校）

3 特別支援学校の職業教育に対する理解推進

- 特別支援学校就労促進フェアの開催（県内3地区）
- 部局連携等を活用した多様な働き方に関する情報収集と発信

目指すゴール

- 雇用創出モデルの構築
- 生徒の就労意欲の向上と主体的な進路選択
- 企業の特別支援学校生に対する理解促進



障害の状態や特性に合わせた、多様な働き方の拡大



就職希望者及び就職率の増加

特別支援学校教員の専門性向上サポート事業（令和5年度～令和9年度）

特別支援教育課

令和8年度予算額 8,681千円（継続）

「第四次秋田県特別支援教育総合整備計画」（令和5年度～令和9年度）に基づき、点字指導員や言語聴覚士等の高度な専門性を有する教員を養成するとともに、教員の業務を補助する教員業務支援員を配置し、特別支援学校教員の指導・支援の質の向上を図る。

1 高度な専門性を有する特別支援学校教員養成事業

4,005千円

高度な専門性を有する特別支援学校教員として、視覚支援学校の教員から歩行指導員と点字指導員、聴覚支援学校の教員から言語聴覚士の有資格者を養成し、視覚支援学校及び聴覚支援学校の教職員一人一人の専門性の向上に寄与するとともに、医療機関等との連携強化により、特別支援学校のセンター的機能の一層の充実を図る。

○対象者 視覚支援学校及び聴覚支援学校の教諭

○内容 令和5年度から5か年の養成計画に基づき、歩行指導員2名、点字指導員2名、言語聴覚士2名をそれぞれ養成

令和8年度は、歩行指導員1名、点字指導員1名、言語聴覚士1名（2年次／2年）について実施

○経費 旅費 4,005千円



2 教員業務支援員配置事業

4,676千円

学習プリントや教材・教具の作成等補助、ICT機器の準備等、登下校や休み時間の見守りや給食の配膳、清掃、車椅子乗降や移動の介助等、教員が担う業務を補助する人材を配置し、教員の身体的負担軽減や指導時間の確保を図り、指導の質の向上及び働き方改革に資する。

教員業務支援員の配置（会計年度任用職員 1日6時間、週5日勤務）

○配置数 2名（秋田きらり支援学校2名）

○経費 報酬	3,002千円	期末手当	443千円	勤勉手当	373千円
職員共済費	264千円	社会保険料	447千円	旅費	147千円

○財源

- (1) 国庫 . . . (1/3) 「補習等のための指導員等派遣事業」
- (2) 一般財源 . . . (2/3)



高度な専門性を有する特別支援学校教員養成事業（継続）

特別支援教育課
予算額 4,005千円

目的

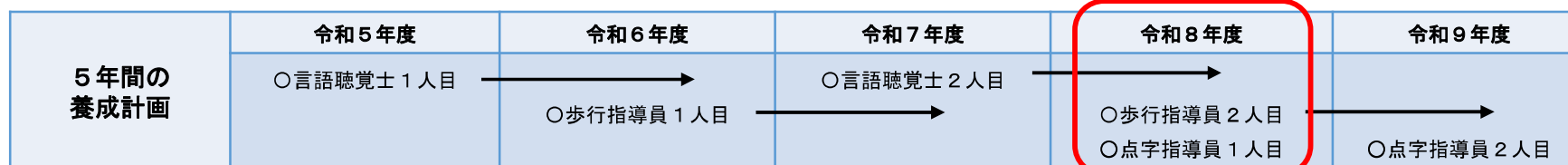
高度な専門性を有する特別支援学校教員として、視覚支援学校の教員から歩行指導員と点字指導員、聴覚支援学校の教員から言語聴覚士の有資格者を養成し、視覚支援学校及び聴覚支援学校の教職員一人一人の専門性を向上するとともに、医療機関等との連携強化により、特別支援学校のセンター的機能の一層の充実を図る。

背景・課題

令和9年度において、現在の有資格者の管理職登用や退職・異動等が見込まれ、専門性の継承と円滑な人事異動の調整に困難をきたすことから、新たに養成する。

令和8年度養成計画について

1 言語聴覚士の養成（1名） 1,955千円	2 点字指導員の養成（1名） 95千円	3 歩行指導員の養成（1名1,955千円）
(1) 養成機関 多摩リハビリテーション学院専門学校（東京都） (2) 研修期間 令和7年4月～令和9年3月（2年目/2年課程） (3) 取得条件 国家試験合格（令和9年2月） (4) 経費 旅費（往路旅費、日額旅費） 1,955千円 (5) 必要数 校内対応1名、教育相談等対応1名（R5,6 1名、R7,8 1名） 計2名 <主な役割> ・在籍幼児児童生徒の日常的な聴覚管理（聴力測定等）と指導 ・国家資格を有する医療専門職の専門性を活かした医療機関との連携 ・教育相談等、外部の幼児児童生徒の聞こえ方の把握や保護者への助言	(1) 養成機関 日本盲人社会福祉施設協議会（東京都） (2) 受講時期 令和8年11月（3日間） ※期日未定 (3) 取得条件 研修会受講→認定試験合格 (4) 経費 旅費 95千円 (5) 必要数 児童生徒指導担当1名（R8）、職員指導等研修担当1名（R9）、計2名 <主な役割> ・点字資料作成による全盲の教職員への情報保障業務 ・児童生徒への指導及び教職員に対する点字指導法に関する研修の実施 ・職員の作成した点字資料の校正、指導等業務	(1) 養成人数 1名（7年度（※2年次は旅費なし）） (2) 養成機関 社会福祉法人日本ライトハウス（大阪府） (3) 研修期間 令和8年4月～令和10年3月（2年課程） (4) 経費 旅費（往路旅費、日額旅費） 1,955千円 (5) 必要数 校内対応1名（R6・7）、教育相談等対応1名（R8・9）、計2名 <主な役割> ・在籍幼児児童生徒の日常的な歩行指導の練習、開始許可の見極め ・歩行指導計画の立案、実態把握のデータ記入、指導の評価、担任及び保護者への説明・助言 ・教育相談等、外部の幼児児童生徒等への歩行計画の立案及び指導



<養成前の状況（令和4年度）>

資格名	～30代	40代	50代	60代	合計
歩行指導員 (視覚支援配置数)		<u>2</u>			<u>2</u>
点字指導員 (視覚支援配置数)				<u>1</u>	<u>1</u>
言語聴覚士 (聴覚支援配置数)			<u>3</u>		<u>3</u>

<養成後の状況（令和9年度・予定）>

資格名	～30代	40代	50代	60代	合計（必要数）
歩行指導員 (視覚支援配置数)		<u>2</u> <u>1</u>	<u>1</u>		4
点字指導員 (視覚支援配置数)	<u>1</u>		<u>1</u>		2
言語聴覚士 (聴覚支援配置数)	<u>2</u>		<u>2</u>		4

網掛けは本事業養成者（各資格2名ずつ）、下線部は退職、異動等が見込まれる者。生徒数は横ばいで推移しているものの、現在の有資格者は令和9年度において管理者登用や退職・異動等が見込まれ、学校現場で活動できる有資格者が不在となってしまうことから、専門性の継承と円滑な人事異動の調整を行うため、本事業により有資格者を養成するものである。

教員業務支援員配置事業（継続）

特別支援教育課
予算額 4,676千円

背景・課題

- 「学校における働き方改革に関する取組の徹底について（文部科学事務次官通知）平成31年3月文部科学省」において、教師が担う業務の明確化・適正化に向けた取組を実施するよう指示。
- 児童生徒から目を離せないため、在校時間には授業準備や教材研究、自己研修にかかる時間の確保が難しい。そのため、個に応じた教材研究や、担任間の話し合い等の時間を確保し、質の高い児童生徒の学びを保障するために、多岐にわたる教員の業務を補助する教員業務支援員を配置する。

＜北海道・東北の特別支援学校における令和7年度の教員業務支援員の配置状況＞

道県	配置人数等	配置学校数	介助業務の有無	備考
北海道	33名	33校	別に介助職員を配置	小中併置校・大規模校
青森県	23名	20校	別に介助職員を配置	肢体不自由校に2名
岩手県	3名	3校	配置なし	
山形県	12名	12校		小中併置校
宮城県	—	—	—	配置なし
福島県	24名	24校	別に介助職員を配置	
秋田県	2名	1校	介助業務を含む	肢体不自由校に2名

目的

学習プリントや教材・教具の作成等補助、ICT機器の準備等、登下校や休み時間の見守りや給食の配膳、清掃、車椅子移乗や移動の介助等、教員が担う業務を補助する人材を配置し、教員の身体的負担軽減や指導時間の確保を図り、指導の質の向上及び働き方改革に資する。

内容

1 教員業務支援員の配置 4,676千円

- (1) 配置人数 2名
- (2) 配置校 秋田きらり支援学校2名
- (3) 職名 会計年度任用職員（現業職給料表適用）
- (4) 任用要件 不問 公募による
- (5) 経費

報酬	3,002千円	期末手当	443千円	勤勉手当	373千円
職員共済費	264千円	社会保険料	447千円	旅費	147千円



2 財源

- (1) 国庫・・・(1/3) 「補習等のための指導員等派遣事業」
- (2) 一般財源・・・(2/3)

期待する効果

- 教職員の負担の軽減
- 教職員の指導時間の確保
- 超過勤務時間の減少

- 多忙感の解消
- 教材研究、授業準備の充実
- 指導の質の向上

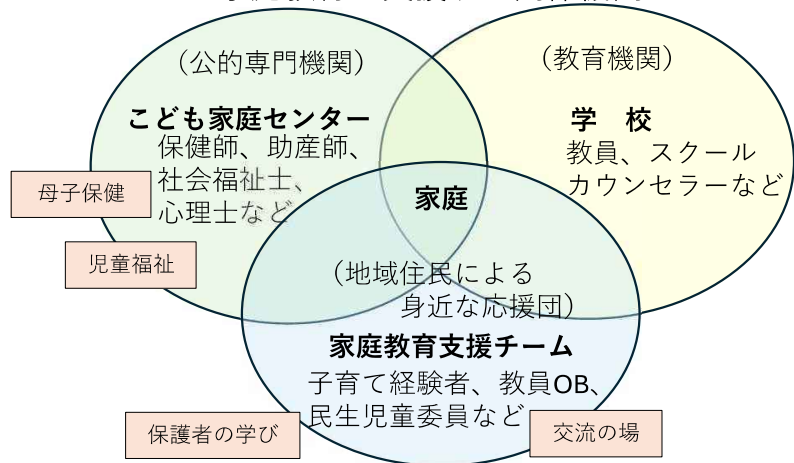
特別支援学校教員の専門性向上
及び
教員の働き方改革の推進

概要 保護者が安心して家庭教育を行うことができるように、指針となる「家庭教育支援ガイドブック」を刷新するとともに、家庭教育支援チームの意義・有用性の周知と活動の支援を図る。また、保護者の大きな悩みとなっている家庭におけるメディアとの付き合い方についてあきた県庁出前講座で啓発を図る。

現状 (○) と課題 (●)

- 三世同居世帯の減少や共働き世帯の増加といった伝統的な家族の支え合い機能の減衰が加わり、子育て世代の負担と孤立は深刻化している。
- 「家庭教育支援ガイドブック」作成から10年が経過している。
- 60.1%の保護者が「家庭での教育について悩みや不安がある」としている。
 - 勉強や進学、将来の進路等 53.3%
 - メディアとの付き合い方等 51.6%
 - 性格や考え方、人との接し方等 47.7%
- 福祉部局の実施策との違いが周知されていない。

＜家庭教育を支援する関係機関＞



	R8	R9	R10
1 パ ワ ー ア ッ プ 事 業	(1) 家庭教育支援ガイドブックの刷新 ①内容の見直しと使用データの更新 ②関連機関ホームページとのリンク		あきた家庭教育パワーアップフォーラムの開催 ・全県への情報発信
	(2) 市町村の取組支援 ※学校・家庭・地域連携総合推進事業費補助金の活用 ①家庭教育支援に関する研修会の実施 ・家庭教育に関する啓発及び支援に関わる人材養成を目的に年4回実施 ②家庭教育支援チームの活動支援 ・関係者交流会を各地区ごとに開催 ・既存チームの活動拡充の支援		
2 バ ッ ク ア ッ プ 事 業	(1) あきた県庁出前講座の実施 ①「家庭教育の充実」、「家庭におけるメディアとの上手な付き合い方」講座の開設 ②あきた県庁出前講座担当者研修会の実施 ・啓発ポイントの確認と講座内容の更新を目的に年2回開催		
	(2) メディア利用安心サポート「ネットパトロール」の実施 ①児童生徒のネット利用の状況把握 (外部委託) ②メディア利用安心サポート関係者会議の実施 ・傾向と対策の共有を目的に年2回開催		

ゴール

- ◎家庭教育支援ガイドブックを基にした啓発活動をとおして、県内保護者の家庭教育を支える。
- ◎家庭教育に関わる人材を養成することにより、県内どこでも気軽に子育て相談ができる体制を整える。
- ◎出前講座やメディア安心サポート等のバックアップ体制を充実させることにより、家庭教育について学び、交流する場を増やす。

現状・課題

- 県直轄施設として本県の教育目標を踏まえた運営及び優れた指導力を有する教職員の配置による高い利用者満足度
 - (R6 大館少年自然の家 100.0%)
 - (R6 保呂羽山少年自然の家 100.0%)
 - (R6 岩城少年自然の家 92.4%)
- これまでの実施事業による児童生徒向けプログラムの充実
 - (R元～3「心を育てる」セカンドスクール推進事業)
 - (R4～7ニューノーマルに対応した体験活動構築事業)
- コロナ禍で拍車のかかった子どもたちのリアルな体験活動の不足
- 平成26年2月議会で設置条例を改正し、県民の生涯学習の進行に資する施設となったが、進まない一般県民の認知と利用
 - (R6 大館少年自然の家利用者 15,042名 内一般利用 9.31%)
 - (R6 保呂羽山少年自然の家利用者 10,404名 内一般利用 4.08%)
 - (R6 岩城少年自然の家利用者 11,327名 内一般利用 12.01%)
- 職員の研修時間の確保、労働時間の短縮、多様な人材の活躍促進等、働き方改革を踏まえた労働環境の見直し

事業年度・対象施設

令和8～10年度・大館少年自然の家、保呂羽山少年自然の家、岩城少年自然の家

目的

利用者の意見を反映させた体験活動プログラムの開発や魅力発信、自然体験活動を提供する体制の充実を図ることで、子どもから大人まで多くの県民に自然の豊かさを五感で感じたり、それを享受する方法を身に付けたりする機会を提供し、本県における豊かな生き方・暮らし方の実現に寄与する。

成果指標

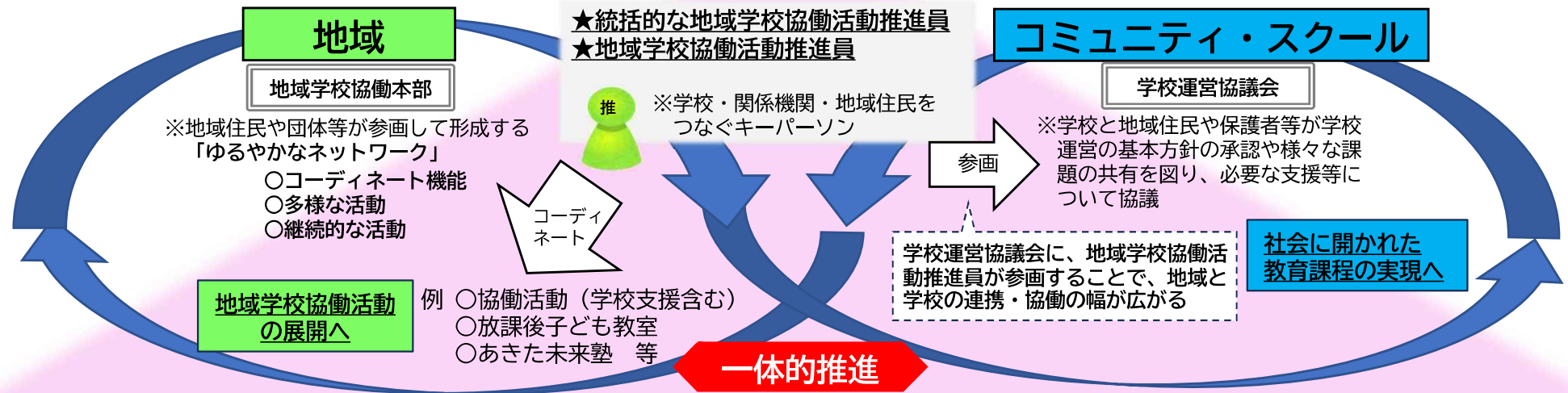
- (各所)・・・利用者満足度調査における肯定的評価の割合 ※90%以上
- (庁内)・・・3所の一般利用者数と全利用者の内の一般利用率

事業内容

- (1) **ブラッシュアップ！体験プログラム**
各所が企画した主催事業に参加してもらい、五感を刺激するリアルな体験活動に触れるとともに新たなプログラム開発のための多様な意見を募る。
- (2) **体験活動の魅力発信**
 - ①体験活動に関する情報発信の充実
 - ②自然体験活動やA A Pの充実
- (3) **運営体制強化**
 - ①スマイルサポーターの配置
安全・安心なプログラムの提供や職員の働き方改革を念頭に、体験活動の補助に加え、体験活動に係る環境整備及び備品管理等に従事する体験活動支援員を一所につき1名配置する。
 - ②体験活動支援ボランティア養成講座
初年度は養成講座プログラムの検討、2年目以降一所につき10名養成
 - ③自然の家等指導者研修の実施

目指す姿

- 地域と学校が目標を共有し合う体制の構築と充実により、持続可能な社会を維持・発展させていく「社会の創り手」となる人材の育成を実現する。
- 市町村の取組推進や、県立学校における地域学校協働活動に関する支援方を充実させ、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進による、地域と学校の連携・協働体制の全県的な定着を図る。



柱1：県全体の推進体制

- 「地域と学校の連携・協働体制」推進協議会
- 地域学校協働活動推進員・地域連携担当教職員等研修会
- あきた県庁出前講座による地域と学校の連携・協働体制への理解促進・周知啓発等

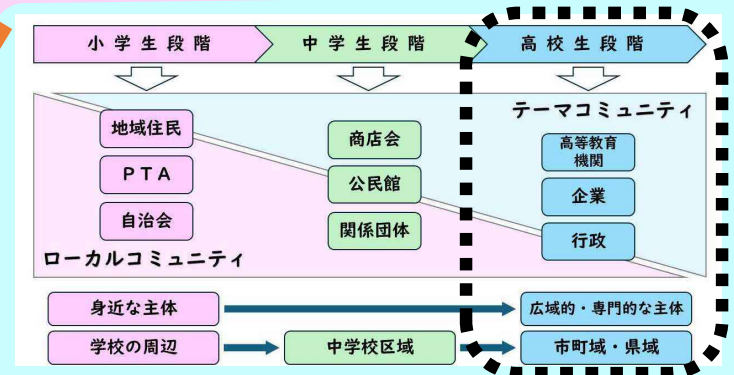
柱2：市町村の取組推進

- 文部科学省「学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金」の活用
- オーダーメイド型社会教育主事派遣等

柱3：県立学校への支援

- 県立学校における「**地学協働タスクフォース**」の展開
→生涯学習課・生涯学習センターの県立学校籍を中心とした社会教育主事、対象校の社会教育主事有資格者等からなるタスクフォースを組織し、学校運営協議会に寄り添う支援・活性化
- **県としての地域学校協働活動推進員の委嘱**体制の整備
→人材の発掘や情報の蓄積を行い、高度・専門的・広域的なコーディネートが可能な人材を推進員として委嘱
- **県立CS実践交流会**の開催
→生徒・地域学校協働活動推進員・教職員などの代表が集まって県立学校におけるCSの活動・取組を共有する機会を提供（熟議等も実施）

Point!



★発達段階が進むにつれて、地理的に近い人々による「ローカルコミュニティ」から、地域課題の解決や興味関心等、共通のテーマによる「テーマコミュニティ」へ連携・協働体制が広がっていく。コーディネートもより高度・専門的・広域的に！

【背景・現状】

- 子どもを取り巻く地域力の衰退（少子高齢化・つながりの希薄化）
- 教職員の働き方改革、学校が抱える課題の複雑化・困難化
→学校と地域が、個別に対応していくのは困難
住民等と教職員の連携・協働で地域全体で子どもたちの成長を担う必要性

【本県における課題】

- ① 県立学校における地域学校協働活動をコーディネートできる人材の養成や発掘
- ② 県立学校における、学校と地域をつなぐコーディネーターの活用
- ③ 県立学校へのコミュニティ・スクールの導入

地域の学びを支えるプラットフォーム構築事業

生涯学習課

1 概要

市町村が主体的に課題・ニーズを取り上げて学びの場を創出するため、県がその支援体制や仕組みをつくとともに、社会教育に関わる人材の育成を図る。

2 現状

- ①公民館や公民館職員が減少傾向にあり、市町村の社会教育行政を担う体制が脆弱化している。
- ②地域の課題・ニーズが増大し、市町村が地域住民のために行う学習活動は広範多岐に渡っている。
- ③生涯学習・社会教育担当課以外で公開講座、社会貢献活動、教育事業等が広く行われ、重複する事業の実施により、学びにつながりや統一性がない。また、社会教育学級・講座の一学級・講座当たりの参加者数に減少傾向が見られる。

3 課題

- ①社会教育に関わる人材の育成とつながりづくり
- ②市町村の課題・ニーズへの対応支援
- ③市町村間の情報集約・共有等、協力体制の整備



令和7年度 第1回地域連携
コンソーシアムの協議の様子

令和7年度秋田県生涯学習・文化財保護施策の概要	R元 (人)	R5 (人)
公民館職員数	279	231
社会教育学級・講座数	3,928	4,575
社会教育学級・講座受講者数	361,958	151,360

4 事業内容

市町村伴走型支援 (長期型：各5回 短期型：各2回)	地域連携 コンソーシアム	eポート フォリオ	社会教育人材フォーラム (オンライン)
市町村の課題・ニーズに応じた学びの場創出のため、次の2パターンで支援する。 【長期型】解決策の検討、企画立案 事業実施・振り返り支援 【短期型】事業実施に向けた準備及び運営支援 実施機関：生涯学習課・生涯学習センター 各教育事務所・出張所	市町村の課題・ニーズに応じた学びの場創出のため、 市町村と企業、学校、NPO法人等をつなぎ 、ワークショップ型の協議を実施し、連携・協働する。 実施機関：生涯学習課 各教育事務所・出張所	市町村の課題・ニーズに応じた学びの場創出の取組を共有するため、市町村の実践報告を集約し、ホームページで 事業実施のノウハウ等を公開 する。	生涯学習・社会教育に取り組む人の交流を活性化するため、 実践発表の機会を設定 する。 対象 社会教育主事、社会教育士 生涯学習・社会教育に興味・関心のある方

5 期待される効果

- ①社会教育に関わる人材の資質・能力の向上、他市町村や関係機関との連携による**地域の教育力の強化**
- ②**分野横断的な学びの仕組みを創出**(社会教育×福祉・学校・企業・防災・環境・まちづくり等)
- ③市町村間のノウハウ・事例の共有による**学びの場創出の支援体制の構築**
(例：障害者の生涯学習、教育留学、若者の居場所づくり、世代間交流等)

6 目指す姿と指標

<目指す姿> 地域の課題・ニーズに主体的に関わり、積極的に解決に向けて行動する
 <指標> 多様な主体との連携・協働による学びの場創出に取り組んでいる自治体数

令和8年度 “ふれあい・つたえあい”で育む子どもの読書推進事業

概要 生涯にわたって読書に親しむ子どもを育むため、子どもの発達段階に応じた読書活動を支援するとともに、子どもと関わる大人に向けた読書の楽しさの理解啓発に取り組む。

- 課題**
- ・「読書が好き」な児童生徒の割合は、全国平均と比較すると小中学生は高いが、全ての年代で減少傾向にある。
 - ・子どもの読書習慣の形成に当たっては、幼少期からの取組や、子どもに読書の楽しさを伝える大人を増やすことが必要である。
- 方策**
- ・子どもの発達段階に応じた読書活動の支援
 - ・子どもと関わる大人に向けた読書の楽しさについて理解啓発
 - ・読書を通じた多世代交流の機会の充実

	未就学児	小学生	中学生	高校生
読書が好きな子ども	<p>絵本専門士[※]と親子のふれあい絵本タイム</p> <p>→絵本専門士が、親子向けに読み聞かせを行うとともに、子どもと絵本の関わりについての相談に応じる</p> <p>※絵本に関する高度な知識、技能及び感性を備えた絵本の専門家</p>	<p>みんなでビブリオスピーチワークショップ</p> <p>→おすすめしたい本について、スピーチ内容を考え、グループごとに紹介し合う</p> <p>ポップバトル in AKITA</p> <p>→本の紹介ポップを募集し、「ビブリオバトル in AKITA」の会場で展示・投票を行う</p>	<p>ビブリオバトル in AKITA（地区大会・県大会）</p> <p>→「人を通して本を知る。本を通して人を知る」（ビブリオバトル公式サイトのカッチコピー）のもと、本の紹介コミュニケーションゲームを実施</p> <p>→ビブリオバトルリーフレットの配布</p> <p>→YouTubeでの県大会の録画配信</p>	
読書に興味がない子ども	<p>あきた県庁出前講座「読み聞かせを楽しもう」</p> <p>→子どもと関わる大人（保護者、保育士、教諭、ボランティア等）を対象に、読み聞かせを通じた触れ合いの大切さや読み聞かせの方法についての講座を実施</p> <p>【関係機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あふれちゃんのえほんばこ」（次世代・女性活躍支援課作成）に掲載している絵本の紹介 	<p>学校における読書活動活性化支援</p> <p>→学校図書館担当教職員を対象に、学校図書館を訪問し、授業での活用等について指導・助言するとともに、読書活動推進についての研修を実施</p>	<p>【関係機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校・特別支援学校向けの県立図書館セット資料（ビブリオバトル紹介本セット）の活用 ・県立図書館や地区大会会場（市町村立図書館等）、大人向けの読書イベント（文化振興課）での過去の紹介本の展示 	

期待される効果

- ・子どもの読書への関心や意欲が高まるとともに、読書の幅が広がる
- ・子どもに読書の楽しさを伝える大人が増える
- ・学校図書館の環境が整備され、子どもの利用や授業等での活用が増える

目指す県民の姿

- ・読書を通して交流を深める
- ・読書を通して人生を豊かに生きる
- ・生涯にわたって読書に親しむ

令和8年度 “ふれあい・つたえあい”で育む子どもの読書推進事業

概要 生涯にわたって読書に親しむ子どもを育むため、子どもの発達段階に応じた読書活動を支援するとともに、子どもと関わる大人に向けた読書の楽しさの理解啓発に取り組む。

- 課題**
- ・「読書が好き」な児童生徒の割合は、全国平均と比較すると小中学生は高いが、全ての年代で減少傾向にある。
 - ・子どもの読書習慣の形成に当たっては、幼少期からの取組や、子どもに読書の楽しさを伝える大人を増やすことが必要である。
- 方策**
- ・子どもの発達段階に応じた読書活動の支援
 - ・子どもと関わる大人に向けた読書の楽しさについて理解啓発
 - ・読書を通じた多世代交流の機会の充実

	未就学児	小学生	中学生	高校生
読書が好きな子ども	<p>絵本専門士[※]と親子のふれあい絵本タイム</p> <p>→絵本専門士が、親子向けに読み聞かせを行うとともに、子どもと絵本の関わりについての相談に応じる</p> <p>※絵本に関する高度な知識、技能及び感性を備えた絵本の専門家</p>	<p>みんなでビブリオスピーチワークショップ</p> <p>→おすすめしたい本について、スピーチ内容を考え、グループごとに紹介し合う</p> <p>ポップバトル in AKITA</p> <p>→本の紹介ポップを募集し、「ビブリオバトル in AKITA」の会場で展示・投票を行う</p>	<p>ビブリオバトル in AKITA（地区大会・県大会）</p> <p>→「人を通して本を知る。本を通して人を知る」（ビブリオバトル公式サイトのカッチコピー）のもと、本の紹介コミュニケーションゲームを実施</p> <p>→ビブリオバトルリーフレットの配布</p> <p>→YouTubeでの県大会の録画配信</p>	
読書に興味がない子ども	<p>あきた県庁出前講座「読み聞かせを楽しもう」</p> <p>→子どもと関わる大人（保護者、保育士、教諭、ボランティア等）を対象に、読み聞かせを通じた触れ合いの大切さや読み聞かせの方法についての講座を実施</p> <p>【関係機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あふれちゃんのえほんばこ」（次世代・女性活躍支援課作成）に掲載している絵本の紹介 	<p>学校における読書活動活性化支援</p> <p>→学校図書館担当教職員を対象に、学校図書館を訪問し、授業での活用等について指導・助言するとともに、読書活動推進についての研修を実施</p>	<p>【関係機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校・特別支援学校向けの県立図書館セット資料（ビブリオバトル紹介本セット）の活用 ・県立図書館や地区大会会場（市町村立図書館等）、大人向けの読書イベント（文化振興課）での過去の紹介本の展示 	

期待される効果

- ・子どもの読書への関心や意欲が高まるとともに、読書の幅が広がる
- ・子どもに読書の楽しさを伝える大人が増える
- ・学校図書館の環境が整備され、子どもの利用や授業等での活用が増える

目指す県民の姿

- ・読書を通して交流を深める
- ・読書を通して人生を豊かに生きる
- ・生涯にわたって読書に親しむ

R8 あきたMuseum機能強化事業 事業概要

目的

全ての人に開かれ、文化の継承や賑わいの中心となるミュージアムを実現するため、県民ニーズに応える特別展の開催、地域の教育機関や団体との連携・協働の推進、デジタル技術の活用、効果的な情報発信等に取り組み、博物館施設としての機能強化を図る。

年度 令和6～10年度

成果指標

(1) 4館の年間利用者数(千人)

R6(実績)	R7	R8	R9	R10
462	270	275	280	285

(秋田県総合計画による)

(2) 4館の特別展満足度

運営協議会委員による外部評価/一般来場者アンケートの平均

R6(実績)	R7	R8	R9	R10
95.6%	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上

(第4期あきたの教育振興に関する基本計画による)

(1) Museum特別展充実事業

県立4博物館施設で特別展を開催し、本県の優れた文化芸術の発信や、県内外からの集客による賑わい創出に資する。

○ 県立美術館

「近代西洋絵画の巨匠たち」
「超写実 ホキ美術館名品展」
「ごんぎつね40周年記念展」



○ 近代美術館

「親愛なる友フィンセント 動くゴッホ展」
「隙あらば猫 町田尚子絵本原画展」
「原安三郎コレクション 北斎×広重」
「生誕160年 寺崎廣業展」



○ 県立博物館

「わけあって絶滅しました。展」

○ 農業科学館

「バラフェスタ&グリクラパーク2026」

(2) Museumネットワーク形成事業

博物館施設を中核とした多様なネットワークを構築し、ミュージアム利用者層の拡大を通じた地域の課題解決への貢献や、博物館機能の底上げを図る。

○ 「みんなのMuseum」プロジェクト

地域の教育機関や各種団体、企業等との連携を強化し、誰もがミュージアムで学び、楽しむ機会の創出を目指す「あきた型鑑賞プログラム」を実施する。

- ★近代美術館「出張アート鑑賞と対話型アート鑑賞プログラム」
- ★県立博物館「昔の道具で思い出を語るワークショップ」
- ★農業科学館「支援を必要とする方のワークショップ」
「触れて楽しむ読書イベント」

○ 博物館ネットワーク促進事業

博物館同士のネットワーク形成を促進するとともに、博物法改正に伴う博物館登録を計画的に実施する。

(3) MuseumDX推進事業

デジタル技術の導入により、新たな鑑賞機会の拡大や、博物館資料の効果的な活用を図る。

○ メタバース×Museumあきた拡充事業

仮想近代美術館「メタバース×キンピ」の利用を促進する。



(4) Museum情報発信強化事業

藤田嗣治や秋田蘭画といった本県の歴史的・文化的遺産を「世界に通用する価値」として県民の再認識を促し、ふるさとの文化芸術に対する愛着心を育むと同時に、外国人を含む県外からのインバウンド誘客を図る。

○ 藤田嗣治を軸に、県立美術館とランス美術館(フランス)との連携を目指した交渉や現地での解説を実施する。

○ インバウンド対応のため、県立美術館の多言語版リーフレットを作成する。



文化財の保存と積極的な活用の推進

生涯学習課文化財保護室

基本的な方針

計画的な修理や管理などにより文化財を保存する取組を継続し、価値や魅力を実感できるような情報発信を進める。

また、学校教育や専門人材との連携に加え、文化財の活用に向けた環境の整備など魅力向上の手立てを検討する。

さらに、観光やまちづくりの関係者と連携し、文化財を活用することで、関係人口の創出や拡大を目指す。

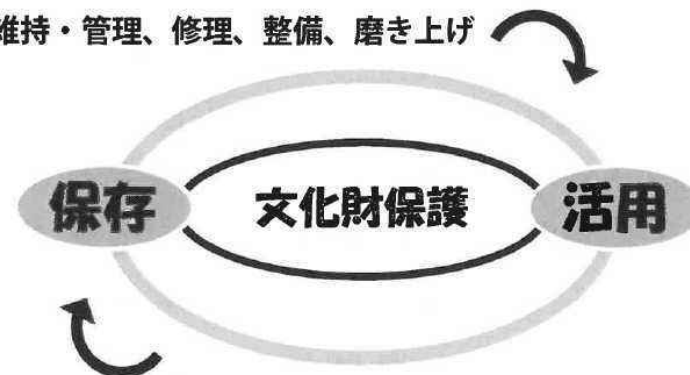
目指す将来像

地域社会全体のほか、幅広い関係人口が創出され、保存と活用が相乗効果を生み出しながら、文化財を継承している。

取組の方向性

- 指定文化財の修理・整備への支援
- 幅広い文化財の調査や指定の推進
- 多彩な伝統行事継承への支援
- 観光や地域づくり部局等との連携

維持・管理、修理、整備、磨き上げ



魅力発信、秋田ファンの拡大、地域経済への波及

令和8年度の主な事業

- ・戦争遺跡調査事業
- ・民俗文化財継承支援事業
(子ども民俗芸能交流大会)
- ・文化財保存調査事業
(秋田の仏像と寺社什物)
- ・重要文化財天徳寺防災施設整備事業

「未来につなぐJOMON」世界遺産魅力アップ事業

①世界遺産魅力アップ事業（秋田県単独事業）

- ・秋田の縄文遺産魅力発見イベントへの支援
- ・あきたの縄文遺産学習資料の作成・配布
- ・主要地方道十二所花輪大湯線移設等に係る遺産影響評価の実施
- ・秋田県縄文遺跡群保存活用連絡会議の開催

②世界文化遺産継承事業（4道県共通事業）

- ・縄文遺跡群世界遺産協議会の開催
- ・縄文遺跡群デジタル御朱印「ジョウモントラベラーズ」の実施
- ・世界遺産フォーラムの開催
- ・ホームページ、イベント情報冊子、パンフレット等による情報発信

※世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」

- ・令和3年7月27日、第44回世界遺産委員会拡大会合で登録決定。
- ・秋田県の2遺跡を含む、北海道、青森県、岩手県に分布する17の縄文遺跡で構成される。

生涯学習課文化財保護室

予算額 9,983千円

秋田県の構成資産



大湯環状列石



伊勢堂岱遺跡

秋田っ子元気アップ推進事業

保健体育課

予算額 618千円

■ 事業の目的

将来の秋田を担う子どもたちが、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現・継続するために、学習指導要領の趣旨の実現に向けた諸課題の解決を目指し、体育の授業づくり支援や教員の指導力の向上、調査研究等を行う。

■ 現状

- ◇「体育の授業が楽しい」児童生徒の割合
秋田県：64.8% 全国：57.8%
- ◇「運動やスポーツが好き」な児童生徒の割合（R元→R6）
65.9%→63.4% ▲2.5% ※R6全国59.1%
- ◇25m以上泳げる児童生徒（R元→R6）小6：56.6%→36.3%
中3：63.4%→47.6%
- ◇教員が体育授業で課題に感じていること
 - ・運動が苦手な児童生徒への対応 小：56.5% 中：47.0%
 - ・水泳の指導 小：25.0% 中：29.1%

■ 課題

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- ・コロナ禍の影響で運動習慣の二極化傾向に拍車がかかっている
- ・児童生徒の泳力の低下

■ 検証

- ・運動の楽しさや喜びを味わう授業が展開され、全国トップの運動への好意度の高さにつながった。
- ・運動が好きな児童生徒の割合は全国を上回っているものの、年々低下している傾向がある。
- ・児童生徒の泳力の低下に加え、水泳を指導する教員の4人に1人は指導に不安を感じている。

研修内容のさらなる充実を図りながら
事業を継続する必要がある。

■ 課題解決に向けた取組

- 01 体育に関する指導サポート事業 618千円
- (1) 体育・保健体育授業サポート事業
 - (2) 水泳指導スキルアップ事業
 - (3) 子どもの体力等調査研究事業

期待される効果と達成指標(5年間の取組)

- ・ 体育授業の充実・指導力の向上→運動好きな児童生徒の増加→運動に意欲的に取り組む児童生徒の増加
→児童生徒の健康の増進と体力の向上
- ・ 運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合 63.4% (R6) → 67.5% (R11)
- ・ 体育の授業が楽しいと感じている児童生徒の割合 64.8% (R6) → 66.0% (R11)
- ・ 中学校2年女子の1週間の総運動時間が60分未満の割合の減少 23.1% (R6) → 19.0% (R11)
- ・ 25m以上泳げる児童生徒の割合 42.0% (R6) → 60.0% (R11)

生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現・継続

秋田県教育委員会

秋田型部活動未来創出支援事業 R8~R10

保健体育課

予算額 72,157千円

【趣旨】

- ・将来にわたる生徒のスポーツ活動の機会の確保・充実等を図るための中学校運動部活動の「地域展開・地域連携」を進めるとともに、「中学校部活動指導員」の配置により持続可能で多様なスポーツ環境の整備を推進する。
- ・高校運動部における競技力の向上や指導体制の充実に向けた「高校運動部活動指導員」の配置や企業等との連携による良質な指導人材の育成・確保を進め、より魅力的なスポーツ環境を構築する。

【現状・課題】

- ・少子化に伴う運動部員数の減少により、従前の体制や学校単位での活動が困難な状況が進む中、豊かで幅広い活動を保障する必要がある。
- ・有望な中学生が充実した練習環境や指導体制を求め県外進学する数が増加する中、「秋田で競技を続けたい」という魅力ある指導・運営体制の構築やより良い環境の整備・充実を進める必要がある。

【事業内容】

01 中学校部活動地域展開推進事業

スポーツ庁「地方スポーツ振興費補助金(運動部活動の地域展開等推進事業)」活用

目的

将来にわたって生徒が継続的にスポーツ活動に親しむ機会を確保・充実させるため、地域の実情に応じたスポーツ活動の最適化に向けた伴走支援を実施する。

取組

- ・指導者登録システムの運用
 - ・指導者研修動画の製作と研修の実施 など
- 補助内容・地域クラブ活動の活動費等の支援
・支援体制の整備等 など

実施自治体…11市町村

鹿角市、大館市、北秋田市、能代市、秋田市、八郎潟町、大湯村、由利本荘市、大仙市、湯沢市、羽後町

02 中学校運動部活動指導員配置事業

スポーツ庁「地方スポーツ振興費補助金(運動部活動の地域展開等推進事業)」活用

目的

少子化により従来の体制維持が困難な中、外部人材の活用・連携による教員の働き方改革を推進するとともに、学校部活動の質的向上を支援するため、公立の中学校を対象に部活動指導員を配置する。

部活動
指導員

単独で部活動の指導・校外引率が可能な役職
(学校教育法施行規則第78条2項)

107名
(配置予定)

市町村立中 104名
(12市5町1村)
県立中 3名

03 高校運動部活動指導員配置事業

目的

部活動指導が教員の長時間労働に及ぼす大きな一因になっている中、教員の働き方改革を推進するとともに、学校部活動の質的向上を支援するため、外部人材の活用・連携により、県立高校を対象に部活動指導員を配置する。

配置予定
39名
(全日制38名
定時制1名)

期待
される
効果

- ・単独指導や大会引率等による教員の負担軽減等の働き方改革
- ・高い指導実績や専門性の発揮による競技力向上



魅力ある
部活動

04 部活動躍進プロジェクト事業

(1)運動部活動活力アップ推進事業

目的 選手の競技力向上や指導者の資質向上のため、アドバイザーや外部人材の活用により、企業チームとの連携や校種間連携等の支援を行う。

内容

「指導者コーチングスキルアップ事業」「運動部活動魅力アップ事業」 など

(2)高校野球強化・魅力アップ支援事業

目的 選手の競技力向上や指導者の資質向上のため、アドバイザーや外部人材を活用した講習会等の実施や強化招待試合等の強化事業の支援を行う。

内容

「アドバイザーの活用」「指導スキル向上講習会」「高校野球強化事業」 など

健やか秋田っ子育成支援事業

R5～R8

保健体育課

事業目的

令和8年度予算額 2,342千円 (国981千円・一般1,361千円)

多様化・複雑化している児童生徒の健康課題の解決に向けて、医療関係者等の協力の下、学校・家庭・地域が連携・協働して、学校における健康教育・食育を推進する。

健康教育に関する現状	望ましい生活習慣の確立	学年により、すっきり目が覚めた割合、朝食の摂取状況、肥満傾向児の出現率に課題が見られる。	主な関連目標値	01. 現代的健康課題への対応事業 2,049千円 国 981千円 一般 1,068千円 02. 秋田っ子食育推進事業 一般 293千円	(1)がん教育推進事業 ・がん教室、指導者研修会の実施 ・がん教育推進協議会の設置 ・がん教育アドバイザーの委嘱 ・がん教育動画の周知・活用 (2)性に関する指導事業 ・「性教育講座」の実施 ・産婦人科相談医の委嘱・活用 ・指導者研修会の実施 ・性に関する指導推進委員会 (3)県立中学校におけるフッ化物洗口事業 (4)薬物乱用防止教育推進事業 ・教室、指導者研修会の実施
	歯と口の健康づくりの推進	DMF 指数は年々減少傾向にあり、令和2年度中学校1年生は全国数値を初めて下回った。			
	心の健康づくりへの対応	心身に関わる課題の多様化により、個に応じた対応、校内外の連携が必要である。			
	性に関する指導の充実	性情報が氾濫する中、適切な意思決定や行動選択を行う力の育成が必要である。			
	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の推進	薬物乱用防止教室の開催状況は、全国平均と比較すると、小学校で下回っている。			
	がん教育の推進	発達の段階に応じて、がんの正しい知識やがん患者への理解を深める教育が必要である。			
食育に関する現状	食に関する指導の推進	「学校給食の管理に関する指導」と「食に関する指導」を一体として推進する必要がある。	○すっきり目が覚めた児童の割合 (小学校5・6年) R7年度実績 28.8% → R11年度目標 32.0% ○朝食の摂取率 (小学校5・6年生) R7年度実績 85.6% → R11年度目標 92.0% <児童生徒のライフスタイル調査 R7年度保健体育課調べ>		
	食物アレルギーへの対応	食物アレルギーを抱えた児童生徒が増加し、個に応じた対応が複雑化・多様化している。			
	食中毒・異物混入防止衛生管理の徹底	食中毒や異物混入の根絶へ向け、継続した取組が求められている。			
	学校給食における地場産物の活用	地場産物利用率 (主要野菜15品目) は、第4期秋田県食育推進計画の目標値に達していない。			

豊かな心と健やかな体の育成

第4期あきたの教育振興に関する基本計画 基本方針4
(3) 学校における体育的活動の充実と健康教育の推進

事業目的

予算額 1,836,310千円 (国917,488千円・一般918,822千円)

学校給食費の保護者負担軽減に取り組む学校設置者への費用の一部を負担するとともに、地場産物の活用率向上を図り、給食運営の効率的な執行体制の構築を目指す。

事業内容

(1) 公立小学校等給食費保護者負担軽減事業

【1,834,976千円】

(国 917,488千円 一般 917,488千円)

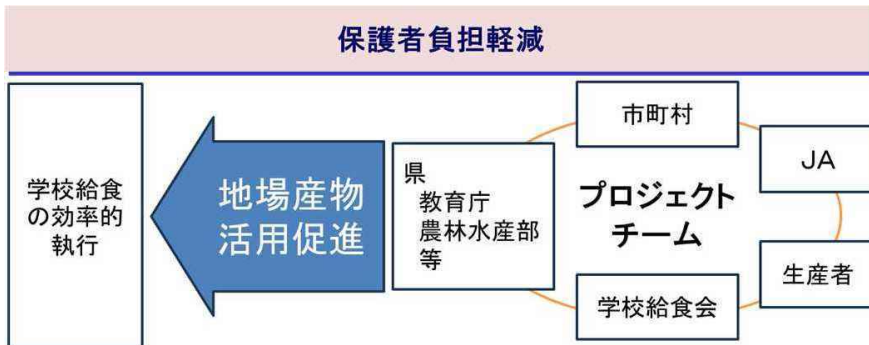
(2) 県内給食地場産物活用促進事業

【一般 1,334千円】

- ①対象：公立小学校等の学校設置者
※公立小学校等＝小学校、義務教育学校前期課程
- ②補助内容：公立小学校等の学校給食費について、保護者負担軽減を通じた子育て支援に取り組む学校設置者に費用の一部を補助
- ③補助単価：児童1人当たり月額5,200円
- ④補助額：月額5,200円×11月×児童数

- ①概要：地場産物活用促進プロジェクトチームの発足、推進協議会による検討
- ②構成：県(教育庁、農林水産部等)、市町村、JA、学校給食会、物流事業者、生産者等
- ③事業費：事務費、旅費、報償費等 1,334千円

事業イメージ



関連指標及び目標値

- 学校給食における地場産物活用状況（重量ベース）
 - ・主要食材41品目
R6年度実績 78.2% → R12年度目標 80.0%
 - ・野菜15品目
R6年度実績 22.0% → R12年度目標 35.0%
- 学校給食における地場産物に係る食に関する指導の回数
【参考】R2全国平均9.1回 → R12年度目標12回
<第5期食育推進計画>

令和8年度 学校安全推進事業

保健体育課

予算額
5,373千円

現状

- ◆児童生徒等を取り巻く多様な危険を的確に捉え、児童生徒等の発達の段階や学校及び地域の特性に応じた取組の推進が必要
- ◆全ての学校で、質の高い継続性のある学校安全の取組を推進できる指導力の確保が必要
- ◆学校と家庭、地域及び関係機関等との連携・協働による学校安全推進体制の構築が必要

事業内容

<p>01 学校安全関連事業【768千円】</p> <p>(1)学校安全推進委員会【県】【87千円】 ○学校安全3領域（交通安全・生活安全・災害安全）の有識者、関係機関等との連携・協働</p> <p>(2)学校安全指導者研修会【国・県】（文科省委託学校安全教室推進事業活用）【561千円】 ○安全管理及び学校安全3領域に関する教職員等の資質能力の向上</p> <p>(3)学校安全学校訪問【県】【66千円】 ○各学校における学校安全3領域の取組状況や学校安全計画等の確認 ○各種避難訓練や交通安全教室、教職員研修等への指導助言</p> <p>(4)学校安全外部指導者派遣事業【県】【54千円】 ○学校安全3領域に関する専門知識を有する講師の学校等への派遣</p>					
<p>02 交通安全関連事業【1,267千円】</p> <p>通学路安全推進事業 (文科省委託 学校安全総合支援事業活用)</p> <p>○通学路安全アドバイザーの派遣等による、通学路における交通安全対策の推進及び交通安全教育の充実</p>	<p>03 生活安全関連事業【903千円】</p> <p>(文科省補助 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業活用)</p> <p>○スクールガード・リーダーの巡回等の強化による、学校や通学路における子どもの安全確保と地域社会全体で子どもの安全を守る体制整備の推進</p>	<p>04 災害安全関連事業【2,435千円】</p> <p>地域連携安全・安心推進事業 (文科省委託 学校安全総合支援事業活用)</p> <p>○推進地域の指定による、学校・家庭・地域及び関係機関が連携・協働して行う学校安全に係る諸活動の支援</p>			

目指す姿

- 学校安全に係る教職員の資質向上と校内体制の構築
- 系統的・体系的で実践的な学校安全教育の実施
- 家庭、地域、関係機関等との連携・協働に係る体制の構築
- PDCAサイクルの確立を通じた事故等の防止

- 全ての児童生徒等が、安全に関する資質・能力を身に付けている
- 児童生徒等の事故発生件数が改善する

令和8年度 学校防災力向上支援事業

予算額
606千円

保健体育課
総務課

現状・課題

- 近年、大規模災害が頻発化・激甚化しており、本県でも河川等の氾濫による浸水被害が相次いで発生
- 発災時における児童生徒の安全確保のため、**学校現場における防災力の向上が必須**である。
- 学校が安全な避難場所としての機能を維持し、災害発生後も子どもたちの学びを守り続けることが喫緊の課題**であるが、現状、災害時の対応については、各学校に任されている。

国等の状況

- 文部科学省では、今後の大規模災害に備え、被災地での速やかな学びの確保を図るため、「**被災地外からの教職員等の派遣枠組み(D-EST)**」を構築してその実質化を図ることとしており、令和7年7月に修正された**国の防災基本計画にもその内容が盛り込まれた**。
- 一部の自治体で、既に**学校支援チーム**を立ち上げ、体制の整備を図っている【兵庫・熊本・三重・宮城・岡山】
- 東北各県でも、令和8年度からの学校支援チームの立ち上げを準備中



【D-EST※とは】

・大規模災害発生時には、教職員も被災者となる中、多くの学校で避難所が開設され、学校再開に必要な人員が不足することから、被災地での速やかな**学びの確保**を図るため、被災地外からの教職員等を派遣する枠組み

【学校支援チームとは】

・学びの確保のための訓練を受け、被災した学校の支援のため派遣される教職員等のチーム

めざす姿

- 継続して学校防災リーダーを育成し、災害発生時に相互に支援する体制を構築する**
- 学校防災リーダーの育成**：基礎的な防災知識を備え、被災時の学校の運営や学びの確保について研修をうけた**学校防災リーダーを育成し、学校現場における防災力の向上を図る**
- D-ESTの体制整備**：学校防災リーダーを育成することにより、県内外において大規模災害が発生した際に、**学校支援チームとして派遣できる体制を整える。**

※D-EST : Disaster Education Support Team

事業内容

- (1)学校防災リーダー育成研修の実施
 - ・災害時における対応等について研修を実施
- (2)先進地視察
 - ・他県の研修等を視察し本県の事業に活かす
- (3)研修受講者のリスト作成
 - ・研修受講者のリストを作成し管理する
- (4)被災した学校の教育復興の支援
 - ・被災した学校の人員やノウハウ不足を解消する支援体制を構築する

対象等

管理職以外の教職員等

- ・各教科担当教諭 ・養護教諭 ・栄養教諭
- ・県及び市町村教育委員会指導主事 等

目標

各研修受講者 30名

育成研修 (R8～：年3回)	自主的に参加を希望する職員
フォローアップ研修 (R9～：年1回)	R8年度に育成研修を受講した教職員等
スキルアップ研修 (R10～：年1回)	育成研修とフォローアップ研修を受講した経験のある教職員等

年次計画

継続して学校防災リーダーを育成し、あわせて災害発生時に相互に支援する体制を構築する

- R8**
学校防災リーダーの育成
→各学校の防災体制の強化
- 育成研修の実施
 - 研修受講者リストの作成

- R9**
地域の学校の相互支援による
地域全体の防災体制の強化
- 育成研修、フォローアップ研修の実施
 - D-ESTの体制整備、地域との連携強化

- R10～**
広域的な相互支援による
防災体制の強化
- 育成研修等の継続的な実施
 - 災害発生時のノウハウを蓄積

学校防災力
の向上

【各課室の事業概要】

総務課

基本方針5：子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の構築

(1) 学習の質を高めるための教育環境の整備

事業名	事業概要	予算額：千円
1 教職員資質能力向上事業	秋田県教職員研修体系に基づき、教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の向上を目指す総合的・体系的な研修を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員能力開発研修 ・人事評価者研修 ・教員研修履歴管理システムの導入 ・「新たな教職員の学び」共同開発推進事業 	8,137
2 私立学校運営費等補助	私立学校教育の振興を図るため、私立高等学校の人件費を含む経常的経費等に対して助成します。 <ul style="list-style-type: none"> ・私立学校運営費補助金 ・過疎地域私立高等学校特別補助 ・あきた私学魅力アップ支援事業費補助 ・日本私立学校振興・共済事業団補助 ・私立学校教職員退職金積立補助 ・私学教育振興事務費 	894,195
3 私立学校就学支援事業	保護者の経済的負担の軽減を図るため、就学支援金を支給するとともに、授業料及び入学料の軽減補助や低所得世帯の生徒に対して奨学のための給付金を支給します。 <ul style="list-style-type: none"> ・私立高等学校就学支援金 ・私立学校授業料軽減補助 ・私立学校入学料軽減補助 ・奨学のための給付金 	1,112,804

(2) 教職員の指導体制の充実と学校における働き方改革の推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 障害者雇用対策事業	障害に関係なく誰もが職業を通じた社会参加のできる共生社会実現の理念の下、教育委員会の障害者雇用を促進し法定雇用率を達成するため、事務補助等に従事する会計年度任用職員として、障害者を雇用します。	170,939

施設整備室

基本方針5：子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の構築

(1) 学習の質を高めるための教育環境の整備 (市町村立学校)

事業名	事業概要	予算額：千円
	今年度予定されている小・中学校の施設整備計画	
1 小中等校舎新增築事業	・ 潟上市立追分小学校 校舎	公立学校施設整備費負担金：国負担割合1/2
2 統合事業 (改修)	・ 三種町立山本小学校 校舎、屋体 ・ 三種町立八竜小学校 校舎	学校施設環境改善交付金：国負担割合5.5/10
3 危険建物改築事業	・ 北秋田市立鷹巣中学校 屋体	〃
4 不適格建物改築事業	・ 潟上市立追分小学校 校舎	学校施設環境改善交付金：国負担割合1/3
5 長寿命化改良事業 (予防改修)	・ 能代市立能代第二中学校 屋体	〃
6 大規模改造事業 (LED照明設備等)	・ 能代市立能代第二中学校 屋体 ・ 美郷町立美郷中学校 校舎、屋体 (7年度からの繰越) ・ 鹿角市立十和田小学校 校舎、屋体 ・ 鹿角市立八幡平中学校 校舎、屋体 ・ 羽後町立羽後明成小学校 屋体	〃
7 大規模改造事業 (トイレ洋式化)	・ 男鹿市立男鹿南中学校 校舎 (7年度からの繰越) ・ 鹿角市立八幡平小学校 校舎、屋体 ・ 羽後町立羽後明成小学校 屋体	〃
8 大規模改造事業 (受変電設備)	(7年度からの繰越) ・ 大仙市立西仙北小学校 校舎 ・ 大仙市立南外小学校 校舎	〃
9 大規模改造事業 (空調設備)	・ 能代市立能代第二中学校 屋体 ・ 三種町立琴丘小学校 校舎 ・ 井川町立井川義務教育学校 校舎 (7年度からの繰越) ・ 由利本荘市立本荘南中学校 校舎 ・ 大仙市立大曲中学校 校舎 ・ 大仙市立学校給食総合センター 共同調理場	〃

事業名	事業概要	予算額：千円
10 大規模改造事業 (バリアフリー)	・能代市立能代第二中学校 校舎、屋体	学校施設環境改善 交付金：国負担割合1/3
11 屋外教育環境施設 整備事業	(7年度からの繰越) ・男鹿市立船越小学校 グラウンド	〃
12 防災機能強化事業 (外壁・給水管等改修)	・大館市立比内中学校 (7年度からの繰越) ・秋田市立四ツ小屋小学校 校舎 ・秋田市立秋田西中学校 校舎 ・秋田市立桜中学校 校舎 ・秋田市立下浜小学校 校舎 ・秋田市立八橋小学校 校舎 ・秋田市立泉小学校 校舎 ・秋田市立秋田東中学校 屋体	〃
13 学校水泳プール (屋外)新改築事業	・三種町立山本小学校	〃
14 屋内運動場の空調設 備整備事業	・井川町立井川義務教育学校 屋体	学校施設環境改善 交付金：国負担割合1/2

基本方針5：子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の構築

(1) 学習の質を高めるための教育環境の整備 (県立学校)

事業名	事業概要	予算額：千円
1 横手高等学校整備事業	老朽化した横手高校校舎等を改築し、教育環境の充実を図るとともに、生徒の安全安心な学校生活を確保します。 ・継続費 令和2年度～10年度 ・令和8年度事業 体育館棟及び弓道場の改築	179,578
2 大曲高等学校整備事業	老朽化した大曲高校校舎等を改築し、教育環境の充実を図るとともに、生徒の安全安心な学校生活を確保します。 ・継続費 令和3年度～10年度 ・令和8年度事業 第1体育館・武道場棟の改築、旧第1体育館解体、第2体育館・トレーニングルーム改修	462,177
3 金足農業高等学校整備事業	老朽化した金足農業高校校舎等を改築し、教育環境の充実を図るとともに、生徒の安全安心な学校生活を確保します。 ・令和8年度事業 管理・教室棟の改築 (債務負担行為) ・設定期間 令和7年度～9年度 ・事業内容 管理・教室棟の改築 ・限度額 3,648,460千円 (債務負担行為) ・設定期間 令和8年度～9年度 ・事業内容 仮設渡り廊下、構内配電設備 ・限度額 193,248千円	1,832,667

事業名	事業概要	予算額：千円
4 湯沢高等学校整備事業	<p>老朽化した湯沢高校校舎等を改築し、教育環境の充実を図るとともに、生徒の安全安心な学校生活を確保します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度事業 教室・管理棟の改築 〈債務負担行為〉 ・設定期間 令和7年度～8年度 ・事業内容 教室・管理棟の改築 ・限度額 2,726,154千円 <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度事業 機能移転・外構 ほか 〈債務負担行為〉 ・設定期間 令和8年度～9年度 ・事業内容 格技場機能移転・外構・既存普通教室棟機能廃止 ・限度額 211,418千円 	1,365,381
5 栗田支援学校整備事業	<p>老朽化が進み、多様化する障害に施設・設備が十分に対応できていない栗田支援学校の校舎等を長寿命化改修し、教育環境の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度事業 小学部棟の増築・改修 〈債務負担行為〉 ・設定期間 令和9年度 ・事業内容 小学部棟の増築・改修 ・限度額 2,159,304千円 <ul style="list-style-type: none"> ・設定期間 令和8年度～10年度 ・事業内容 小学部棟工事に係る仮設校舎賃貸借 ・限度額 506,000千円 	297,167
6 県立学校施設等総合管理計画推進事業	<p>「あきた公共施設等総合管理計画」を指針とした個別施設計画に基づき、学校施設等の維持管理を総合的に行い施設の長寿命化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度事業 大館国際情報学院の空調設備改修 他 〈債務負担行為〉 ・設定期間 令和8年度 ・事業内容 大館国際情報学院の空調設備改修 ・限度額 128,165千円 	209,724
7 県立学校施設等安全対策事業	<p>県立学校敷地内のクマ誘引樹木伐採を実施し、児童・生徒及び職員等の安全確保を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間 令和8年度 ・事業内容 クマ誘引樹木の伐採 ・対象校 高等学校 (14校) 特別支援学校 (4校) 	16,553

教職員給与課

基本方針5：子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の構築

(2) 教職員の指導体制の充実と学校における働き方改革の推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 給与事務の適正管理	<p>教職員の勤務条件等の必要な整備を行い、給与事務の適正な管理に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給与関係例規の整備事務 ・集中処理に係る出納審査事務 ・給与、旅費の事務指導 ・公務災害補償事務 	2,776
2 人事・給与・旅費事務のIT化推進	<p>教育委員会で構築したITシステムの安定的な稼働及び必要なプログラム改修を進め、円滑なシステム運用を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事情報管理システムの運用 ・給与支払・小中学校旅費支払システムの運用 ・小中学校用端末の配付と保守 	62,706
3 給与費・旅費等の正確な事務執行	<p>教職員の給与・旅費等の支払いに係り、チェック体制を機能させ正確な事務執行に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村立小中学校の県費負担教職員の給与 ・市町村立小中学校の県費負担教職員の旅費及び報酬 ・義務教育費国庫負担金事務 ・教育庁及び県立学校職員の給与 ・教職員の退職手当 ・所得税、住民税の源泉徴収 	83,619,510

義務教育課

基本方針1：社会の持続的な発展を牽引する力の育成

(1) 家庭・地域・企業等と連携したキャリア教育の推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 Aーキャリア・プロジェクト	家庭や地域、企業等との連携及び校種間連携による「地域に根ざしたキャリア教育」を推進します。 (1) 「キャリア教育実践研究協議会」の開催 (2) 広域職場体験システム（Aーキャリア）の活用の促進	872

基本方針2：確かな学力の育成

(1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 学力向上推進事業	各小・中学校等における学力向上の取組を学習状況調査等で検証するとともに、その結果に基づき、より質の高い学習活動が行われるよう、教員の指導力や児童生徒の個性と能力を伸ばさせる事業を展開します。 (1) 学習状況調査事業 基礎学力の定着と向上を図るため、学習状況調査を実施し、課題の分析から指導方法の改善につながるサイクルを構築します。 ・小4 3教科(国、算、理)及び質問紙 ・小5 4教科(国、社、算、理)及び質問紙 ・中1・2 5教科(国、社、数、理、英)及び質問紙 <small>※質問紙は、学習の意欲等に関する内容</small> (2) あきたの教育力充実事業 各小・中学校の授業改善に係る取組や児童生徒の学習意欲の向上を図る取組を支援します。 ・学校訪問指導の実施による授業改善の推進 ・学力向上支援Web・学習ポータルサイトによる単元評価問題やオンライン学習に活用できる教材等を配信 ・理数才能育成プロジェクトとして、科学の甲子園ジュニア秋田県大会及び全国大会事前研修会の開催 ・学習状況調査及びICT事業等に係る施策へ助言を行う検証改善委員会の開催 ・授業改善の取組等の推進と普及を図るオンライン・ミーティングの実施 ・デジタル学習基盤の最新知見の習得とコーチングスキルの開発を目的とする情報活用能力に関する指導力向上研修の実施 (3) ICTを活用した授業力向上事業 モデル校による実践的調査研究を行い、ICTの効果的な活用による指導方法等の開発や教員の指導力向上に向けた校内研修等の充実を図るとともに、その成果を発信し普及を図ることで、より質の高い「秋田の探究型授業」の継承・発展を目指します。	5,410

(2) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

事業名	事業概要	予算額：千円
1 少人数学習推進事業(小・中等)	生活集団や学習集団の少人数化を図り、個に応じたきめ細かな指導を行うため、学校に非常勤講師等を配置します。 (1) 小学校1～6年生、中学校1～3年生 30人程度学級の編制、学習集団の少人数化 ・再任用短時間勤務者 30人、非常勤講師 74人 (2) 小学校3年生～中学校3年生 ・小学校(算)、中学校(数、理、英)で20人程度の少人数授業が可能な人的配置	266,490

基本方針3：誰一人取り残すことなく全ての子どもたちの可能性を引き出す教育の推進

(2) 不登校児童生徒への支援の推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 生徒指導総合支援事業	<p>児童生徒を取り巻く環境が複雑化・多様化している中、教育相談体制及び学びの保障に向けた支援を充実させることで、いじめや暴力行為等の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題の未然防止や早期発見、早期支援を図ります。</p> <p>(1) スクールカウンセラーの配置 ・市町村立中学校等 (97校)</p> <p>(2) 広域カウンセラーの配置 ・3教育事務所、義務教育課 ※小学校等の教育相談、課題未然防止教育及び緊急支援対応</p> <p>(3) スクールソーシャルワーカーの配置 ・8か所(3教育事務所、3教育事務所出張所、総合教育センター、秋田明德館高等学校) ※各所に、有資格者1名及び教職経験者1名を配置</p> <p>(4) フリーダイヤル「すこやか電話」の設置 ・4か所(3教育事務所、総合教育センター)</p> <p>(5) 校内教育支援センター支援員の配置 ・12市町に31名を配置</p>	118,732

基本方針4：豊かな心と健やかな体の育成

(1) 自他を尊重する心を育む教育の推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 生徒指導総合支援事業【再掲】	<p>児童生徒を取り巻く環境が複雑化・多様化している中、教育相談体制及び学びの保障に向けた支援を充実させることで、いじめや暴力行為等の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題の未然防止や早期発見、早期支援を図ります。</p> <p>(1) スクールカウンセラーの配置 ・市町村立中学校等 (97校)</p> <p>(2) 広域カウンセラーの配置 ・3教育事務所、義務教育課 ※小学校等の教育相談、課題未然防止教育及び緊急支援対応</p> <p>(3) スクールソーシャルワーカーの配置 ・8か所(3教育事務所、3教育事務所出張所、総合教育センター、秋田明德館高等学校) ※各所に、有資格者1名及び教職経験者1名を配置</p> <p>(4) フリーダイヤル「すこやか電話」の設置 ・4か所(3教育事務所、総合教育センター)</p> <p>(5) 校内教育支援センター支援員の配置 ・12市町に31名を配置</p>	118,732

基本方針5：子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の構築**(1) 学習の質を高めるための教育環境の整備**

事業名	事業概要	予算額：千円
1 教育専門監の活用	教科指導に卓越した力を有する教諭を教育専門監として認定し、本務校及び近隣の兼任校でチームティーチングによる授業を実施したり、研修会等で専門的な立場から講師等を務めたりするなど、その資質能力を複数の学校に活用します。 ・教育専門監 21人	

(2) 教職員の指導体制の充実と学校における働き方改革の推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 学校支援スタッフ配置事業	教員の負担軽減を図り、教員が児童生徒への指導や教材研究等により注力できるよう、学校サポーターを配置します。 ・学校サポーター 非常勤職員 150人	167,140

基本方針6：誰もが生涯にわたり学び続けられる環境の構築**(2) 良質な文化芸術に親しむ機会の充実と文化遺産の保存・活用**

事業名	事業概要	予算額：千円
1 文化部活動地域展開・地域連携推進事業	地域における文化芸術活動の機会を将来にわたって確保できるよう、学校の部活動に代わり、子どもたちが地域で芸術文化活動に継続して親しむ環境を新たに構築するため、次の事業をします。 ・文化部活動地域展開・地域クラブ活動推進事業 ・文化部活動指導員配置支援事業	9,218

高校教育課

基本方針1：社会の持続的な発展を牽引する力の育成

(1) 家庭・地域・企業等と連携したキャリア教育の推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 未来を創る秋田の高校生人材育成事業	予測困難な時代にあっても、高校生が自らの可能性を信じ、未来を力強く切り拓いていくために必要な資質・能力を身に付けることができるよう、体系的なキャリア教育を推進します。	82,544
I キャリア教育充実事業	高校生が将来に向けて志を高く掲げ、学習意欲を高められるよう支援するとともに、体験的な活動等を通して、社会的・職業的自立に必要な資質・能力の育成を図ります。 ・地域人材を活用した「キャリア設計e-ミーティング」 ・消費者教育推進事業 ・地域連携充実事業	(4,367)
II ふるさと人材育成事業	高校生の社会的・職業的自立に必要な資質・能力を身に付けさせるとともに、地域の一員として、地域のよさや課題を主体的に捉え、将来にわたって、地域や社会に貢献できる人材の育成を図ります。 ・職場定着就職支援員配置事業 ・インターンシップ推進事業	(73,964)

(2) 社会の変化とニーズに応じた専門教育の推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 未来を創る秋田の高校生人材育成事業 【再掲】 III キャリア創造支援事業	秋田県の豊かな資源や産業のもつ力を活用し、専門高校等における実践的・体験的かつ探究的な学びを通じて、生徒が自らの興味や才能を深く追求し未来を創造する力を育みます。 ・成長産業人材育成 ・産業教育フェア、ものづくりコンテスト ・科学人材育成プログラム	(4,213)
2 デジタル教育未来へRUNプロジェクト事業	最新のICT教材やIT専門人材を活用した教育を推進し、これからのデジタル社会で活躍するために必要となる論理的思考力、提案力、課題解決能力等を身に付けた人材の育成に取り組みます。 ・県立高校における実習教材を活用したプログラミング教育の実施 ・普通高校におけるデジタル人材の育成 ・専門高校におけるデジタル人材の育成	34,654
3 AKITA DXハイスクール・ラボストーリー事業	デジタル社会で活躍するために必要となる論理的思考力、提案力、課題解決能力等の資質・能力を身に付けた人材育成の強化を図ります。 (1) AKITA STEAM・ラボ ・理数科における高大連携や学校間連携を重視した探究活動の充実 (2) AKITA ものづくり・ラボ ・デジタルを活用した新たな価値を創出するものづくり教育の充実 (3) AKITA クリエイティブ・ラボ ・中高一貫教育校におけるデジタルを活用したより発展的な探究活動の推進 (4) AKITA イノベティブ・ラボ ・新たな価値を創造しデジタル等成長分野への道を切り開く人材の育成	92,000

事業名	事業概要	予算額：千円
4 高等学校等教育改革促進事業	<p>「高等学校等教育改革促進臨時対策基金」を活用した教育改革を進めるにあたり、3つの類型に応じた改革を先導する拠点の創出や、本県の「改革実行計画」の策定に必要な体制を構築します。</p> <p>国の「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）」を踏まえ、知事部局や大学、地域の関係者産業界等と十分連携・協働し、実効性のある計画を策定し、改革先導拠点における取組を円滑に進めるための取組を行います。</p> <p>(1) 外部有識者からの助言・意見聴取 (2) 民間事業者への調査研究委託 ・「高校改革支援コーディネーターの配置」 ・改革先導拠点における関係者との連携・協働体制の構築に向けた支援</p>	10,000

(3) グローバル化に対応した外国語教育と国際交流の推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 AKITAグローバル人材育成事業	<p>異文化に対する理解の促進及び児童生徒の英語による発信力の強化を通して、複雑化するグローバル社会で活躍できる人材の育成を図ります。</p> <p>(1) 発信力強化プロジェクト事業 自分の考えや気持ちを英語で発信できる児童生徒の育成を目指し、校内外で発信する機会の充実を図ります。 ・オンライングローバルラーニングプロジェクト（県内高校4校指定） ・TEAM AKITA英語ディベート推進プロジェクト ・外部試験の活用 ・外国語指導助手（ALT）の配置</p> <p>(2) グローバルコミュニケーションプロジェクト事業 多様性を認め複雑化するグローバル社会で活躍できる人材を育成するため、異文化理解及び英語コミュニケーション能力を強化します。 ・イングリッシュキャンプ等 ・高校生留学支援(短期派遣)</p> <p>(3) 指導力向上プロジェクト事業 高度化する英語教育に対応できる教員を養成するため、県内大学等と連携し、英語担当教員の授業力及び英語力の向上を図るとともに、校種間連携を推進します。 ・発信力強化研究開発プロジェクト（県内高校3校指定） ・小学校外国語教育集中実践セミナー ・英語教員スキルアップセミナー（中学校・高等学校）</p>	<p>145,350</p> <p>(134,814)</p> <p>(9,799)</p> <p>(737)</p>

基本方針2：確かな学力の育成

(2) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

事業名	事業概要	予算額：千円
1 少人数学習推進事業（高等学校）	<p>一人一人に目が届くきめ細かな学習環境を整備し、生徒の学習意欲の向上及び学力等の伸長を目指すとともに、科目選択の幅を確保し、進路実現を支援するために必要な人的配置を実施します。</p> <p>習熟度別少人数学習等を実施する高等学校に、非常勤講師を配置します。</p>	44,260

基本方針4：豊かな心と健やかな体の育成

(1) 自他を尊重する心を育む教育の推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 地域生徒指導研究推進協議会の充実	中学校・高校を中核として、保護者や地域の関係機関が連携・協力し、地域の子どもの健全育成を図ります。 ・協議会設置 9地域	339
2 高校生学校生活支援事業	高校生一人一人が生き活きと学校生活を送ることができるよう、支援体制の充実を図ります。 ・高等学校スクールカウンセラー配置事業 ・高校生学校生活サポート事業 ・県立学校給食調理等業務委託	92,207

基本方針5：子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の構築

(1) 学習の質を高めるための教育環境の整備

事業名	事業概要	予算額：千円
1 教職員研修の充実	秋田県教職員研修体系に基づき、時代の進展や教育課程に対応した研修の充実を図ります。 ・校内研修の充実と研修体制の確立 ・初任者研修の充実 ・中堅教諭等資質向上研修の実施 ・文部科学省・総合教育センター所管研修等の実施 ・大学院への派遣	
2 県立高等学校地域留学伴走事業	地域みらい留学に参画している学校及び自治体間の連携を強化し、先進事例や成果、課題等の共有を図ることで、本県の高等学校の更なる特色化・魅力化を進めていくことを目指します。 ・「地域みらい留学」秋田県連絡協議会の開催 ・全国からの生徒募集に向けた広報活動の強化	1,779
3 他県及び公私立相互間の人事交流	教職員として視野を広げるとともに、多様なものの考え方、指導方法を身に付け、教職員としての資質向上を図ります。	
4 高等学校学習環境等整備事業	社会の変化に柔軟に対応し、生徒の多様な能力を伸ばす教育を充実させるため、高等学校の学習環境を整備します。 (1) e-AKITA ICT学び推進プラン事業 ・学習系、業務系ネットワークの維持管理等 ・SINET接続業務 ・校務支援システム管理保守 ・デジタル採点システム導入 ・高校入試出願システム運用保守 ・タブレット端末の購入 (2) 新設統合校初度調弁費 県立学校整備事業に伴い、必要となる環境を整備します。	831,690 (744,790) (86,900)
5 スクールロイヤー活用事業	県教育委員会にスクールロイヤーを配置し、県立学校及び市町村教育委員会に対し、専門的な知見から、課題解決の支援を行うとともに、教職員向けの研修を行い、教職員の法的対応力の向上を図ります。 ・教育問題に知見のある弁護士4名に委託 ・県立学校63校、23市町村	1,996

全国高等学校総合文化祭推進室

基本方針6：誰もが生涯にわたり学び続けられる環境の構築

(2) 良質な文化芸術に親しむ機会の充実と文化遺産の保存・活用

事業名	事業概要	予算額：千円
1 全国高等学校総合文化祭あきた大会開催事業	<p>令和8年度に秋田県で開催する全国高等学校総合文化祭（あきた総文2026）の円滑な実施に向け、大会運営に携わる生徒及び関係職員の意欲を喚起し、大会運営体制の強化を図ります。</p> <p>(1) 実行委員会事務局の運営 ・実行委員会、生徒実行委員会等諸会議の開催 ・部門担当教員の授業代替非常勤講師等の配置</p> <p>(2) 本大会開催 ・第50回全国高等学校総合文化祭（あきた総文2026） [会期] 令和8年7月26日（日）から7日間 ・開会行事 [会期] 令和8年7月26日（日）1日間 [場所] 総合開会式（あきた芸術劇場ミルハス）パレード（広小路） ・お成り、部門大会出品展示作品、バス輸送業務等</p> <p>(3) 部門大会開催 ・部門大会（22部門） [会期] 令和8年7月26日（日）から7日間 [場所] 秋田市、大館市、能代市、潟上市、由利本荘市、大仙市、横手市、湯沢市 ・部門大会開催運営への補助</p> <p>(4) 大会PR活動 ・PRイベントの実施 100日前イベント及び50日前イベント等 ・広報グッズの製作、大会プログラム等の作成</p> <p>(5) 国際交流の実施 ・招へい国と秋田県の高等学校生徒との文化交流 [招へい国] オーストラリア連邦、タイ王国、大韓民国（各国高校生15名程度） ・国際交流イベント 歓迎レセプション、県内高校生と交流会等の実施</p>	<p>452,142</p> <p>(28,520)</p> <p>(322,848)</p> <p>(42,413)</p> <p>(48,922)</p> <p>(9,439)</p>

特別支援教育課

基本方針3：誰一人取り残すことなく全ての子どもたちの可能性を引き出す教育の推進

(1) インクルーシブ教育システムの推進による特別支援教育の充実

事業名	事業概要	予算額：千円
1 みんなで創る特別支援教育推進事業	<p>全ての校種において、特別な支援を必要とする幼児児童生徒に対して、適切な指導や必要な支援を行うことができるよう、関係機関の連携による早期からの教育相談・支援と教職員研修の充実を図ります。</p> <p>(1) 学校訪問による実践研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育事務所・出張所の特別支援教育担当指導主事等による指導助言 ・対象：小・中学校等の通常の学級（特別支援教育支援員を含む）、通級指導教室、特別支援学級の担任・担当者 <p>(2) 特別支援学校のセンター的機能の提供</p> <p>①視覚支援学校サテライト教室（月1日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場：鹿角市、大館市、能代市、横手市 ・視覚障害に関する教育相談に対応（成人含む） <p>②聴覚支援学校サテライト教室（週1日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場：北秋田市、大仙市 ・聴覚障害に関する教育相談に対応 <p>③病弱教育サポートセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田きらり支援学校に設置 ・病気療養中等の幼児児童生徒に対する各学校（園）における支援を促進 <p>④全ての特別支援学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談・就学相談、体験入学等に対応 ・特別支援教育に係る支援ニーズに対応（実態把握の支援、教材・教具の貸出、個別の教育支援計画、個別の指導計画作成支援等） <p>(3) 就学や教育に関する相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者を対象とした教育相談の実施（12会場、19日間） <p>(4) 第四次秋田県特別支援教育総合整備計画の推進及び次期計画の策定に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第四次特別支援教育総合整備計画推進協議会等の開催 	1,542
2 切れ目ない支援体制充実促進事業	<p>特別な支援を必要とする子どもに対して、就学前から卒業後に至るまでの切れ目ない支援体制を促進するため、個別の教育支援計画の活用による校（園）内支援体制の機能向上及び関係機関との連携強化、保護者等に対する特別支援教育への理解推進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校等・高等学校特別支援チームによる相談支援 ・新任特別支援教育コーディネーター研修会の実施 ・特別支援教育コーディネーター連絡協議会の実施 ・トライアングル研修会の実施 ・心のバリアフリー推進モデル地区における障害理解の推進 ・障害理解研修会の実施 	981
3 特別支援学校生の雇用創出・就労促進事業	<p>就労支援コーディネーターと特別支援学校教員による、特別支援学校生の実態や多様なニーズに応じた就労支援と生徒の就労意欲を支える早期からの職業教育の充実に向けた取組、特別支援学校の職業教育に対する理解推進を図る取組を関連させながら行うことにより、就職を希望する生徒数と就職率の増加を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援コーディネーター1名配置（事業推進拠点校1校の指定） ・職業教育の充実に係る検討会の実施による職業教育の改善・充実（事業協力校2校の指定） ・職業教育に係る研修会の開催（会場：事業協力校） ・特別支援学校就労促進フェアの開催（県内3地区） 	4,150

事業名	事業概要	予算額：千円
4 特別支援学校体育連盟助成事業	特別支援学校や特別支援学級におけるスポーツの振興を図り、子どもたちの積極的な社会参加と自己実現を推進します。 ・秋田県特別支援学校総合体育大会等への補助	1,397
5 特別支援学校文化連盟助成事業	特別支援学校や特別支援学級における芸術・文化の振興を図り、子どもたちの豊かな情操や自己表現力を育みます。 ・秋田県特別支援学校文化祭等への補助	722
6 看護師配置による医療的ケア実施事業	医療的ケアが必要な通学幼児児童生徒が在籍する特別支援学校に非常勤学校看護職員を配置し、安心・安全な教育環境を整備するとともに、保護者の負担軽減を図ります。 ・学校看護職員の配置（15人） 聴覚支援学校、秋田きらり支援学校、比内支援学校、能代支援学校、ゆり支援学校、大曲支援学校、横手支援学校、稲川支援学校 ・主治医巡回指導の実施 ・医療的ケア推進協議会の開催 ・学校看護職員研修会の開催 ・学校看護職員配置校巡回訪問	
7 教育専門監要請派遣事業	特別支援教育（視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、発達障害、教育相談等）に関し、卓越した力を発揮する教員を教育専門監として認定し、自らの教育実践を公開したり、研究会や講習会等の講話や助言等を行います。 ・特別支援教育教育専門監 特別支援学校13名、高等学校2名	
8 特別支援学校教員の専門性向上サポート事業	歩行指導員や言語聴覚士等の高度な専門性を有する教員を養成するとともに、車椅子を使う児童生徒の移乗や移動等、教員の業務を補助するスタッフを配置し、特別支援学校教員の指導・支援の質の向上を図ります。	8,681
	(1) 高度な専門性を有する特別支援学校教員養成事業 ・交通費及び日額旅費 ・令和5年度以後5年間の養成予定人数 歩行指導員2名、点字指導員2名、言語聴覚士2名	(4,005)
	(2) 教員業務支援員配置事業 ・支援員2名配置し、教員の業務を補助 ・配属先 秋田きらり支援学校2名	(4,676)

基本方針5：子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の構築

(1) 学習の質を高めるための教育環境の整備

事業名	事業概要	予算額：千円
1 特別支援教育就学奨励費	保護者等の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励を図ります。 対象経費：学用品費、給食費、交通費、寄宿舎費等	177,373
2 教育的ニーズに応じた特別支援学校施設等整備事業	地域や各特別支援学校の実情に応じ、施設等を整備することにより、特別支援学校の教育の充実を図ります。	339,637
	(1) 特別支援学校学習環境整備事業 ・栗田支援学校改築に伴う小学部棟移転費用 ・栗田支援電気陶芸釜更新、能代支援学校給食厨房設備更新	(14,523)
	(2) 特別支援学校スクールバス整備事業 ・大曲支援学校（本校及びせんぼく校）スクールバス更新（3台）	(315,743)
	(3) ICT端末等導入推進事業 ・入出力支援装置購入及び更新等	(9,371)

生涯学習課

基本方針2：確かな学力の育成

(2) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

事業名	事業概要	予算額：千円
1 あきたの家庭教育パワーアップ事業	<p>保護者の大きな悩みとなっている家庭におけるメディアとの付き合い方について、講座における啓発を図るとともに、インターネットパトロールにより子どもたちをネット上のトラブルから守るよう取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あきた県庁出前講座担当者の研修会の実施 ・低年齢化対応講座、あきた県庁出前講座を通じた啓発の実施 ・ネットパトロールによるインターネット上のトラブルの未然防止と被害拡大の抑制 	7,185

基本方針4：豊かな心と健やかな体の育成

(1) 自他を尊重する心を育む教育の推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 みんなでつくる！体験活動構築事業	<p>利用者の意見を反映させた体験活動プログラムの開発や魅力発信、自然体験活動を提供する体制の充実を図り、子どもから大人まで多くの県民に自然の豊かさを五感で感じたり、それを享受する方法を身に付けたりする機会を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に資する体験プログラムのブラッシュアップ ・安全で質の高いプログラムを提供する運営体制の強化 	5,248
2 少年自然の家等の管理運営	<p>自然の中で宿泊その他の活動を集団で行うことにより、心身ともに健全な少年を育成するとともに、県民の生涯学習の振興に資する活動を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年自然の家（大館、保呂羽山、岩城） ・自然体験活動センター指定管理 	75,587

基本方針5：子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の構築

(3) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 地域と学校の連携・協働体制充実事業	<p>市町村の取組支援や県立学校における地域学校協働活動に関する支援方を充実させ、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進による「地域と学校の連携・協働体制」の全県的な構築を進めます。</p> <p>(1) 県全体の推進体制構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成に向けた研修会の実施 ・「地域と学校の連携・協働体制」推進協議会の実施 <p>(2) 市町村の取組推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県からのオーダーメイド型社会教育主事派遣の活用促進 <p>(3) 県立学校への支援体制充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県としての地域学校協働活動推進員の配置 <p>○市町村の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働活動 <ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働活動推進員や地域コーディネーター等を中心に、学校のニーズに応じて学習や行事等を支援し、地域全体で子どもを育む環境を整備します。 ・放課後子ども教室 <ul style="list-style-type: none"> 放課後等に学校の余裕教室等を活用し、地域住民の参画を得て、児童の学習や体験活動等の機会を提供します。また、放課後児童クラブとの一体型運営を推進し、全ての児童へ安心・安全な居場所を提供します。 ・あきた未来塾 <ul style="list-style-type: none"> 放課後や土曜日、長期休業中に、全ての子どもたち（小・中・高）を対象に大学生や教員OB等、地域の多様な教育人材による学習支援を実施します。 ・家庭教育支援チーム <ul style="list-style-type: none"> 地域人材がチームで家庭教育に関する学習機会等の提供や相談活動を行うなど、地域全体で家庭教育を支える取組や体制づくりを支援します。 	51,724

基本方針6：誰もが生涯にわたり学び続けられる環境の構築

(1) 多様な学びの場づくりと学びを通じた地域づくりの推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 地域の学びを支えるプラットフォーム構築事業	<p>市町村が主体的にニーズ・課題を取り上げて学びの場を創出するために、県がその支援体制や仕組みをつくるとともに、社会教育に関わる人材の育成を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携コンソーシアムの形成 ・社会教育主事の派遣による市町村伴走型支援 ・eポートフォリオ等を活用した好事例の全県展開 	568
2 “ふれあい・つたえあい”で育む子どもの読書推進事業	<p>生涯にわたって読書に親しむ子どもを育むため、子どもの発達段階に応じた読書活動を支援するとともに、子どもと関わる大人に向けた読書の楽しさの理解啓発に取り組みます。</p> <p>(1) 子どもと本をつなぐ人材の育成と環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における読書活動活性化支援 ・あきた県庁出前講座の実施 <p>(2) 子どもへの読書の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトル ・みんなでビブリオスピーチワークショップ ・ポップバトル ・絵本専門士と親子のふれあい絵本タイム 	1,731
3 図書館の管理運営	<p>県民が生涯にわたって読書に親しむことができるよう、県立図書館の図書資料の充実を図るとともに、市町村立図書館等や高等学校・特別支援学校等の学校図書館への支援及び連携により、読書環境の整備・充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な読書ニーズに対応した図書資料やデジタルアーカイブの充実 ・生活や仕事の課題、読書活動を支援するためのサービスの充実 ・市町村立図書館等の活性化を図るための支援及び研修会の実施による人材の育成 ・学校図書館の活性化を図るための訪問支援の実施及び貸出用セット資料の充実 	212,774
4 あきた文学資料館の管理運営	<p>本県ゆかりの文学に関する資料の収集・保管・展示や文学講座等の普及事業を行い、文学に関する学習機会を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展示 ・文学講座 ・新収蔵資料展 	14,007
5 生涯学習センターの管理運営	<p>本県生涯学習及び社会教育推進の中核機関として、県民の生涯にわたる学習活動を支援するとともに、関係職員の資質向上を図り、市町村及び関係機関・団体との連携・協働による「『学び』と『活動』の橋渡し」に努め、持続可能な地域づくりの実現に寄与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者の生涯学習に関する調査研究の推進 ・持続可能な地域づくりを目指す研修・支援の推進 ・県民の生涯学習機会と学習情報発信の充実 ・利用者の安全と利便性向上を目指した施設の提供 	75,188
6 青少年交流センターの管理運営	<p>青少年の交流と学習の機会を提供します。また、青少年団体の自主的活動を促進します。</p>	62,484

(2) 良質な文化芸術に親しむ機会の充実と文化遺産の保存・活用		
事業名	事業概要	予算額：千円
1 文化芸術普及事業	子どもたちの発達段階に応じて優れた文化芸術に親しみ体験できる機会を提供し、豊かな心や感性、創造性を育みます。 ・秋田県青少年劇場の開催 ・「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」（文化庁）の実施 ・「伝統文化親子教室」（文化庁）の実施	1,008
2 あきたMuseum機能強化事業	全ての人に開かれた社会教育施設・文化施設としてのミュージアムを目指し、博物館同士や地域の多様な主体との連携により、特別展のさらなる充実、デジタル技術を活用した新たな鑑賞・体験の機会創出、障害者の生涯学習、展示手法のバリアフリー化等、これからの博物館に求められる課題に対応するための機能強化を図ります。 (1) Museum特別展充実事業 ・県立4博物館施設において特別展を開催する。（県立美術館、近代美術館、県立博物館、農業科学館） (2) Museumネットワーク形成事業 ・Museumを中核に多様な主体が協働し、観光・福祉等の地域課題解決に取り組む。 ・DX推進や地域課題解決といった博物館に求められる新たな役割に対応するための機能強化を、県内の博物館等施設との広域ネットワーク形成により促進する。 (3) MuseumDX推進事業 ・「メタバース×キンピ」による鑑賞プログラムと充実とアクセシビリティの向上を図る。 (4) Museum情報発信強化事業 ・藤田嗣治を軸に、県立美術館とランス美術館（フランス）との連携を目指した交渉や現地での解説を実施する。 ・インバウンド対応のため、県立美術館の多言語版リーフレットを作成する。	68,169
3 県立美術館の管理運営事業	魅力的な展覧会を開催するとともに、教育普及活動の充実に努め、県民の美術に関する教養の向上に寄与します。 ・企画展等の開催 ・美術館教室等の開催 ・講演会、ミュージアムコンサート等の開催 ・セカンドスクールの利用（鑑賞活動）の実施	127,651
4 近代美術館の管理運営事業	魅力的な展覧会の開催や教育普及活動の充実に努め、郷土の文化遺産の継承ならびに県民の文化的な生活の向上、地域の活力向上に寄与します。 ・コレクション展等の開催 ・企画展の開催 ・出前美術展、ミュージアムコンサート等の開催 ・美術館教室、美術館講座等の開催 ・仮想近代美術館「メタバース×キンピ」による教育普及 ・セカンドスクールの利用（鑑賞・制作活動）の実施	178,839
5 県立博物館の管理運営事業	郷土の自然や人文等に関する展示や教育普及事業の充実に努め、県民の学術及び文化の発展に寄与します。 ・企画展等の開催 ・博物館教室・講座・講演会、ミュージアムトーク、各種研修・実習等の開催 ・セカンドスクールの利用（展示見学・体験学習等）、出前授業、職場体験等の実施	136,161
6 農業科学館の管理運営事業	秋田県の農林業及び農村生活に関する展示や科学の目を通した農林業に関する学習機会の充実に努め、県民の文化の向上に寄与します。 ・サン・アグリゼミナール(自然・食コース、園芸コース、キッズコース)の開催 ・公募企画展、県内研究機関紹介、食農体験等の実施 ・大曲農業高校、県立大学との連携事業 ・セカンドスクールの利用（果樹の収穫体験・昔のくらしや道具の学習等）の実施	51,027

文化財保護室

基本方針6：誰もが生涯にわたり学び続けられる環境の構築

(2) 良質な文化芸術に親しむ機会の充実と文化遺産の保存・活用

事業名	事業概要	予算額：千円
1 文化財保護指導	県内の文化財について、状況の把握や文化財的価値を調査し保護措置を講ずるとともに、文化財保護審議会に諮りながら文化財の指定を行います。	4,271
2 文化財保護管理指導事業	国指定文化財、埋蔵文化財包蔵地などについて巡視を行い、文化財の状況把握と保護に万全を期します。 ・文化財保護管理指導員による定期的な文化財の巡視	2,000
3 カモシカ保護地域特別・通常調査事業	特別天然記念物カモシカの保護地域内及びその周辺における生息状況を継続的に調査し、カモシカ保護と食害防止を両立させる施策を検討します。 通常調査：南奥羽山系カモシカ保護地域 (湯沢市、東成瀬村) 特別調査：北奥羽山系カモシカ保護地域 (小坂町、鹿角市、北秋田市、上小阿仁村、秋田市、仙北市) 青森県・岩手県との共同事業	20,711
4 銃砲刀剣類登録審査事業	銃砲刀剣類所持等取締法にもとづく火縄式銃砲等の古式銃砲及び刀剣類の登録事務を行います。 ・銃砲刀剣類登録審査会の実施 ・銃砲刀剣類の新規登録、登録証の再交付 など	389
5 文化財保存調査事業	文化財の保存・活用・発見等幅広い目的をもって調査を実施し、その内容を記録、収録するとともに、資料の展示公開等により積極的な活用を図ります。 ・調査対象文化財：県央部（秋田市）の仏像、寺社什物 ・調査年度：令和8年度～令和11年度（4か年）	580
6 民俗芸能振興費	北海道・東北ブロック民俗芸能大会及び秋田県民俗芸能功労者表彰に要する経費	699
7 民俗文化財継承支援事業	秋田県は重要無形民俗文化財の指定件数が18件と全国一を誇り、民俗芸能の宝庫といわれています。その保存継承の意欲を高めるとともに、用具修理等へ補助することで、保存団体の活動を活性化させる取組を行います。 ・「子ども民俗芸能交流大会」の開催 ・用具修理や後継者育成事業への助成	2,275
8 戦争遺跡調査事業	継承が困難になりつつある戦争の記録や記憶について、全県的な調査を行い現況を把握し、主要な戦争遺跡について詳細な調査及び体系的な整理を行います。	890

事業名	事業概要	予算額：千円
9 埋蔵文化財保管活用事業	<p>埋蔵文化財を活用した体験学習や展示会等を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会 「縄文人と貝」 ・企画コーナー展 「埋文あきた発掘展(仮)」 ・あきた埋文考古学セミナー（3回） ・出張展示 「あきた発掘最前線2026」ほか（3回） ・あきた埋文金曜講座（9回） ・オープンラボ（3回） ・払田柵跡活用事業「払田柵跡の歩き方」 ・学校へのお出張展示、出前授業 ・セミナー、金曜講座の動画配信 	1,261
10 「未来につなぐJOMON」世界遺産魅力アップ事業	<p>世界文化遺産に登録された、鹿角市大湯環状列石と北秋田市伊勢堂岱遺跡の保存を万全とし、活用につなげるため、秋田の縄文遺跡群保存活用基本構想に基づいて事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産魅力アップ事業 あきたの縄文遺産魅力発見イベント支援、あきたの縄文遺産学習資料（副読本）の作成、主要地方道十二所花輪大湯線移設等に係る遺産影響評価、秋田県縄文遺跡群保存活用連絡会議開催 等 ・世界文化遺産継承事業（4道県共同） 「北海道・北東北の縄文遺跡群」魅力発見・発信事業、4道県国内フォーラムの開催、総合情報発信事業 等 	9,983
11 埋蔵文化財分布発掘調査事業	<p>道路建設及び河川改修等の事業が計画されている区域において埋蔵文化財の分布調査を実施し、保護措置を講ずるとともに保存目的調査や記録保存のための発掘調査を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡詳細分布調査：全市町村を対象 ・払田柵跡保存目的調査 ・道路整備事業発掘調査：にかほ市4遺跡（内、整理4）、横手市2遺跡（内、整理2） ・河川改修事業発掘調査：秋田市3遺跡（内、整理3） ・ダム建設事業発掘調査：由利本荘市2遺跡（内、整理2） 	259,062
12 埋蔵文化財センター管理運営費	埋蔵文化財センターの管理運営に要する経費	17,553
13 文化財保護助成事業	<p>県内の国・県指定文化財の保存修理事業等に助成することにより、文化遺産の保存・活用を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐藤家住宅（大仙市）、土田家住宅（由利本荘市）の防災施設整備 ・花輪祭の屋台行事（鹿角市）の屋台修理 ・国、県指定文化財に係る管理費補助 など 	13,857
14 重要文化財天徳寺保存修理事業	<p>保存修理事業を終えた重要文化財天徳寺の防災施設整備に助成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避雷針設備、消火設備、自動火災報知設備等の工事など（5か年事業の3年目） 	16,768

保健体育課

基本方針4：豊かな心と健やかな体の育成

(3) 学校における体育活動の充実と健康教育の推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 秋田っ子元気アップ推進事業	<p>学習指導要領の趣旨の実現に向けて諸課題を解決し、将来の秋田を担う子どもたちが、生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現していくことを目指します。</p> <p>(1) 体育に関する指導サポート事業 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進及び児童生徒の運動習慣の二極化傾向の解消と体力水準の引き上げを図ります。</p> <p>①体育・保健体育授業サポート事業 (地域人材を活用したTT授業の実施)</p> <p>②水泳指導スキルアップ事業 (泳法の実技指導及び事故防止に関する研修)</p> <p>③子どもの体力等調査研究事業 (各種調査の実施や実態把握)</p>	618 (618)
2 秋田型部活動未来創出支援事業	<p>「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」を踏まえ、将来にわたる生徒のスポーツ活動の機会の確保・充実を図るため、「中学校運動部活動の地域展開」を進めるとともに、「中学校運動部活動指導員」を配置し持続可能で多様なスポーツ環境の整備に努めます。</p> <p>また、高校運動部における競技力の向上や指導體制の充実に向けた「高校運動部活動指導員」の配置や企業等との連携による良質な指導人材の育成・確保を進め、より魅力的なスポーツ環境を構築します。</p> <p>(1) 中学校運動部活動地域展開推進事業 急激な少子化が進む中でも、将来にわたり本県の子どもたちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保するため、運動部活動の地域クラブ活動への展開に向け、地域の実情に応じた持続可能で多様なスポーツ環境の整備を図ります。</p> <p>(2) 中学校運動部活動指導員配置事業 適切な活動時間や休養日の設定など部活動の適正化を進めている市町村・県立中学校に対し、部活動指導員の配置に関する支援をすることで、生徒にとって望ましい活動環境の構築及び教員の働き方改革を推進します。</p> <p>(3) 高校運動部活動指導員配置事業 優れた指導実績や高い専門性を有する指導人材の配置・活用を進め、競技力の向上やニーズに応じた充実した活動を展開することで、生徒にとって望ましい活動環境の構築及び教員の働き方改革を推進します。</p> <p>(4) 部活動躍進プロジェクト事業 選手の競技力向上や指導者の資質向上のため、アドバイザーや栄養指導等に外部人材を活用する他、企業チームとの連携による指導者研修の充実や校種間連携の強化などを行い、運動部活動の魅力や活力の創出とともに、持続可能な環境の整備を支援します。</p> <p>①運動部活動活力アップ推進事業 ・指導者コーチングスキルアップ事業 ・運動部活動活力アップ事業</p> <p>②高校野球強化・魅力アップ支援事業 ・アドバイザーの活用 ・指導者スキル向上講習会 ・高校野球強化事業</p>	72,157 (21,687) (28,533) (17,590) (4,347)

事業名	事業概要	予算額：千円
3 体育連盟補助事業	<p>中学生及び高校生のスポーツ環境を整備し、心身ともに健全な生徒を育成するため、中核組織である秋田県中学校体育連盟及び秋田県高等学校体育連盟の運営を支援します。</p> <p>(1) 秋田県中学校体育連盟補助金 (1,386)</p> <p>①秋田県中学校総合体育大会運営費補助 ②東北中学校体育大会運営費補助(秋田県開催分)</p> <p>(2) 秋田県高等学校体育連盟補助金 (2,150)</p> <p>①秋田県高等学校総合体育大会運営費補助 ②東北高等学校選手権大会運営費補助</p>	3,536
4 第76回全国高等学校スキー大会開催事業	<p>全国から集まる高校生アスリートの競技力向上やスポーツ精神の高揚、心身の健全育成を推進するとともに、最高のパフォーマンスを発揮できる高校スポーツの祭典となるよう、大会の円滑な運営と最適な競技環境の整備を進めます。</p> <p>(1) 大会運営負担金 (2) 県実行委員会の連絡調整にかかる経費</p>	26,234
5 健やか秋田っ子育成支援事業	<p>多様化・複雑化している子どもたちの健康課題の解決に向けて、医療関係者の協力の下、学校・家庭・地域が連携・協働して健康教育の充実を図るとともに、食に関する指導を計画的かつ総合的に推進します。</p> <p>(1) 現代的健康課題への対応事業 (2,049)</p> <p>①がん教育推進事業（がん教育指導者研修会、がん教室、がん教育推進協議会の設置、がん教育アドバイザーの委嘱）学校におけるがん教育を推進するため、教員等を対象とした研修会を開催し資質向上を図るとともに、学校で開催するがん教室を支援します。</p> <p>②性に関する指導事業（「性に関する指導」指導者研修会・性教育講座・産婦人科相談医の委嘱と活用、性に関する指導推進のための委員会） 学校における性に関する指導を推進するため、教員を対象とした指導者研修会を開催し資質向上を図るとともに、学校校で開催する性教育講座を支援します。</p> <p>③県立中学校におけるフッ化物洗口事業 県立中学校における歯と口の健康づくりを推進するため県歯科医師会等と連携し、フッ化物洗口を実施します。</p> <p>④薬物乱用防止教育推進事業（薬物乱用防止教育研修会、薬物乱用防止教室） 学校における薬物乱用防止教育を推進するため、教員を対象とした研修会を開催し資質向上を図るとともに、学校で開催する薬物乱用防止教室を支援します。</p> <p>(2) 秋田っ子食育推進事業 (293)</p> <p>①安全で安心な学校給食の衛生管理事業（学校給食施設への衛生管理等の訪問指導） 県教育委員会の指導主事と栄養教諭等で県内7施設を訪問して点検指導及び研究協議を行い、衛生管理体制の強化を図ります。</p> <p>②食物アレルギー対応事業 食物アレルギーへの対応として、県医師会等の協力を得ながら、学校の教職員を対象とした研修会を、県内3地区（県北・県央・県南）で開催します。</p> <p>③学校食育推進リーダー育成事業（栄養教諭・学校栄養職員研修会・学校食育推進リーダー研修会・学校訪問） 学校における食育を推進するため、食に関する指導の実践により、学校における食育の位置付けと推進体制の在り方等を理解し推進できる教職員の育成を支援します。</p> <p>④地場産物活用促進モデル事業 モデル地区を1箇所設定し連絡協議会の設置等、学校給食における地場産物活用に向けた体制を構築することで、地場農産物資の使用実績向上と、ふるさとへの愛着心をもつ児童生徒の育成を図ります。</p>	2,342

事業名	事業概要	予算額：千円
6 公立小学校等給食費保護者負担軽減事業	<p>学校給食費の保護者負担軽減に取り組む学校設置者へ費用の一部を補助するとともに、地場産物の活用率向上を図り、給食運営の効率的な執行体制の構築を目指します。</p> <p>(1) 公立小学校等給食費保護者負担軽減事業 公立小学校等の学校給食費について、保護者負担軽減を通じた子育て支援に取り組む学校設置者に費用の一部を補助します。</p> <p>(2) 県内給食地場産物活用促進事業 学校給食における地場産物活用を推進し、給食運営の効率化を図るために、部局等と連携・協働して全県規模での安定的な食材供給体制の構築に向けた取組を推進します。</p>	<p>1,836,310</p> <p>(1,834,976)</p> <p>(1,334)</p>

基本方針5：子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の構築

(3) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 学校安全推進事業	<p>学校生活や登下校中に起こりうる、児童生徒等に対する事件、事故、災害等の危険を的確に捉え、家庭・地域・関係機関等の連携・協働による質の高い学校安全の取組を推進します。</p> <p>(1) 学校安全関連事業 各学校等が学校安全の三領域にバランスよく取り組み、より実効性のある安全教育を推進し、児童生徒等の安全に対する理解を深めるとともに指導者の資質向上を図ります。 ・学校安全推進委員会の開催 ・学校安全指導者研修会（管理、生活・交通、災害）の開催 ・学校安全学校訪問 ・学校安全外部指導者派遣事業 ・学校安全調査 ・学校安全表彰 ・学校安全に関する情報提供（県ウェブサイト等）</p> <p>(2) 交通安全関連事業 登下校中の児童生徒の安全を確保するため、通学路の交通安全対策を推進し、交通安全教育の充実を図ります。 ・通学路安全推進事業</p> <p>(3) 生活安全関連事業 犯罪被害や学校生活における事故から児童生徒を守るため、地域や関係機関等と連携・協働した安全体制を整備し、生活安全教育の充実を図ります。 ・地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業</p> <p>(4) 災害安全関連事業 学校や地域の実情に応じた災害に備えるため、地域や関係機関等と連携・協働して行う防災教育に係る諸活動を支援し、災害安全教育の充実を図ります。 ・地域連携安全・安心推進事業</p>	<p>5,373</p> <p>(768)</p> <p>(1,267)</p> <p>(903)</p> <p>(2,435)</p>
2 学校防災力向上支援事業	<p>近年、自然災害が頻発化・激甚化しており、本県でも浸水被害が連続して発生するなど、災害リスクは極めて高い状況にあります。災害は「いつどこで発生してもおかしくない」状況であることから、学校が安全な避難場所としての機能を維持しながら、子どもたちの学びを守り続けることを目指します。</p> <p>(1) 学校防災リーダー育成事業 災害時における学校の初動対応力と地域連携力を強化するため「学校防災リーダー」を育成するとともに、県内外において大規模災害が発生した際に、学校支援チームとして派遣できる体制を整えます。</p>	<p>606</p> <p>(606)</p>

福 利 課

基本方針5：子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の構築

(2) 教職員の指導体制の充実と学校における働き方改革の推進

事業名	事業概要	予算額：千円
1 衛生管理体制の充実	<p>教職員が安全にかつ健康で職務に専念できる快適な職場環境づくりを推進していくために、体制を整備するとともに、安全衛生活動の活性化に努めます。</p> <p>(1) 健康管理医の配置（教育庁等及び県立学校） (2) 各職場の衛生委員会を活用した職場環境づくり (3) 安全衛生研修会</p>	4,907
2 健康管理事業	<p>人間ドックや器官別検診等ヘルスチェックの機会の充実を図るとともに、特定健康診査等事業の実施によるメタボリックシンドローム該当者・予備群の減少に努めます。</p> <p>(1) 健康診断 ・定期健康診断（教育庁等及び県立学校） ・宿泊ドック、1日ドック、婦人科検診、脳ドック ・胃部集団検診、大腸がん検診、歯科健診 (2) 健康診断後の保健指導 (3) 特定健康診査及び特定保健指導 （県 48,299千円、共済組合 150,328千円、互助会 42,945千円）</p>	48,299
3 メンタルヘルス対策事業	<p>教職員の心の健康を保持するために、ストレスチェック制度を含むメンタルヘルス対策の推進を図ります。</p> <p>(1) ストレスチェック（教育庁等及び県立学校） (2) メンタルヘルス関連講座 (3) 職員ストレス相談事業・メンタルヘルス相談事業 （県 2,230千円、共済組合 2,087千円）</p>	2,230
4 健康づくり事業	<p>教職員の健康リテラシーの向上及び健康的な生活習慣づくりに資する事業の充実を図ります。</p> <p>(1) データヘルス計画関連講座 (2) 健康づくりインセンティブ事業 (3) 職場の健康づくり支援事業 （共済組合 3,553千円）</p>	

【市町村教育委員会等一覧】

(R 8. 4. 1 現在)

○県内の教育委員会

	教育委員会名	郵便番号	住 所	電話番号	F A X 番号
1	秋田県教育委員会	010-8580	秋田市山王三丁目1-1	018-860-5111	018-860-5851
2	秋田市教育委員会	010-8560	秋田市山王一丁目1-1	018-888-5803	018-888-5804
3	能代市教育委員会	018-3192	能代市二ツ井町字上台1-1	0185-73-2757	0185-73-6459
4	横手市教育委員会	013-8601	横手市条里一丁目1-64	0182-32-2402	0182-32-4034
5	大館市教育委員会	018-3595	大館市早口字上野43-1	0186-43-7111	0186-54-6100
6	男鹿市教育委員会	010-0595	男鹿市船川港船川字泉台66-1	0185-24-9100	0185-24-9156
7	湯沢市教育委員会	012-8501	湯沢市佐竹町1-1	0183-73-2161	0183-72-8515
8	鹿角市教育委員会	018-5292	鹿角市花輪字荒田4-1	0186-30-0290	0186-30-1140
9	由利本荘市教育委員会	018-0692	由利本荘市西目町沼田字弁天前40-61	0184-32-1306	0184-33-3381
10	潟上市教育委員会	010-0201	潟上市天王字棒沼台226-1	018-853-5361	018-853-5277
11	大仙市教育委員会	014-8601	大仙市大曲上栄町2-16	0187-63-1111	0187-63-7131
12	北秋田市教育委員会	018-3312	北秋田市花園町15-1	0186-62-6616	0186-63-2678
13	にかほ市教育委員会	018-0311	にかほ市金浦字南金浦49-2	0184-38-2259	0184-38-2252
14	仙北市教育委員会	014-0398	仙北市角館町上野18	0187-43-3381	0187-54-2112
15	小坂町教育委員会	017-0201	鹿角郡小坂町小坂字砂森7-1	0186-29-2342	0186-29-4436
16	上小阿仁村教育委員会	018-4421	北秋田郡上小阿仁村小沢田字向川原60-3	0186-60-9000	0186-77-3223
17	藤里町教育委員会	018-3201	山本郡藤里町藤琴字家の後67	0185-79-1327	0185-79-2227
18	三種町教育委員会	018-2104	山本郡三種町鹿渡字東二本柳29-3	0185-87-2115	0185-87-3052
19	八峰町教育委員会	018-2641	山本郡八峰町八森字中浜196-1	0185-77-2816	0185-77-3230
20	五城目町教育委員会	018-1792	南秋田郡五城目町西磯ノ目一丁目1-1	018-852-5372	018-852-5370
21	八郎潟町教育委員会	018-1692	南秋田郡八郎潟町字大道80	018-875-5812	018-875-5950
22	井川町教育委員会	018-1512	南秋田郡井川町北川尻字海老沢樋ノ口79-2	018-874-4424	018-874-2924
23	大潟村教育委員会	010-0443	南秋田郡大潟村字中央1-21	0185-45-3240	0185-45-2661
24	美郷町教育委員会	019-1541	仙北郡美郷町土崎字上野乙170-10	0187-84-4914	0187-85-3102
25	羽後町教育委員会	012-1131	雄勝郡羽後町西馬音内字中野177	0183-62-2111	0183-62-2120
26	東成瀬村教育委員会	019-0801	雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1	0182-47-3415	0182-47-2119

○幼保連携型認定こども園

幼保連携型認定こども園（市町村立）

	認定こども園名	郵便番号	所在地	TEL	FAX
1	八森子ども園	018-2664	山本郡八峰町八森字五輪台上段43	0185-70-4100	0185-70-4101
2	峰浜ボンボコ子ども園	018-2507	山本郡八峰町田中野田沢37番地17	0185-74-5933	0185-74-5934
3	潟上市立若竹幼児教育センター	018-1502	潟上市飯田川下虻川字ハッロ80	018-877-4050	018-877-7350
4	潟上市立出戸こども園	010-0201	潟上市天王字北野231-2	018-878-4420	018-878-4420
5	潟上市立昭和こども園	018-1401	潟上市昭和久保字堤の上1-3	018-838-0140	018-838-0141
6	潟上市立天王こども園	010-0201	潟上市天王字持長根116-1	018-853-8277	018-853-8288
7	大潟村立大潟こども園	010-0443	大潟村字中央5-1	0185-45-2345	0185-45-3615
8	井川町立井川こどもセンター	018-1515	井川町小竹花字道端50	018-874-4151	018-874-4153
9	美郷町立六郷わくわく園	019-1404	美郷町六郷字作山13-7	0187-84-0023	0187-84-0054
10	美郷町立千畑なかよし園	019-1541	美郷町土崎字上野乙31	0187-85-3115	0187-85-3116
11	美郷町立仙南すこやか園	019-1234	美郷町飯詰字糠淵4-1	0187-83-2100	0187-83-2226

公私連携幼保連携型認定こども園

	認定こども園名	郵便番号	所在地	TEL	FAX
12	八郎潟たいようこども園	018-1616	南秋田郡八郎潟町字大道90-1 南秋田郡八郎潟町字家ノ後1-1	018-875-5172 018-875-2734	018-875-5710

幼保連携型認定こども園（私立：秋田市以外）

	認定こども園名	郵便番号	所在地	TEL	FAX
13	大館ホテヤこども園	017-0872	大館市片山町一丁目3-10	0186-43-4224	0186-43-4228
14	大館ホテヤ第二こども園	017-0872	大館市片山町三丁目2-21	0186-59-6355	0186-59-6356
15	向陽こども園	017-0012	大館市釈迦内字館68-1	0186-48-2345	0186-48-2448
16	宮の杜神明こども園	017-0867	大館市中神明町1-5	0186-42-1455	0186-49-0330
17	南が丘こども園	017-0835	大館市小館花字萩野台4-1	0186-42-5448	0186-42-3083
18	幼保連携型認定こども園 大館八幡こども園	017-0811	大館市字八幡1番地	0186-49-1206	0186-44-4333
19	扇田こども園	018-5701	大館市比内町扇田字町尻108-1	0186-55-0082	0186-59-8105
20	大館カトリックこども園	017-0043	大館市有浦1丁目7番45号	0186-42-1262	0186-57-8483
21	認定こども園 しゃろーむ	018-3316	北秋田市東横町10-34	0186-62-1249	0186-62-1159
22	幼保連携型認定こども園 あいかわ保育園	018-4282	北秋田市李岱字下豊田1	0186-78-9030	0186-78-9031
23	幼保連携型認定こども園 湊城幼稚園・ていじょう保育園	016-0825	能代市柳町13-21	0185-52-4136	0185-52-2090

	認定こども園名	郵便番号	所在地	TEL	FAX
24	能代カトリックこども園	016-0892	能代市景林町15-18	0185-52-2756	0185-88-8240
25	幼保連携型認定こども園 能代南幼稚園 南ベビー保育園	016-0843	能代市中和二丁目1-49	0185-52-5854	0185-52-5856
26	認定こども園 東能代幼稚園・保育園	016-0103	能代市字宮ノ前33	0185-58-2102	0185-58-3076
27	幼保連携型認定こども園 もりやまこども園	018-1703	五城目町字羽黒前76-1	018-852-3805	018-852-3824
28	本荘カトリックこども園	015-0874	由利本荘市給人町100	0184-22-2068	0184-22-2067
29	清徳幼稚園 清徳保育園	015-0074	由利本荘市桜小路43	0184-24-2501	0184-22-2375
30	学校法人鶴舞学園 認定こども園 若草幼稚園・保育園	015-0843	由利本荘市東梵天52	0184-22-0852	0184-22-0830
31	幼保連携型認定こども園 西目こども園	018-0604	由利本荘市西目町沼田字新屋下37-1	0184-33-2038	0184-33-3393
32	本荘中央こども園	015-0041	由利本荘市薬師堂字谷地127-3	0184-23-1313	0184-22-3781
33	白百合こども園	018-0103	にかほ市象潟町字上狐森123-3	0184-43-2456	0184-43-2448
34	幼保連携型認定こども園仁賀保	018-0402	にかほ市平沢字町田1	0184-36-2479	0184-36-2865
35	明星こども園	018-0133	にかほ市象潟町関字西大坂1-20	0184-43-5622	0184-43-5624
36	星城こども園	018-0153	にかほ市象潟町小滝字舞台64-2	0184-44-2314	0184-44-2318
37	幼保連携型認定こども園 すくすくだけっこ園	019-1701	大仙市神宮寺字中瀬古川敷31-4	0187-72-2148	0187-72-2720
38	幼保連携型認定こども園 なかせんワイワイらんど	014-0207	大仙市長野字新山131	0187-56-4128	0187-56-4307
39	幼保連携型認定こども園 おおたわんぱくランド	019-1601	大仙市太田町横沢字窪関南535-4	0187-88-2110	0187-88-2116
40	幼保連携型認定こども園せんぼくちびっ こらんど	014-0805	大仙市高梨字大嶋367	0187-63-1143	0187-63-1179
41	幼保連携型認定こども園 つきの木こども園	019-1846	大仙市南外字梨木田96-1	0187-73-1088	0187-73-1081
42	幼保連携型認定こども園 西仙あおぞらこども園	019-2112	大仙市刈和野字川原田27-1	0187-75-1107	0187-75-1107
43	幼保連携型認定こども園 協和まほろばこども園	019-2412	大仙市協和荒川字下谷地53	018-892-3426	018-892-3481
44	幼保連携型認定こども園四ツ屋こども園	014-0102	大仙市四ツ屋字西下瀬159	0187-66-1517	0187-73-5315
45	幼保連携型認定こども園 大曲中央こども園	014-0053	大仙市大曲花園町4-88	0187-63-1382 0187-62-1027	0187-73-5266 0187-73-5201
46	幼保連携型認定こども園 だしのこ園	014-1201	仙北市田沢湖生保内字武蔵野117-263	0187-43-1025	0187-43-3256
47	幼保連携型認定こども園 神代こども園	014-1114	仙北市田沢湖神代字珍重屋敷89-3	0187-44-2502	0187-44-2931
48	◆幼保連携型認定こども園 ひのきないこども園	014-0602	仙北市西木町桧木内字高屋137	0187-48-2345	0187-48-2525
49	幼保連携型認定こども園 にこにここども園	014-0515	仙北市西木町門屋字六本杉2-1	0187-47-2525	0187-47-2323
50	幼保連携型認定こども園角館こども園	014-0368	仙北市角館町中菅沢91-1	0187-53-2918	0187-53-2919

	認定こども園名	郵便番号	所在地	TEL	FAX
51	むつみ幼保連携型認定こども園	013-0064	横手市赤坂字仁坂105-20	0182-33-2777	0182-33-2715
52	幼保連携型認定こども園 沼館保育園	013-0208	横手市雄物川町沼館字千刈田2	0182-22-4511	0182-22-4517
53	幼保連携型認定こども園 相愛こども園	013-0061	横手市横手町字五の口9	0182-36-1334	0182-36-1826
54	幼保連携型認定こども園 和光こども園	013-0071	横手市八幡字上長田39番地1	0182-36-1221	0182-23-9230
55	幼保連携型認定こども園 双葉幼稚園	012-0827	湯沢市表町四丁目7-8	0183-73-0110	0183-73-0109
56	幼保連携型認定こども園 湯沢よつばこども園	012-0844	湯沢市田町二丁目3-52	0183-73-2272	0183-73-2288
57	社会福祉法人いなかわ福祉会 あおぞらこども園	012-0106	湯沢市三梨町字古三梨155	0183-42-3117	0183-42-3117
58	幼保連携型認定こども園 いわさきこども園	012-0801	湯沢市岩崎字千年71-4	0183-72-3165	0183-72-3166
59	幼保連携型認定こども園 湯沢こども園	012-0813	湯沢市柳町2-4-37	0183-73-2361	0183-72-6525
60	幼保連携型認定こども園 みたけこども園	012-0824	湯沢市裏門一丁目2-33	0183-73-1745	0183-73-8875
61	幼保連携型認定こども園 にしもないこども園	012-1131	羽後町西馬音内字本町138番地	0183-62-2344	0183-62-2585
62	幼保連携型認定こども園 みわこども園	012-1123	羽後町貝沢字拾三本塚9番地	0183-62-1351	0183-62-1351
63	幼保連携型認定こども園 おがちこども園	019-0204	湯沢市横堀字土淵28	0183-52-2559	0183-52-3834

幼保連携型認定こども園（私立：秋田市）

	認定こども園名	郵便番号	所在地	TEL	FAX
64	聖霊女子短期大学附属幼稚園・保育園	010-0012	秋田市南通みその町5-3	018-835-5692	018-838-1331
65	聖園学園短期大学附属聖園幼稚園	010-0911	秋田市保戸野すわ町1-58	018-823-2695	018-838-1331
66	ノースアジア大学附属こども園	010-0065	秋田市茨島四丁目1-20	018-823-4540	018-863-4918
67	こまどり幼稚園・保育園	010-0044	秋田市横森五丁目1-29	018-834-0968	018-838-7338
68	認定こども園 四ツ小屋	010-1417	秋田市四ツ小屋字城下当場2-4	018-839-2734	018-839-2734
69	幼保連携型にいだこども園	010-1421	秋田市仁井田本町三丁目5-48	018-839-2048	018-839-2171
70	秋田太陽幼稚園・ベビー園	010-1436	秋田市大住三丁目3-41	018-839-0311	018-839-0313
71	認定こども園山王幼稚園・保育園	010-0953	秋田市山王中園町4-15	018-862-2223	018-862-2244
72	けやき平こども園	011-0911	秋田市飯島字前田表2-48	018-845-7985	018-845-7985
73	認定こども園 土崎幼稚園	011-0946	秋田市土崎港中央四丁目5-42	018-845-1297	018-845-1297
74	外旭川わんわんこども園	010-0802	秋田市外旭川字梶ノ目5-34	018-868-3400	018-868-6110
75	勝平幼稚園 ひよこ保育園	010-1617	秋田市新屋松美ガ丘東町9-23	018-863-6227	018-863-6886
76	土崎カトリックこども園	011-0943	秋田市土崎港南三丁目1-3-35	018-845-1786	018-845-2080
77	あおぞら幼保連携型認定こども園	010-1423	秋田市仁井田字仲谷地2-84	018-839-5375	018-839-5323
78	あさひかわこども園	010-0814	秋田市泉東町8-56	018-868-3700	018-868-3718
79	ウェルビューいずみこども園	010-0817	秋田市泉菅野二丁目1-7-27	018-896-7011	018-896-6482
80	こども園あきた風の遊育舎	011-0945	秋田市土崎港西三丁目8-28	018-846-6731	018-846-6751
81	こども園こうほく風の遊育舎	011-0941	秋田市土崎港北六丁目1-33	018-845-7166	018-845-7176
82	あきた中央こども園	010-0914	秋田市保戸野千代田町1-10	018-896-0121	018-896-0119
83	幼保連携型認定こども園 あおぞらなないろ園	010-1424	秋田市四ツ小屋字中野258	018-839-7979	018-829-1574
84	こども園いずみ風の遊育舎	011-0901	秋田市寺内字三千刈223-1	018-838-1350	018-838-1399
85	認定こども園 新屋幼稚園・ほいくえん	010-1637	秋田市新屋扇町4-27	018-828-2119	018-828-2207
86	幼保連携型認定こども園 ふじ	011-0949	秋田市飯島飯田一丁目12-40	018-816-0550	018-816-0551
87	幼保連携型認定こども園 ナーサリーふじ	011-0948	秋田市飯島西袋一丁目1-3	018-893-5880	018-893-5881
88	幼保連携型認定こども園 ナーサリー土崎	011-0946	秋田市土崎港中央六丁目10-6	018-845-1571	018-874-9626

※ 園名の◆は、休園中を示したものの。

○幼稚園

幼稚園（国立）

	園名	認	郵便番号	住 所	電話番号	FAX番号
1	秋田大学教育文化学部附属幼稚園		010-0904	秋田市保戸野原の町14-32	018-862-2343	018-867-0134

幼稚園（市町村立）

	園名	認	郵便番号	住 所	電話番号	FAX番号
2	藤里幼稚園		018-3201	山本郡藤里町藤琴字鳥谷場223	0185-79-1563	0185-79-1563

幼稚園（私立）

	園名	認	郵便番号	住 所	電話番号	FAX番号
3	鹿角カトリック幼稚園		018-5334	鹿角市十和田毛馬内字下小路59-1	0186-35-2063	0186-35-3174
4	大館幼稚園		017-0894	大館市字裏町11	0186-42-0534	0186-42-0553
5	愛慈幼稚園	○	016-0806	能代市清助町2-10	0185-54-4050	0185-52-5000
6	さかき幼稚園	○	016-0857	能代市字田子向111	0185-52-0814	0185-52-6557
7	◆八竜幼稚園		018-2401	山本郡三種町鶴川字内田18	0185-85-2241	0185-85-2204
8	高清水幼稚園		011-0936	秋田市将軍野南一丁目1-20	018-845-0781	018-845-0781
9	将軍野幼稚園・保育園	○	011-0932	秋田市将軍野青山町11-18	018-845-6724	018-845-6724
10	飯島幼稚園		011-0913	秋田市飯島鼠田三丁目2-75	018-846-2036	018-846-2036
11	手形山幼稚園		010-0843	秋田市手形山東町1-37	018-832-9210	018-832-9210
12	ルーテル愛児幼稚園	○	010-1638	秋田市新屋表町8-19	018-828-3038	018-828-8185
13	秋田東幼稚園		010-0003	秋田市東通三丁目5-1	018-832-1432	018-832-1490
14	わかば幼稚園・保育園	○	010-0951	秋田市山王三丁目1-24	018-863-8632	018-863-3949
15	認定こども園 秋田幼稚園	○	010-0966	秋田市高陽青柳町13-31	018-862-3542	018-862-1992
16	◆下北手幼稚園		010-0051	秋田市下北手松崎字大巻151-1	018-874-7935	018-874-7936
17	ノースアジア大学附属さくら幼稚園		010-0058	秋田市下北手桜字新桜谷地2	018-834-2957	018-834-2957
18	ひかり幼稚園	○	010-0917	秋田市泉中央三丁目2-1	018-863-4228	018-862-5456
19	御所野幼稚園	○	010-1414	秋田市御所野元町五丁目1-2	018-826-1005	018-826-1023
20	聖使幼稚園		010-0905	秋田市保戸野中町6-36	018-862-4880	018-883-0055
21	和田幼稚園		019-2601	秋田市河辺和田字和田46	018-882-2167	018-882-5019
22	いづみ幼稚園		010-0342	男鹿市脇本脇本字中野36-2	0185-25-2585	0185-25-2675
23	認定こども園 追分幼稚園・附属追分ベビー園	○	010-0101	潟上市天王字長沼5	018-873-2611	018-873-5855
24	秋田キリスト教学園 認定こども園 本荘幼稚園	○	015-0076	由利本荘市東町56	0184-22-3116	0184-22-3226
25	◆きさかたひまわり幼稚園		018-0126	にかほ市象潟町字一丁目塩越124	0184-43-2582	0184-43-6043
26	認定こども園 土屋幼稚園・保育園	○	013-0033	横手市旭川二丁目2-26	0182-32-8817	0182-32-8847
27	上宮第一幼稚園・保育園	○	013-0023	横手市中央町6-14	0182-32-6075	0182-32-2043
28	上宮第二幼稚園・保育園	○	013-0043	横手市安田字谷地岸17	0182-33-2755	0182-32-8069
29	認定こども園 こひつじ	○	019-0528	横手市十文字町字栄町19-1	0182-42-3881	0182-42-3885
30	愛宕幼稚園	○	012-0855	湯沢市愛宕町二丁目1-16	0183-73-1507	0183-73-3868
31	湯沢若草幼稚園	○	012-0033	湯沢市清水町二丁目3-3	0183-73-6738	0183-73-6736

※1 園名の◆は、休園中を示したものの。

※2 「認」欄の○は、認定こども園（幼稚園型認定こども園）を示したものの。

○小学校

小学校（国立大学法人）

	学 校 名	郵便番号	住 所	電話番号	F A X 番号
1	秋田大学教育文化学部附属小学校 (あきただいがくきょういくぶん かがくぶぞく)	010-0904	秋田市保戸野原の町13-1	018-862-2593	018-862-2598

小学校（市町村立）

	学 校 名	郵便番号	住 所	電話番号	F A X 番号
2	花輪小学校（はなわ）	018-5201	鹿角市花輪字中花輪88	0186-23-2007	0186-23-2017
3	柴平小学校（しばひら）	018-5201	鹿角市花輪字高市向35	0186-30-2660	0186-30-2661
4	十和田小学校（とわだ）	018-5334	鹿角市十和田毛馬内字上新田1-1	0186-35-2042	0186-35-2162
5	大湯小学校（おおゆ）	018-5421	鹿角市十和田大湯字権現堂15-1	0186-37-2040	0186-37-2090
6	尾去沢小学校（おさりざわ）	018-5202	鹿角市尾去沢字上山201-1	0186-23-3201	0186-23-3202
7	八幡平小学校（はちまんたい）	018-5141	鹿角市八幡平字長嶺川原1	0186-32-2011	0186-32-2012
8	小坂小学校（こさか）	017-0201	鹿角郡小坂町小坂字赤神4-1	0186-29-2422	0186-29-3102
9	桂城小学校（けいじょう）	017-0887	大館市水門町1-12	0186-42-2262	0186-43-2460
10	城南小学校（じょうなん）	017-0821	大館市桜町9	0186-42-3025	0186-42-3295
11	城西小学校（じょうせい）	017-0865	大館市城西町8-1	0186-42-3238	0186-49-5389
12	有浦小学校（ありうら）	017-0043	大館市有浦四丁目6-55	0186-42-2834	0186-59-8399
13	釈迦内小学校（しゃかない）	017-0012	大館市釈迦内字相染台24	0186-48-2934	0186-48-2936
14	長木小学校（ながき）	017-0031	大館市上代野字八幡岱45	0186-48-5158	0186-48-6091
15	川口小学校（かわぐち）	017-0878	大館市川口字隼人岱108-68	0186-42-9762	0186-42-9783
16	上川沿小学校（かみかわぞい）	017-0837	大館市餌釣字前田75	0186-49-6155	0186-49-6621
17	成章小学校（せいしょう）	018-5601	大館市十二所字大平190	0186-52-2818	0186-52-2812
18	花岡小学校（はなおか）	017-0005	大館市花岡町字根井下22	0186-46-1615	0186-46-1614
19	矢立小学校（やたて）	017-0002	大館市白沢字白沢1149	0186-46-3012	0186-46-1340
20	南小学校（みなみ）	018-5756	大館市下川原字向野6	0186-49-5518	0186-49-5519
21	扇田小学校（おうぎた）	018-5701	大館市比内町扇田字白砂131	0186-55-0043	0186-55-2140
22	西館小学校（にしだて）	018-5731	大館市比内町笹館字前田野77	0186-55-0324	0186-55-2134
23	東館小学校（ひがしたて）	018-5721	大館市比内町独鉦字独鉦90-1	0186-56-2112	0186-56-2070
24	早口小学校（はやぐち）	018-3504	大館市長坂字坂地岱12	0186-54-3033	0186-54-6133
25	山瀬小学校（やませ）	018-3501	大館市岩瀬字上軽石野39-18	0186-54-3036	0186-54-6061
26	鷹巣小学校（たかのす）	018-3331	北秋田市鷹巣字南中家下37-1	0186-62-2041	0186-63-2042
27	鷹巣東小学校（たかのすひがし）	018-3302	北秋田市栄字田沢古川布252	0186-62-1645	0186-63-2419
28	綴子小学校（つづれこ）	018-3301	北秋田市綴子字街道下59	0186-62-1084	0186-63-2494
29	清鷹小学校（せいよう）	018-3454	北秋田市脇神字塚ノ岱165-1	0186-63-2315	0186-63-2317
30	米内沢小学校（よないざわ）	018-4303	北秋田市本城字中島1-2	0186-72-3029	0186-72-4905
31	合川小学校（あいかわ）	018-4282	北秋田市李岱字家向26-1	0186-67-6120	0186-67-6075
32	上小阿仁小学校（かみこあに）	018-4421	北秋田郡上小阿仁村小沢田字上ノ岱97	0186-77-2038	0186-77-2967
33	淳城西小学校（ていじょうにし）	016-0896	能代市盤若町2-1	0185-52-2237	0185-89-1315
34	淳城南小学校 (ていじょうみなみ)	016-0823	能代市若松町2-24	0185-52-5329	0185-52-5320
35	第四小学校（だいよん）	016-0856	能代市字藤山3	0185-52-3239	0185-55-0913
36	第五小学校（だいが）	016-0121	能代市鹹淵字中嶋古屋布25	0185-58-2178	0185-58-2402
37	向能代小学校（むかいのしろ）	016-0013	能代市向能代字上野越25-1	0185-52-6249	0185-52-2325
38	浅内小学校（あさない）	016-0179	能代市浅内字上ノ山236	0185-52-4715	0185-89-1322
39	二ツ井小学校（ふたつい）	018-3118	能代市二ツ井町字上台25-1	0185-73-2341	0185-73-2342
40	琴丘小学校（ことおか）	018-2104	山本郡三種町鹿渡字東二本柳23	0185-87-2014	0185-87-2015
41	森岳小学校（もりたけ）	018-2303	山本郡三種町森岳字東圃177	0185-83-2405	0185-83-2412
42	金岡小学校（かなおか）	018-2304	山本郡三種町豊岡金田字茂呂沢78-2	0185-83-2210	0185-83-2286
43	浜口小学校（はまぐち）	018-2407	山本郡三種町浜田字福沢57	0185-85-2122	0185-85-2513
44	湖北小学校（こほく）	018-2401	山本郡三種町鶴川字上谷地28	0185-85-3120	0185-85-3253
45	八森小学校（はちもり）	018-2634	山本郡八峰町八森字滝の上117	0185-77-2222	0185-77-2789
46	峰浜小学校（みねはま）	018-2501	山本郡八峰町峰浜水沢字カッチキ台7-1	0185-76-2468	0185-76-2466
47	保戸野小学校（ほどの）	010-0911	秋田市保戸野すわ町9-60	018-865-0987	018-865-4657
48	明德小学校（めいとく）	010-0876	秋田市千秋公園1-13	018-833-4737	018-837-7901
49	築山小学校（ちくざん）	010-0026	秋田市檜山古川新町55-1	018-833-4305	018-837-7908
50	旭北小学校（きょくほく）	010-0951	秋田市山王三丁目1-35	018-823-8544	018-865-4659

	学 校 名	郵便番号	住 所	電話番号	F A X 番号
51	中通小学校 (なかどおり)	010-0001	秋田市中通五丁目8-22	018-833-4341	018-834-1919
52	旭南小学校 (きょくなん)	010-0925	秋田市旭南一丁目15-1	018-824-5281	018-865-6599
53	牛島小学校 (うしじま)	010-0062	秋田市牛島東六丁目6-1	018-832-8296	018-837-7914
54	川尻小学校 (かわしり)	010-0945	秋田市川尻みよし町8-31	018-824-2374	018-865-4667
55	旭川小学校 (あさひかわ)	010-0851	秋田市手形字才の浜63	018-832-2862	018-837-7918
56	土崎小学校 (つちざき)	011-0942	秋田市土崎港東一丁目6-39	018-845-1009	018-847-2024
57	港北小学校 (こうほく)	011-0941	秋田市土崎港北四丁目6-1	018-845-0056	018-845-1427
58	高清水小学校 (たかしみず)	011-0936	秋田市将軍野南一丁目2-16	018-845-0831	018-847-1164
59	広面小学校 (ひろおもて)	010-0041	秋田市広面字蟹沢29	018-833-0736	018-837-7919
60	日新小学校 (にっしん)	010-1621	秋田市新屋栗田町24-1	018-828-4408	018-828-0517
61	勝平小学校 (かつひら)	010-1618	秋田市新屋松美ガ丘北町14-1	018-823-5660	018-865-4669
62	勝平小学校千秋分校 (かつひら・せんしゅう)	010-1602	秋田市新屋下川原町1-2	018-896-4570	018-862-0122
63	外旭川小学校 (そとあさひかわ)	010-0802	秋田市外旭川字梶ノ目262-2	018-868-3200	018-868-4699
64	飯島小学校 (いいじま)	011-0913	秋田市飯島鼠田二丁目2-1	018-845-0377	018-847-1643
65	下新城小学校 (しもしんじょう)	010-0145	秋田市下新城笠岡字佐戸反10	018-873-3441	018-873-7362
66	浜田小学校 (はまだ)	010-1654	秋田市浜田字自在山47-2	018-828-4027	018-828-0520
67	豊岩小学校 (とよいわ)	010-1652	秋田市豊岩豊巻字内縄尻90	018-828-3236	018-828-0519
68	仁井田小学校 (にいだ)	010-1421	秋田市仁井田本町四丁目7-1	018-839-2350	018-839-4071
69	四ツ小屋小学校 (よつごや)	010-1417	秋田市四ツ小屋字街道東256-1	018-839-2050	018-839-2964
70	上北手小学校 (かみきたで)	010-1406	秋田市上北手猿田字館ノ下38	018-839-2150	018-839-3291
71	下浜小学校 (しもはま)	010-1503	秋田市下浜羽川字水垂92	018-879-2006	018-879-3170
72	金足西小学校 (かなあしにし)	010-0115	秋田市金足大清水字大清水台1	018-873-3231	018-873-7360
73	八橋小学校 (やばせ)	010-0963	秋田市八橋大沼町7-1	018-862-6930	018-865-4674
74	東小学校 (ひがし)	010-0003	秋田市東通二丁目11-1	018-834-9291	018-837-7921
75	泉小学校 (いずみ)	010-0917	秋田市泉中央六丁目2-1	018-864-8799	018-865-6577
76	大住小学校 (おおすみ)	010-1423	秋田市仁井田字西潟敷33	018-839-0611	018-839-3159
77	桜小学校 (さくら)	010-0042	秋田市桜四丁目12-1	018-833-3375	018-837-7927
78	飯島南小学校 (いいじまみなみ)	011-0948	秋田市飯島西袋一丁目1-2	018-847-1245	018-847-1605
79	寺内小学校 (てらうち)	011-0902	秋田市寺内堂ノ沢二丁目14-1	018-846-8501	018-847-1406
80	御所野小学校 (ごしょの)	010-1414	秋田市御所野元町五丁目1-1	018-826-1070	018-826-0250
81	岩見三内小学校 (いわみさんない)	019-2742	秋田市河辺三内字外川原39	018-883-2211	018-883-2222
82	河辺小学校 (かわべ)	019-2601	秋田市河辺和田字岡村164	018-882-3323	018-882-4672
83	雄和小学校 (ゆうわ)	010-1222	秋田市雄和石田字蟹沢40	018-886-2346	018-886-2165
84	船川第一小学校 (ふなかわだいいち)	010-0511	男鹿市船川港船川字漆畑36-1	0185-24-3231	0185-24-3232
85	脇本第一小学校 (わきもとだいいち)	010-0342	男鹿市脇本脇本字上野1-1	0185-25-2215	0185-22-2009
86	船越小学校 (ふなこし)	010-0341	男鹿市船越字本町7	0185-35-2740	0185-22-6277
87	美里小学校 (みさと)	010-0421	男鹿市鶴木字松木沢境90	0185-46-2520	0185-46-4051
88	天王小学校 (てんのう)	010-0201	潟上市天王字児玉82	018-878-2201	018-878-2404
89	出戸小学校 (でと)	010-0201	潟上市天王字北野231-2	018-878-2205	018-878-7405
90	追分小学校 (おいわけ)	010-0101	潟上市天王字追分西26-7	018-873-3461	018-873-7079
91	大豊小学校 (おおとよ)	018-1401	潟上市昭和久保字高田22	018-877-2068	018-877-7300
92	飯田川小学校 (いいたがわ)	018-1503	潟上市飯田川和田妹川字岩崎12-12	018-877-2033	018-877-2038
93	五城目小学校 (ごじょうめ)	018-1723	南秋田郡五城目町上樋口字堂社8-1	018-838-1132	018-838-1137
94	八郎潟小学校 (はちろうがた)	018-1606	南秋田郡八郎潟町夜叉袋字大嶋田107	018-875-2721	018-875-2017
95	大潟小学校 (おおがた)	010-0443	南秋田郡大潟村字中央5-1	0185-45-2121	0185-45-3616
96	新山小学校 (しんざん)	015-0014	由利本荘市石脇字山ノ神11	0184-22-1420	0184-24-2260
97	鶴舞小学校 (つるまい)	015-0074	由利本荘市桜小路1	0184-22-1422	0184-22-1423
98	本荘東小学校 (ほんじょうひがし)	015-0852	由利本荘市薬師堂字一番堰1番地1	0184-24-1236	0184-24-1237
99	矢島小学校 (やしま)	015-0404	由利本荘市矢島町七日町字助の淵1-4	0184-56-2069	0184-55-2721
100	岩城小学校 (いわき)	018-1215	由利本荘市岩城赤平字新鶴巻4	0184-62-5030	0184-74-2229
101	由利小学校 (ゆり)	015-0341	由利本荘市前郷字金神110	0184-32-8171	0184-53-2013
102	西目小学校 (にしめ)	018-0604	由利本荘市西目町沼田字新屋下37-1	0184-33-2305	0184-33-3513
103	鳥海小学校 (ちょうかい)	015-0504	由利本荘市鳥海町上川内字西野14-1	0184-27-6311	0184-57-2700
104	東由利小学校 (ひがしゆり)	015-0201	由利本荘市東由利法内字宮ノ前243	0184-69-2500	0184-69-2501
105	岩谷小学校 (いわや)	018-0711	由利本荘市岩谷町字十二柳2	0184-65-2220	0184-65-3928
106	大内小学校 (おおうち)	018-0855	由利本荘市松本字小及位野78	0184-66-2010	0184-66-2092

	学 校 名	郵便番号	住 所	電話番号	F A X 番号
107	平沢小学校 (ひらさわ)	018-0402	にかほ市平沢字画書面37-1	0184-35-2406	0184-35-2450
108	院内小学校 (いんない)	018-0412	にかほ市小国字郷ノ町85	0184-36-2154	0184-37-2818
109	金浦小学校 (このうら)	018-0311	にかほ市金浦字背長森39	0184-38-2055	0184-38-3950
110	象潟小学校 (きさかた)	018-0123	にかほ市象潟町字妙見下77-2	0184-43-2334	0184-43-2384
111	大曲小学校 (おおまがり)	014-0053	大仙市大曲花園町4-88	0187-63-1018	0187-63-1019
112	東大曲小学校 (ひがしおおまがり)	014-0031	大仙市大曲字下高畑81	0187-63-1020	0187-86-0979
113	花館小学校 (はなだて)	014-0006	大仙市花館中町1-40	0187-63-1022	0187-63-1025
114	内小友小学校 (うちおとも)	014-0073	大仙市内小友字四ツ村35	0187-68-2345	0187-86-4041
115	大川西根小学校 (おおかわにしね)	014-0072	大仙市大曲西根字小館20	0187-68-3030	0187-86-4606
116	藤木小学校 (ふじき)	014-1412	大仙市藤木字街道下67	0187-65-2420	0187-86-5604
117	四ツ屋小学校 (よつや)	014-0102	大仙市四ツ屋字下古道81	0187-66-1513	0187-86-0723
118	角間川小学校 (かくまがわ)	014-1413	大仙市角間川町字大浦町99	0187-65-2201	0187-86-5617
119	神岡小学校 (かみおか)	019-1701	大仙市神宮寺字神宮寺52	0187-72-2222	0187-72-2220
120	西仙北小学校 (にしせんぼく)	019-2112	大仙市刈和野上ノ台322	0187-75-1014	0187-75-2770
121	中仙小学校 (なかせん)	014-0207	大仙市長野字六日町215	0187-56-2318	0187-56-3288
122	清水小学校 (しみず)	014-0204	大仙市清水字上大蔵86	0187-56-3215	0187-56-4676
123	豊成小学校 (ほうせい)	014-0711	大仙市豊川字下水無47	0187-57-2324	0187-57-2314
124	協和小学校 (きょうわ)	019-2411	大仙市協和境字岸館37	018-881-6868	018-892-3927
125	南外小学校 (なんがい)	019-1826	大仙市南外字田中田17	0187-73-1800	0187-73-1802
126	高梨小学校 (たかなし)	014-0805	大仙市高梨字新屋敷1	0187-62-2195	0187-62-7456
127	横堀小学校 (よこぼり)	014-0114	大仙市福田字穴沢4	0187-69-2111	0187-69-3068
128	太田東小学校 (おおたひがし)	019-1611	大仙市太田町齊内字高野1-93	0187-89-1212	0187-89-1272
129	太田南小学校 (おおたみなみ)	019-1601	大仙市太田町横沢字窪関南298	0187-88-2111	0187-88-2409
130	太田北小学校 (おおたきた)	019-1605	大仙市太田町国見字国見田115	0187-88-2112	0187-88-1952
131	角館小学校 (かくのだて)	014-0378	仙北市角館町西野川原56-1	0187-55-2188	0187-55-2189
132	生保内小学校 (おほない)	014-1201	仙北市田沢湖生保内字武蔵野111	0187-43-0243	0187-43-0247
133	神代小学校 (じんだい)	014-1114	仙北市田沢湖神代字珍重屋敷48	0187-44-2115	0187-44-2116
134	西明寺小学校 (さいみょうじ)	014-0515	仙北市西木町門屋字六本杉6	0187-47-2233	0187-47-2213
135	桧木内小学校 (ひのきない)	014-0602	仙北市西木町桧木内字高屋110	0187-48-2323	0187-48-2372
136	六郷小学校 (ろくごう)	019-1404	仙北郡美郷町六郷字赤城1	0187-84-1009	0187-84-1409
137	千畑小学校 (せんはた)	019-1541	仙北郡美郷町土崎字上野乙1-4	0187-85-2211	0187-85-2215
138	仙南小学校 (せんなん)	019-1234	仙北郡美郷町飯詰字轄町26- 1	0187-83-2211	0187-83-2600
139	横手南小学校 (よこてみなみ)	013-0015	横手市羽黒町4-36	0182-32-1051	0182-33-7566
140	朝倉小学校 (あさくら)	013-0008	横手市睦成字碓185	0182-32-6070	0182-33-7561
141	旭小学校 (あさひ)	013-0064	横手市赤坂字城野岡222	0182-36-1020	0182-33-7423
142	栄小学校 (さかえ)	013-0052	横手市大屋寺内字長谷下6-3	0182-33-5210	0182-33-7565
143	横手北小学校 (よこてきた)	013-0071	横手市八幡字下長田50	0182-23-6543	0182-33-8777
144	増田小学校 (ますだ)	019-0701	横手市増田町増田字土肥館141	0182-45-2014	0182-45-4090
145	浅舞小学校 (あさまい)	013-0105	横手市平鹿町浅舞字八幡小路18	0182-24-1140	0182-24-1102
146	吉田小学校 (よしだ)	013-0101	横手市平鹿町上吉田字大道88-3	0182-24-1160	0182-24-1103
147	醍醐小学校 (だいご)	013-0102	横手市平鹿町醍醐字大橋7	0182-25-4204	0182-25-4205
148	雄物川小学校 (おものかわ)	013-0205	横手市雄物川町今宿字鳴田35	0182-22-2800	0182-22-2830
149	大森小学校 (おおもり)	013-0533	横手市大森町字中田1-4	0182-26-2048	0182-56-4005
150	十文字小学校 (じゅうもんじ)	019-0508	横手市十文字町十五野新田字坊主沢5-1	0182-23-7731	0182-42-5171
151	山内小学校 (さんない)	019-1108	横手市山内土淵字菅生37-1	0182-53-2207	0182-53-2263
152	大雄小学校 (たいゆう)	013-0348	横手市大雄字田根森50	0182-52-3105	0182-52-2955
153	湯沢東小学校 (ゆざわひがし)	012-0803	湯沢市杉沢新所字八斗場33	0183-72-5125	0183-72-5126
154	湯沢西小学校 (ゆざわにし)	012-0043	湯沢市字万石26	0183-72-5150	0183-72-2681
155	山田小学校 (やまだ)	012-0055	湯沢市山田字土生原52	0183-73-3016	0183-72-3834
156	稲川小学校 (いなかわ)	012-0105	湯沢市川連町字道下86	0183-42-2501	0183-42-2601
157	雄勝小学校 (おがち)	019-0204	湯沢市横堀字板橋5	0183-52-5515	0183-52-5505
158	皆瀬小学校 (みなせ)	012-0183	湯沢市皆瀬字下菅生27	0183-58-4080	0183-58-4081
159	西馬音内小学校 (にしもない)	012-1131	雄勝郡羽後町西馬音内字祭ノ神19	0183-62-1768	0183-62-1702
160	三輪小学校 (みわ)	012-1123	雄勝郡羽後町貝沢字拾三本塚7	0183-62-1216	0183-62-1295
161	羽後明成小学校 (うごめいせい)	012-1115	雄勝郡羽後町足田字大谷地223	0183-62-2235	0183-62-2281
162	高瀬小学校 (たかせ)	012-1241	羽後町田代字畑中45	0183-67-2323	0183-67-2919
163	東成瀬小学校 (ひがしなるせ)	019-0801	雄勝郡東成瀬村田子内字上野8	0182-47-2313	0182-47-2380

○中学校

中学校（国立大学法人）

	学校名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号
1	秋田大学教育文化学部附属中学校 (あきただいがくきょういくぶんかがくぶぞく)	010-0904	秋田市保戸野原の町7-75	018-862-3350	018-863-2507

中学校（県立）

	学校名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号
2	大館国際情報学院中学校 (おおだてこくさいじょうほうがくいん)	017-0052	大館市松木字大上25-1	0186-50-6090	0186-50-6091
3	秋田南高等学校中等部 (あきたみなみこうとうがっこうちゅうとうぶ)	010-1437	秋田市仁井田緑町4-1	018-833-7431	018-833-7432
4	横手清陵学院中学校 (よこてせいりょうがくいん)	013-0041	横手市大沢字前田147-1	0182-35-4033	0182-35-4034

※大館国際情報学院中学校は、大館国際情報学院高等学校との併設型中高一貫教育校。

※秋田南高等学校中等部は、秋田南高等学校との併設型中高一貫教育校。

※横手清陵学院中学校は、横手清陵学院高等学校との併設型中高一貫教育校。

中学校（市町村立）

	学校名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号
5	花輪中学校 (はなわ)	018-5201	鹿角市花輪字陳場125	0186-23-2257	0186-23-2260
6	十和田中学校 (とわだ)	018-5334	鹿角市十和田毛馬内字上土ヶ久保22-1	0186-35-2164	0186-35-2165
7	尾去沢中学校 (おさりざわ)	018-5202	鹿角市尾去沢字上山239-1	0186-23-2270	0186-23-2269
8	八幡平中学校 (はちまんたい)	018-5141	鹿角市八幡平字諸田4-1	0186-32-2226	0186-32-2227
9	小坂中学校 (こさか)	017-0201	鹿角郡小坂町小坂字赤神4-1	0186-29-3232	0186-29-2003
10	第一中学校 (だいいち)	017-0866	大館市北神明町10-1	0186-42-4177	0186-42-6269
11	北陽中学校 (ほくよう)	017-0012	大館市釈迦内字長者森1	0186-48-2935	0186-48-3777
12	下川沿中学校 (しもかわぞい)	017-0878	大館市川口字隼人岱108-69	0186-42-9761	0186-42-9782
13	南中学校 (みなみ)	018-5751	大館市二井田字小石台20	0186-49-5516	0186-49-4882
14	成章中学校 (せいしょう)	018-5605	大館市猿間字中谷地10	0186-52-3022	0186-52-3034
15	東中学校 (ひがし)	017-0043	大館市有浦五丁目2-8	0186-42-2835	0186-43-5359
16	比内中学校 (ひない)	018-5701	大館市比内町扇田字新館野中岱12	0186-55-1505	0186-55-1789
17	田代中学校 (たしろ)	018-3501	大館市岩瀬字下軽石野2-2	0186-54-3042	0186-54-6063
18	鷹巣中学校 (たかのす)	018-3333	北秋田市坊沢字下上野79	0186-62-1701	0186-63-1893
19	森吉中学校 (もりよし)	018-4516	北秋田市桂瀬字下柏木岱1	0186-73-2335	0186-73-2612
20	合川中学校 (あいかわ)	018-4282	北秋田市李岱字家向1	0186-78-2135	0186-78-3509
21	上小阿仁中学校 (かみこあに)	018-4421	北秋田郡上小阿仁村小沢田字上ノ岱97	0186-77-2048	0186-77-2967
22	能代第一中学校 (のしろだいいち)	016-0896	能代市盤若町8-11	0185-52-2227	0185-52-7386
23	能代第二中学校 (のしろだいに)	016-0854	能代市宇豊字岱1-46	0185-52-5138	0185-52-5139
24	能代東中学校 (のしろひがし)	016-0122	能代市扇田字東扇田251-1	0185-58-3050	0185-58-3051
25	東雲中学校 (しのめ)	016-0013	能代市向能代字トメキ106-1	0185-52-5119	0185-55-2597
26	能代南中学校 (のしろみなみ)	016-0171	能代市河戸川字中野241	0185-52-6452	0185-52-9220
27	二ツ井中学校 (ふたつい)	018-3157	能代市二ツ井町字下野76-2	0185-73-2711	0185-73-2713
28	三種中学校 (みたね)	018-2303	山本郡三種町森岳字関ノ台5番地	0185-74-7185	0185-74-7650
29	八峰中学校 (はっぽう)	018-2507	山本郡八峰町峰浜田中字野田沢40-1	0185-76-3972	0185-76-3854
30	秋田東中学校 (あきたひがし)	010-0863	秋田市手形休下町10-51	018-833-8261	018-833-8262
31	秋田南中学校 (あきたみなみ)	010-0014	秋田市南通宮田15-1	018-833-8467	018-833-8468
32	山王中学校 (さんのう)	010-0951	秋田市山王三丁目1-24	018-823-8361	018-823-8363
33	土崎中学校 (つちざき)	011-0941	秋田市土崎港北一丁目3-1	018-845-0406	018-845-1251
34	秋田西中学校 (あきたにし)	010-1632	秋田市新屋大川町19-75	018-828-4644	018-828-4645
35	外旭川中学校 (そとあさひかわ)	010-0802	秋田市外旭川字梶ノ目50	018-868-3100	018-868-3193
36	秋田北中学校 (あきたきた)	010-0146	秋田市下新城中野字街道端西241-90	018-873-2411	018-873-2020
37	城南中学校 (じょうなん)	010-0035	秋田市櫛山城城南町4-1	018-834-2367	018-834-2368
38	城東中学校 (じょうとう)	010-0041	秋田市広面字鍋沼17	018-834-9281	018-834-9297
39	泉中学校 (いずみ)	010-0916	秋田市泉北二丁目6-1	018-863-8901	018-863-8902
40	将軍野中学校 (しょうぐんの)	011-0936	秋田市将軍野南一丁目12-1	018-845-1752	018-845-1778
41	御野場中学校 (おのば)	010-1423	秋田市仁井田字中新田223	018-839-0681	018-839-0682
42	勝平中学校 (かつひら)	010-1608	秋田市新屋北浜町13-1	018-863-7782	018-863-7784
43	勝平中学校千秋分校 (かつひら・せんしゅう)	010-1602	秋田市新屋下川原1-2	018-896-4570	018-862-0122
44	飯島中学校 (いいじま)	011-0911	秋田市飯島字田尻堰越48	018-846-3481	018-846-3482

	学 校 名	郵便番号	住 所	電話番号	F A X 番号
45	桜中学校 (さくら)	010-0059	秋田市桜台一丁目1-1	018-837-5305	018-837-5306
46	御所野学院中学校 (ごしよのがくいん)	010-1413	秋田市御所野地蔵田四丁目1-1	018-889-8330	018-826-0200
47	岩見三内中学校 (いわみさんない)	019-2742	秋田市河辺三内字外川原39	018-883-2221	018-883-2222
48	河辺中学校 (かわべ)	019-2625	秋田市河辺北野田高屋字雷谷地84	018-882-2321	018-882-2148
49	雄和中学校 (ゆうわ)	010-1222	秋田市雄和石田字蟹沢40	018-886-2345	018-886-2165
50	男鹿南中学校 (おがみなみ)	010-0521	男鹿市船川港南平沢字大畑台30	0185-23-3241	0185-24-4947
51	男鹿東中学校 (おがひがし)	010-0341	男鹿市船越字根木169	0185-25-3215	0185-25-3214
52	天王中学校 (てんのう)	010-0201	潟上市天王字宮の後3	018-878-2222	018-878-2309
53	天王南中学校 (てんのうみなみ)	010-0101	潟上市天王字上北野4-38	018-873-4300	018-873-3373
54	羽城中学校 (うじょう)	018-1401	潟上市昭和久保元木田145	018-877-3211	018-877-3267
55	五城目第一中学校 (ごじょうめだいいち)	018-1711	南秋田郡五城目町高崎字広ヶ野200	018-852-2051	018-852-4698
56	八郎潟中学校 (はちろうがた)	018-1606	南秋田郡八郎潟町夜又袋字大嶋田107	018-875-2053	018-875-5733
57	大潟中学校 (おおがた)	010-0443	南秋田郡大潟村字中央5-1	0185-45-2330	0185-45-3617
58	本荘北中学校 (ほんじょうきた)	015-0014	由利本荘市石脇字山ノ神11-304	0184-22-0321	0184-23-2778
59	本荘南中学校 (ほんじょうみなみ)	015-0885	由利本荘市水林466	0184-22-7153	0184-22-7154
60	本荘東中学校 (ほんじょうひがし)	015-0041	由利本荘市薬師堂字境橋77	0184-27-2311	0184-27-2315
61	矢島中学校 (やしま)	015-0404	由利本荘市矢島町七日町字助の淵1-4	0184-56-2062	0184-55-2131
62	岩城中学校 (いわき)	018-1305	由利本荘市岩城二古字向村20-1	0184-73-2212	0184-73-3550
63	由利中学校 (ゆり)	015-0341	由利本荘市前郷字根堀台39	0184-53-2526	0184-53-3437
64	西目中学校 (にしめ)	018-0602	由利本荘市西目町出戸字浜山6-107	0184-33-2304	0184-33-4199
65	鳥海中学校 (ちょうかい)	015-0504	由利本荘市鳥海町上川内字西野108	0184-57-2309	0184-57-2875
66	東由利中学校 (ひがしゆり)	015-0211	由利本荘市東由利老方字台山85	0184-69-2410	0184-69-2431
67	大内中学校 (おおうち)	018-0722	由利本荘市中館字堤台6	0184-65-2105	0184-65-3929
68	仁賀保中学校 (にかほ)	018-0411	にかほ市院内字ヒシカタ40	0184-36-2121	0184-36-2122
69	金浦中学校 (このうら)	018-0311	にかほ市金浦字谷地中30-3	0184-38-2355	0184-38-2091
70	象潟中学校 (きさかた)	018-0185	にかほ市象潟町字屋敷田108	0184-43-2009	0184-43-2089
71	大曲中学校 (おおまがり)	014-0016	大仙市若竹町7-17	0187-63-2222	0187-63-2221
72	大曲西中学校 (おおまがりにし)	014-0073	大仙市内小友字中沢176-1	0187-68-2222	0187-68-2015
73	大曲南中学校 (おおまがりみなみ)	014-1412	大仙市藤木字上野中70-2	0187-65-2001	0187-65-2051
74	平和中学校 (へいわ)	019-1701	大仙市神宮寺字荒屋20	0187-72-2211	0187-72-2227
75	西仙北中学校 (にしせんぼく)	019-2112	大仙市刈和野字田中蟻塚12	0187-75-1108	0187-75-2735
76	中仙中学校 (なかせん)	014-0207	大仙市長野字新山5-1	0187-56-2328	0187-56-4657
77	協和中学校 (きょうわ)	019-2411	大仙市協和境字岸館90	018-892-3025	018-892-3209
78	南外中学校 (なんがい)	019-1866	大仙市南外字赤平台野19-1	0187-73-1231	0187-73-1232
79	仙北中学校 (せんぼく)	014-0113	大仙市堀見内字西福嶋29	0187-69-2113	0187-69-3262
80	太田中学校 (おおた)	019-1613	大仙市太田町太田字新田田尻76	0187-88-2211	0187-88-2212
81	角館中学校 (かくののだて)	014-0347	仙北市角館町小勝田小倉前73	0187-53-2411	0187-53-2420
82	生保内中学校 (おぼない)	014-1201	仙北市田沢湖生保内字武蔵野105-1	0187-43-1181	0187-43-3632
83	神代中学校 (じんだい)	014-1114	仙北市田沢湖神代字野中清水244	0187-44-2110	0187-44-3794
84	西明寺中学校 (さいみょうじ)	014-0512	仙北市西木町上荒井字上橋元280-1	0187-47-2626	0187-47-2633
85	桧木内中学校 (ひのきない)	014-0602	仙北市西木町桧木内字高屋2-3	0187-48-2330	0187-48-2366
86	美郷中学校 (みさと)	019-1404	仙北郡美郷町六郷字作山13-3	0187-84-2020	0187-84-1424
87	横手南中学校 (よこてみなみ)	013-0064	横手市赤坂字郷士館32-1	0182-32-3108	0182-33-7568
88	横手北中学校 (よこてきた)	013-0075	横手市静町字鶴田37	0182-38-8600	0182-32-2210
89	増田中学校 (ますだ)	019-0701	横手市増田町増田字若松27	0182-45-2350	0182-45-2420
90	平鹿中学校 (ひらか)	013-0105	横手市平鹿町浅舞字一関向3-1	0182-24-0075	0182-24-0076
91	横手明峰中学校 (よこてめいほう)	013-0415	横手市大雄字藤巻西10	0182-38-8500	0182-52-3901
92	十文字中学校 (じゅうもんじ)	019-0508	横手市十文字町十五野新田字梨木境134-1	0182-42-1030	0182-42-4702
93	湯沢北中学校 (ゆざわきた)	012-0803	湯沢市杉沢新所字八斗場33	0183-72-5127	0183-72-5128
94	湯沢南中学校 (ゆざわみなみ)	012-0867	湯沢市南台6-1	0183-73-5145	0183-72-1184
95	稲川中学校 (いなかわ)	012-0106	湯沢市三梨町字間明田140	0183-42-2160	0183-42-2161
96	雄勝中学校 (おがち)	019-0204	湯沢市横堀字板橋5	0183-52-2375	0183-52-2314
97	皆瀬中学校 (みなせ)	012-0183	湯沢市皆瀬字下菅生24-1	0183-46-2003	0183-46-2842
98	羽後中学校 (うご)	012-1100	雄勝郡羽後町字雄勝野1	0183-62-1144	0183-62-1145
99	東成瀬中学校 (ひがしなるせ)	019-0801	雄勝郡東成瀬村田子内字上林18	0182-47-2155	0182-47-2245

※御所野学院中学校は、御所野学院高等学校との連携型中高一貫教育校。

○義務教育学校

	学 校 名	郵便番号	住 所	電話番号	F A X 番号
1	井川義務教育学校（いかわ）	018-1523	南秋田郡井川町坂本字山崎38	018-855-6012	018-855-6011
2	義務教育学校阿仁学園（あに）	018-4611	北秋田市阿仁水無字上岱13番地2	0186-82-2160	0186-82-2161
3	義務教育学校藤里学園（ふじさと）	018-3201	山本郡藤里町藤琴字鳥谷場218-1	0185-79-2026	0185-71-4100

○高等学校

高等学校（県立）

	学 校 名	郵便番号	住 所	電話番号	F A X 番号
1	鹿角	018-5201	鹿角市花輪字明堂長根12	0186-23-2126	0186-23-2137
2	大館鳳鳴	017-0813	大館市字金坂後6	0186-42-0002	0186-49-2044
	大館鳳鳴（定時制課程）	017-0804	大館市柄沢字狐台52-2	0186-42-1968	0186-43-3272
3	大館桂桜	017-0872	大館市片山町三丁目10-43	0186-59-6299	0186-42-0901
4	大館国際情報学院	017-0052	大館市松木字大上25-1	0186-50-6090	0186-50-6091
5	秋田北鷹	018-3314	北秋田市伊勢町1-1	0186-60-0151	0186-62-0555
6	能代	016-0184	能代市字高埜2-1	0185-54-2230	0185-54-2231
	能代（定時制課程）	018-3141	能代市二ツ井町字五千苺20-1	0185-73-3511	0185-73-3512
7	能代松陽	016-0851	能代市緑町4-7	0185-89-2021	0185-52-2112
8	能代科学技術	016-0896	能代市盤若町3-1	0185-74-5701	0185-74-5702
9	五城目	018-1732	南秋田郡五城目町大川西野字田屋下100	018-852-2265	018-852-9474
10	男鹿海洋	010-0521	男鹿市船川港南平沢字大畑台42	0185-23-2321	0185-23-2322
11	男鹿工業	010-0341	男鹿市船越字内子1-1	0185-35-3111	0185-35-3113
12	秋田西	010-0101	潟上市天王字追分西26-1	018-873-5251	018-873-5253
13	金足農業	010-0126	秋田市金足追分字海老穴102-4	018-873-3311	018-873-3313
14	秋田	010-0851	秋田市手形字中台1	018-832-7200	018-832-2969
15	秋田北	010-0871	秋田市千秋中島町8-1	018-834-1371	018-834-1373
16	秋田南	010-1437	秋田市仁井田緑町4-1	018-833-7431	018-833-7432
17	秋田中央	011-0943	秋田市土崎港南三丁目2-78	018-845-0921	018-846-3499
18	新屋	010-1651	秋田市豊岩石田坂字鎌塚77-3	018-828-5859	018-828-1962
19	秋田工業	010-0902	秋田市保戸野金砂町3-1	018-823-7326	018-823-7328
20	秋田明德館	010-0001	秋田市中通二丁目1-51	018-833-1261	018-833-1162
21	本荘	015-8585	由利本荘市陳場岱6	0184-22-0832	0184-22-0833
22	由利	015-8543	由利本荘市川口字愛宕山1-1	0184-22-3219	0184-22-3220
23	由利工業	015-8530	由利本荘市石脇字田尻30	0184-22-5520	0184-22-5504
24	矢島	015-0404	由利本荘市矢島町七日町字助の淵1-5	0184-55-3031	0184-55-3032
25	西目	018-0604	由利本荘市西目町沼田字新道下2-142	0184-33-2203	0184-33-2204
26	仁賀保	018-0148	にかほ市象潟町字下浜山3-3	0184-43-4791	0184-43-4792
27	西仙北	019-2112	大仙市刈和野字北ノ沢嶋山5-1	0187-75-1002	0187-75-1004
28	大曲農業	014-0054	大仙市大曲金谷町26-9	0187-63-2257	0187-62-3434
29	大曲農業太田分校	019-1601	大仙市太田町横沢字窪関南268-1	0187-88-1311	0187-86-9035
30	大曲	014-0061	大仙市大曲栄町6-7	0187-63-4004	0187-63-4005

	学 校 名	郵便番号	住 所	電話番号	F A X 番号
31	大曲工業	014-0045	大仙市大曲若葉町3-17	0187-63-4060	0187-63-4062
32	角館	014-0335	仙北市角館町細越町37	0187-54-2560	0187-54-4339
	角館（定時制課程）	014-0372	仙北市角館町小館77-2	0187-54-1366	0187-54-1369
33	六郷	019-1404	仙北郡美郷町六郷字馬場52	0187-84-1280	0187-84-0040
34	横手	013-0008	横手市睦成字鶴谷地68	0182-32-3020	0182-32-3070
	横手（定時制課程）	013-0037	横手市前郷二番町10-1	0182-32-2011	0182-32-0133
35	横手城南	013-0016	横手市根岸町2-14	0182-32-4007	0182-32-4009
36	横手清陵学院	013-0041	横手市大沢字前田147-1	0182-35-4033	0182-35-4034
37	平成	013-0101	横手市平鹿町上吉田字角掛60	0182-24-1195	0182-56-3008
38	雄物川	013-0205	横手市雄物川町今宿字まみ袋125	0182-22-2103	0182-22-2104
39	増田	019-0701	横手市増田町増田字一本柳137	0182-45-2073	0182-45-2088
40	湯沢	012-0853	湯沢市字新町27	0183-73-1160	0183-73-1161
41	湯沢翔北	012-0823	湯沢市湯ノ原二丁目1-1	0183-79-5200	0183-73-2600
42	湯沢翔北雄勝校	019-0112	湯沢市下院内字小白岩197-2	0183-52-4355	0183-52-4356
43	羽後	012-1132	雄勝郡羽後町字大戸1	0183-62-2331	0183-78-7122

※大館国際情報学院高等学校は、大館国際情報学院中学校との併設型中高一貫教育校。

※秋田南高等学校は、秋田南高等学校中等部との併設型中高一貫教育校。

※横手清陵学院高等学校は、横手清陵学院中学校との併設型中高一貫教育校。

高等学校（市立）

	学 校 名	郵便番号	住 所	電話番号	F A X 番号
44	秋田商業	010-1603	秋田市新屋勝平台1-1	018-823-4308	018-823-4310
45	御所野学院	010-1413	秋田市御所野地藏田4-1-1	018-889-9150	018-839-9311

※御所野学院高等学校は、御所野学院中学校との連携型中高一貫教育校。

高等学校（私立）

	学 校 名	郵便番号	住 所	電話番号	F A X 番号
46	聖霊学園	010-8533	秋田市南通みその町4-82	018-833-7311	018-833-4503
47	国学館	010-0875	秋田市千秋明德町3-31	018-833-6361	018-833-6362
48	秋田令和	010-0877	秋田市千秋矢留町4-17	018-833-1353	018-833-1342
49	ノースアジア大学明桜	010-8525	秋田市下北手桜字守沢8-1	018-836-2471	018-836-2494
50	秋田修英	014-0047	大仙市大曲須和町1-1-30	0187-63-2622	0187-63-2532

○特別支援学校

特別支援学校（国立大学法人）

	学 校 名	郵便番号	住 所	電話番号	F A X 番号
1	秋田大学 教育文化学部附属 特別支援学校	010-0904	秋田市保戸野原の町7-75	018-862-8583	018-862-8525

特別支援学校（県立）

	学 校 名	郵便番号	住 所	電話番号	F A X 番号
2	視覚支援学校	010-1409	秋田市南ヶ丘一丁目1-1	018-889-8571	018-889-8575
3	聴覚支援学校			018-889-8572	
4	秋田きらり支援学校			018-889-8573	
5	比内支援学校	018-5741	大館市比内町達子字前田野1-2	0186-55-2131	0186-55-2132
6	比内支援学校 かづの校	018-5201	鹿角市花輪字案内2	0186-22-0253	0186-30-1245
7	比内支援学校 たかのす校	018-3452	北秋田市七日市字家向49の内	0186-66-2128	0186-60-2102
8	能代支援学校	016-0005	能代市真壁地字トトメキ沢135	0185-55-0691	0185-55-0681
9	栗田支援学校	010-1621	秋田市新屋栗田町10-10	018-828-1162	018-828-4720
10	支援学校 天王みどり学園	010-0101	潟上市天王字追分西27-18	018-870-4611	018-870-4612
11	ゆり支援学校	015-0885	由利本荘市水林456-3	0184-27-2630	0184-22-8706
12	大曲支援学校	014-0072	大仙市大曲西根字下成沢122	0187-68-4123	0187-68-4122
13	大曲支援学校 せんぼく校	014-0372	仙北市角館町小館77-2	0187-42-8568	0187-42-8569
14	横手支援学校	013-0064	横手市赤坂字仁坂105-1	0182-33-4166	0182-33-4266
15	稲川支援学校	012-0104	湯沢市駒形町字八面寺下谷地33-2	0183-42-4424	0183-42-4874

教育委員会施策の概要

令和8年4月

発行 秋田県教育委員会

編集 秋田県教育庁総務課

TEL. 018-860-5112

FAX. 018-860-5851

ホームページアドレス

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/education>

(ホームページにもデータを掲載しています。)